
V 市町村の希望の見える化

1. 市町村別の希望子ども数、予想子ども数

(1) 市町村の「希望子ども数」及び「予想子ども数」の比較

(希望子ども数、予想子ども数とも市町村間でばらつきがみられる)

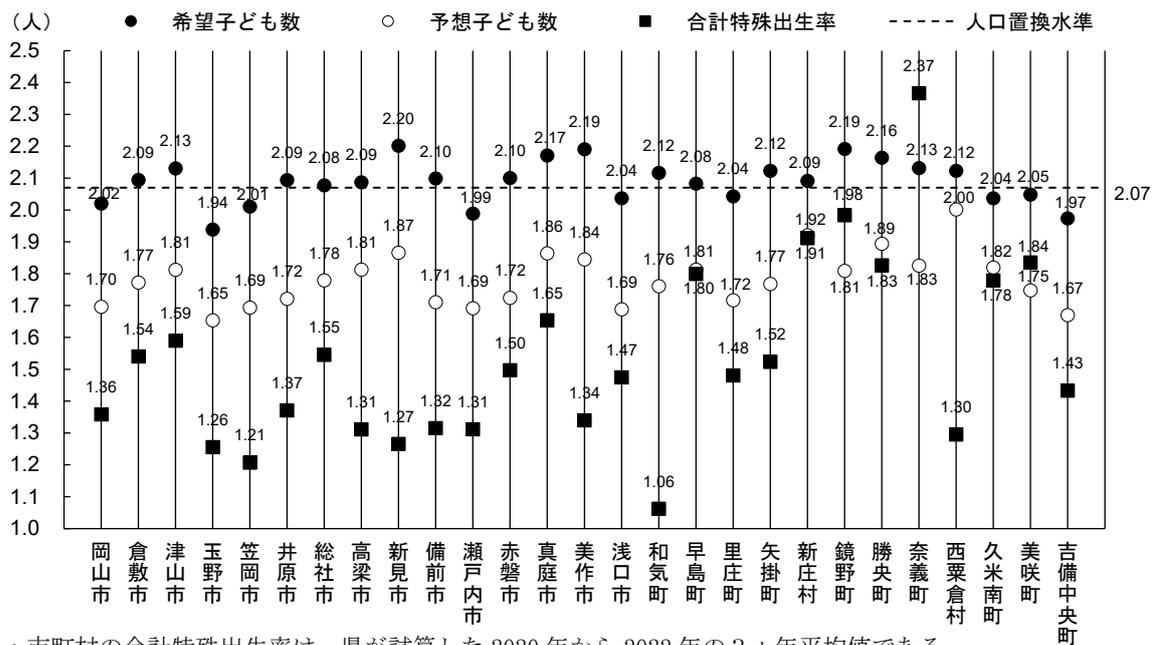
本調査では、第一群から第三群まで、市町村別に統計的に有意な集計ができる標本サイズとなるよう、標本デザインを行った。

これにより、第I章の「希望子ども数(図I-1)」と「予想子ども数(図I-2)」を市町村別で算出し、市町村の間で比較できる。図V-1に、図I-1、図I-2と同じ方法で算出した県内市町村の希望子ども数と予想子ども数を表した。また、県の試算による合計特殊出生率(2020年から2022年の3ヵ年平均)も図に記載した。

図V-1から、以下のことが明らかである。

- 一部に例外はあるものの、希望子ども数、予想子ども数、合計特殊出生率の順で値が小さくなる。
- 希望子ども数の市町村平均は2.09(標準偏差0.066)である。最も多い新見市(2.20)と最も少ない玉野市(1.94)の差は0.26になる。
- 予想子ども数の市町村平均は1.78(標準偏差0.083)であり、希望子ども数よりもばらつきが大きい。最も多い西粟倉村(2.00)と、最も少ない玉野市(1.65)の差は0.35である。
- 希望子ども数と予想子ども数の差をみると、平均は0.31(標準偏差0.060)である。最も差が小さい西粟倉村は0.12であり、同村の予想子ども数が多いことによる。逆に最も大きな差があるのは備前市(0.39)である。
- このように、市町村によって希望子ども数、予想子ども数、そして両者の乖離にはばらつきがみられる。

図V-1 県内市町村の希望子ども数、予想子ども数、合計特殊出生率(第一群)



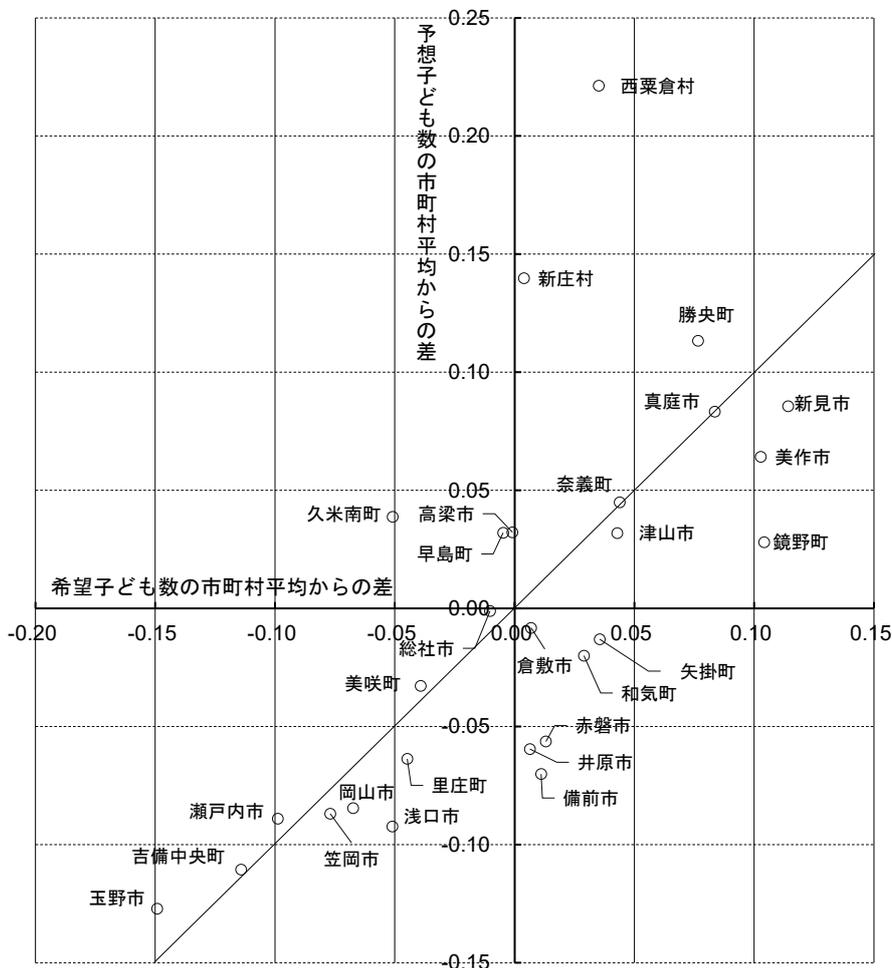
資料：市町村の合計特殊出生率は、県が試算した2020年から2022年の3ヵ年平均値である

希望子ども数と予想子ども数についてそれぞれの市町村平均からの差を横軸・縦軸にとって、市町村の希望子ども数・予想子ども数を相対的に示した（図V-2）。そうすると、希望子ども数と予想子ども数の両方が多い地域、逆に両方が少ない地域などがわかり、市町村の間にばらつきがあることが一層はっきりと表れる。

図をみると、岡山市、瀬戸内市、玉野市等の県南部や、里庄町、浅口市、笠岡市等の県南西部では、希望子ども数と予想子ども数の両方が少なくなっている市町村がみられるなど、地域的な特徴が表れている。

また、全体的な傾向から外れて、鏡野町のように希望子ども数に比べ予想子ども数が少ない地域、反対に、西粟倉村や新庄村のように希望子ども数に対して予想子ども数が多い地域などもみられる。

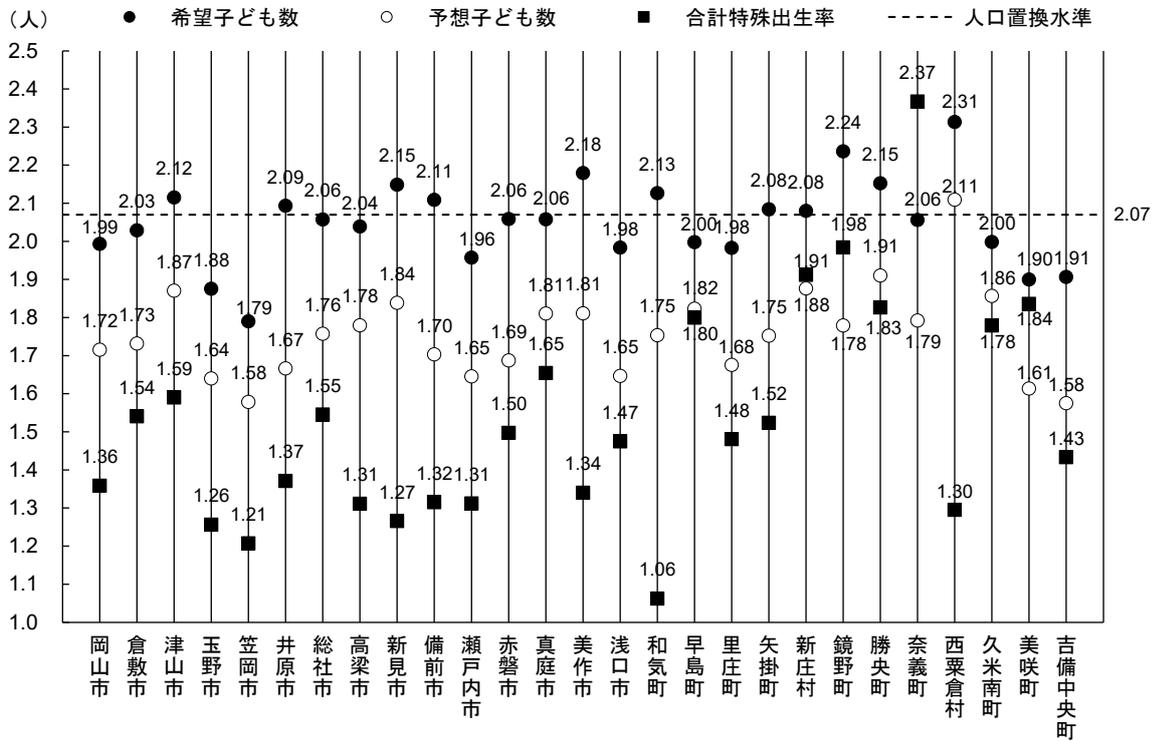
図V-2 希望子ども数及び予想子ども数の市町村平均からの差（第一群）



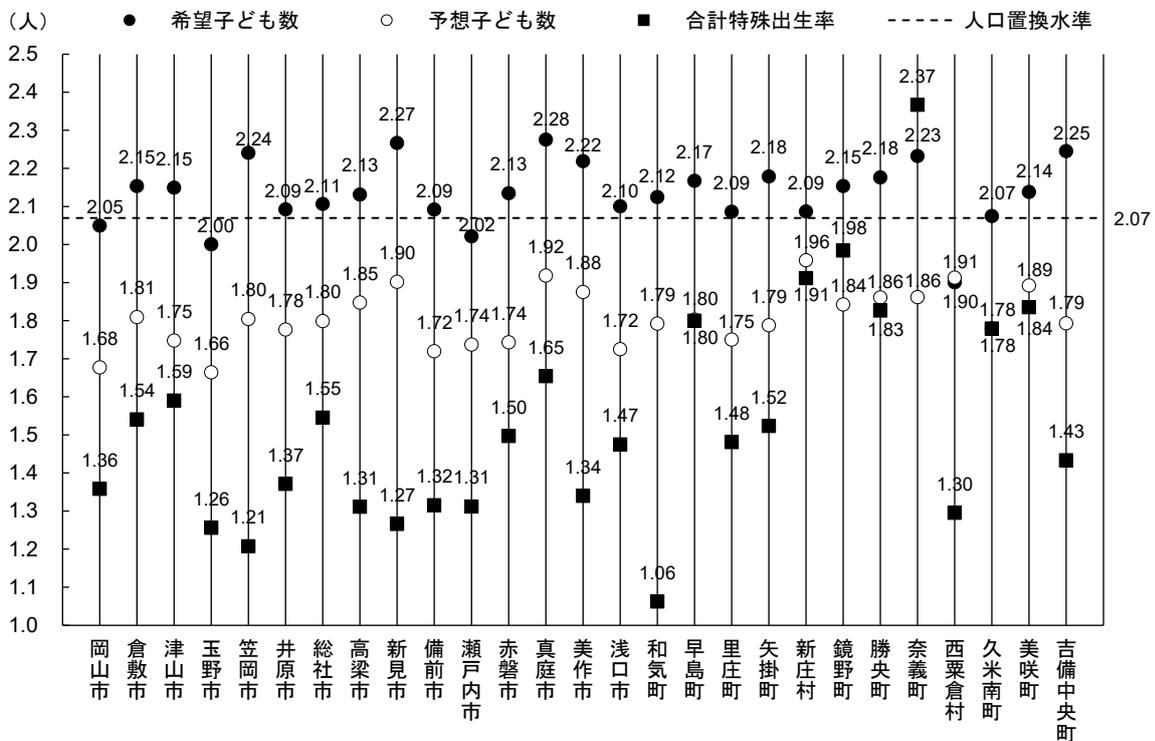
図V-3には、男女別に、市町村の希望子ども数、予想子ども数の算出結果を示した。

図V-3 県内市町村の希望子ども数、予想子ども数、合計特殊出生率
(男女別、第一群)

(男性)



(女性)



資料：市町村の合計特殊出生率は、県が試算した2020年から2022年の3カ年平均値である

2. 市町村住民の主観のスコア化

(1) 分析の考え方

(市町村別の集計・分析を行う)

前章では、ロジック・フローを設定し、全県の「個人」のデータによって、結婚や子ども数の希望、その実現予想に対して影響を及ぼしている、個人の行動・意識・環境評価等を把握した。

本章では、前章までの分析結果に基づき、結婚や子ども数の希望、その実現予想に対して直接的・間接的に影響を及ぼしている可能性が認められる項目を、市町村ごとに「スコア」として表す。

例えば、全県の個人では、男女の交際経験のある者は結婚意欲が強いことがわかっている。そこで、本章では、市町村別に交際経験がある者の割合を指標化して示す。あるいは、全県の個々の子育て世帯の分析では、暮らしている地域の「子育て世帯の居心地のよさ」の評価が高いほど希望する子ども数が多い可能性が表れた。そこで、本章では、住民の「子育て世帯の居心地のよさ」の評価を市町村ごとにスコア化した。

前章までの分析は「個人」の行動・意識・環境評価に関するデータ分析であり、そこから、少子化問題を引き起こしていると考えられる要因を探った。その結果から着眼点を得て、市町村等の実態に照らし合わせながら実効が期待される施策検討につなげていくことを目的としている。

本章では市町村という住民の「群」を対象として、市町村の実態を一層深掘りできるよう定量化を行う。すなわち、市町村住民の行動・意識・環境評価等、主に住民の「主観」を市町村ごとに集約化した結果をデータとして表し、より地域の実態に即した施策検討に対して支援することを目的とする。

(スコアやバーチャートは試算・試作である)

統計分析においては「個」を対象にする場合と、それを「群」と捉え分析した場合は、分析結果が必ずしも一致しないことが知られている。これを統計分析における「生態的誤謬」という。

そこで、本章の分析に当たっては、市町村を対象にして、ロジック・フローの矢印の起点から終点に向けた因果関係を想定して単回帰分析や重回帰分析（性別のダミー変数を追加）を行い、市町村を対象にしてもロジック・フローで想定した関係が表れるか確認を行った。

213 ページからの市町村別の回答状況をスコア化したバーチャートの項目は、市町村を対象にした単回帰分析や重回帰分析で、ロジック・フローに示した関係が認められたものだけを取り上げた。つまり、全県分析による「個人」と、市町村という住民の「群」の両方で、最終的に結婚や子ども数の希望とその実現予想に対して影響を及ぼしている可能性が認められる項目とした。

バーチャートに表した項目が、市町村ごとに集計した、結婚や子ども数の希望、その実現予想に対して影響を及ぼす要因となっているか明らかにするためには、学術的には、要因となる項目と希望や実現予想との時間的な前後関係を調べたり、複数の項目間の関係を構造化したモデルを構築した統計分析を実施したりする必要がある。

このため、今回の各市町村の回答状況のスコアは「要因」としてみた場合はあくまで試算値であり、バーチャートも市町村の施策形成の支援を目的とした試作である。

(2) 分析結果の表し方

次頁からの市町村別の分析結果は、大きく3つの部分に分けて表示されている。

①市町村の希望子ども数、予想子ども数、合計特殊出生率の表示

第I章の「希望子ども数(図I-1)」、「予想子ども数(図I-2)」を市町村で算出し、市町村の合計特殊出生率を並記することで、相互の大きさの差が一目でわかる図を作成し、簡単なコメントを付した。

②希望子ども数及び予想子ども数を男女別に構成要素へ分解

上に示した希望子ども数と予想子ども数を、男女別に分けた上で、第I章の図I-1と図I-2の同じ図を作成した。上の図の希望子ども数や予想子ども数が、男女別に、有配偶状態、結婚希望、希望する子ども数、結婚希望の実現予想、持てると思う子ども数等の構成要素に分解されて示されている。

全県の図である図I-1、図I-2と比較することによって、市町村の特徴を把握することができる。

なお、図の「離死別」は「離死別による独身者」の省略である。

③住民の行動・意識・環境評価等をスコア化したバーチャートの作成(試作)

(バーチャートの内容)

右側のページには、個人の分析に加え、市町村間の結婚・子ども数の希望、その実現予想の差に影響を及ぼしている可能性がある項目を、2つのバーチャートに分けて、市町村ごとにスコアを示した。

バーチャート1では主に行動や環境評価について19の項目がスコア化されている。バーチャート2では、主に価値観・自己意識・社会関係資本に関わる21の項目を指標化した。

(スコアの作成方法)

各項目が対象とした質問項目と計算方法は、表V-1及び表V-2に示した。

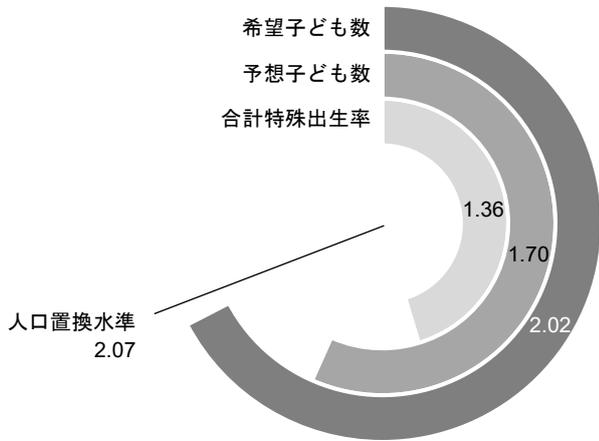
すべての項目は単位やばらつき方が異なっても比較できるよう「標準化(平均値ゼロ、標準偏差1の無名数に変換)」を行った。その上で、マイナス値が現れないよう10点を加算した。したがって、10点が市町村平均である。

このため、スコアが10点よりも低ければ、当該市町村の希望子ども数や予想子ども数を、県内の市町村間でみて相対的に引き下げる方向に作用している要因である可能性が高い。

なお、新庄村と西栗倉村は、在住している高校生が少なく、分析に十分な標本サイズが得られなかった。このため、両村のバーチャートには第三群(高校生)に関わる指標は表記されていない。

岡山市

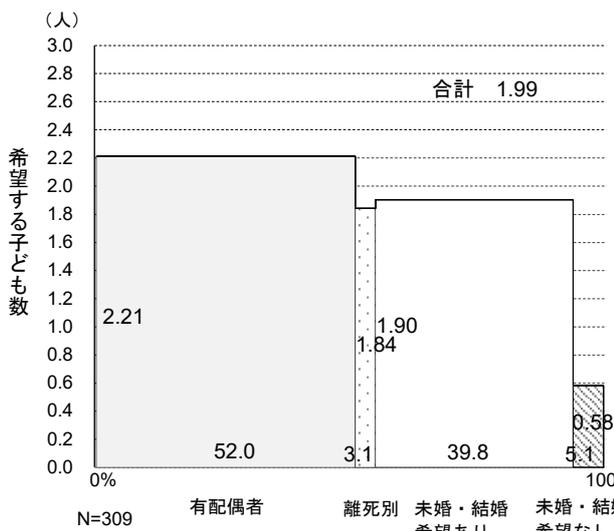
〈希望子ども数・予想子ども数と合計特殊出生率〉



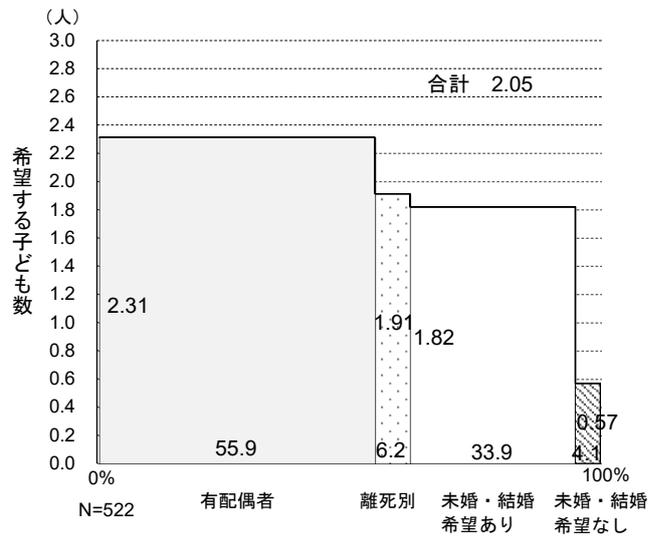
- ・岡山市の希望子ども数は2.02であり、県全体(2.06)をわずかに下回る。
- ・予想子ども数は1.70(県全体1.74)であり、希望子ども数との差は0.32である。
- ・女性の希望子ども数をみると、県全体に比べ未婚者のうち結婚を希望する者の割合がやや大きく、希望する子ども数は有配偶者と結婚希望がある未婚者とも県全体と同程度である。
- ・女性の予想子ども数は、「結婚できそう」とする未婚者の割合が大きいが、その持てると思う子ども数は、有配偶者とともに、県全体に比べ若干少ない。
- ・県内では人口の多い地域であり、県と構造は似ているが、持てると思う子ども数が県全体に比べやや少ない。

〈希望子ども数〉

(男性)

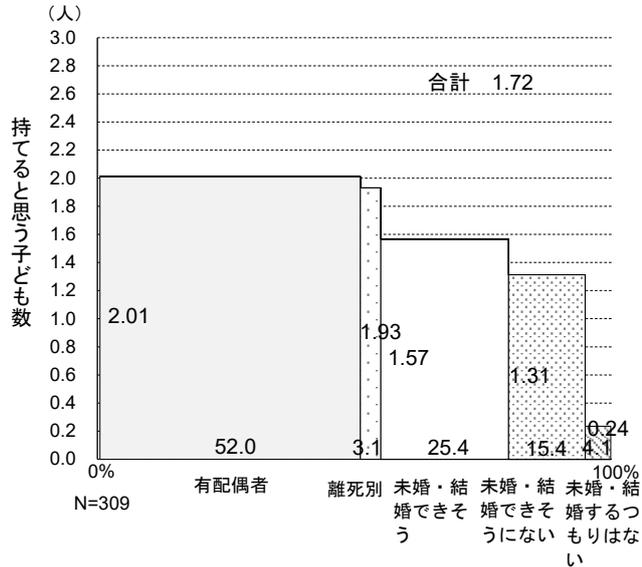


(女性)

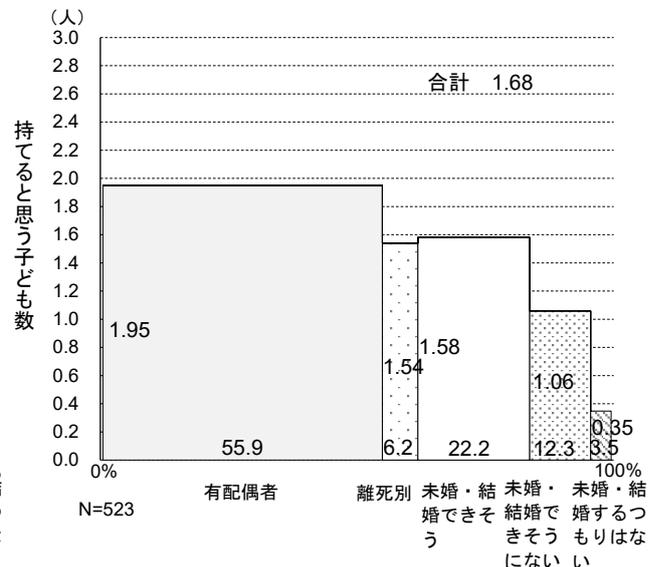


〈予想子ども数〉

(男性)

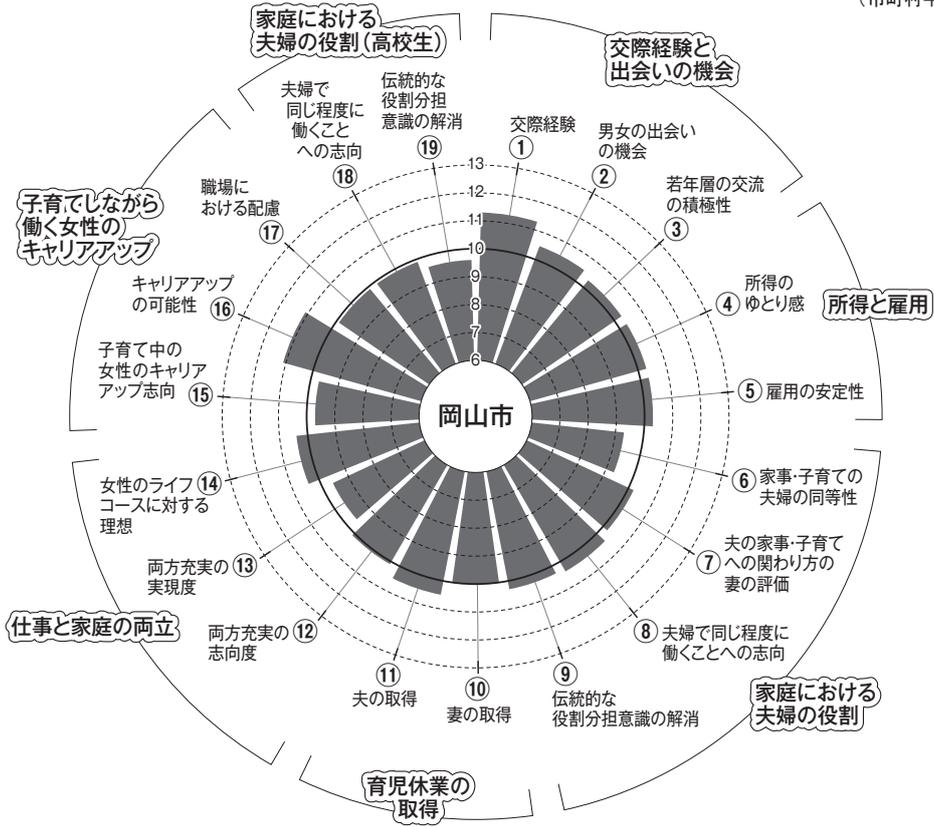


(女性)



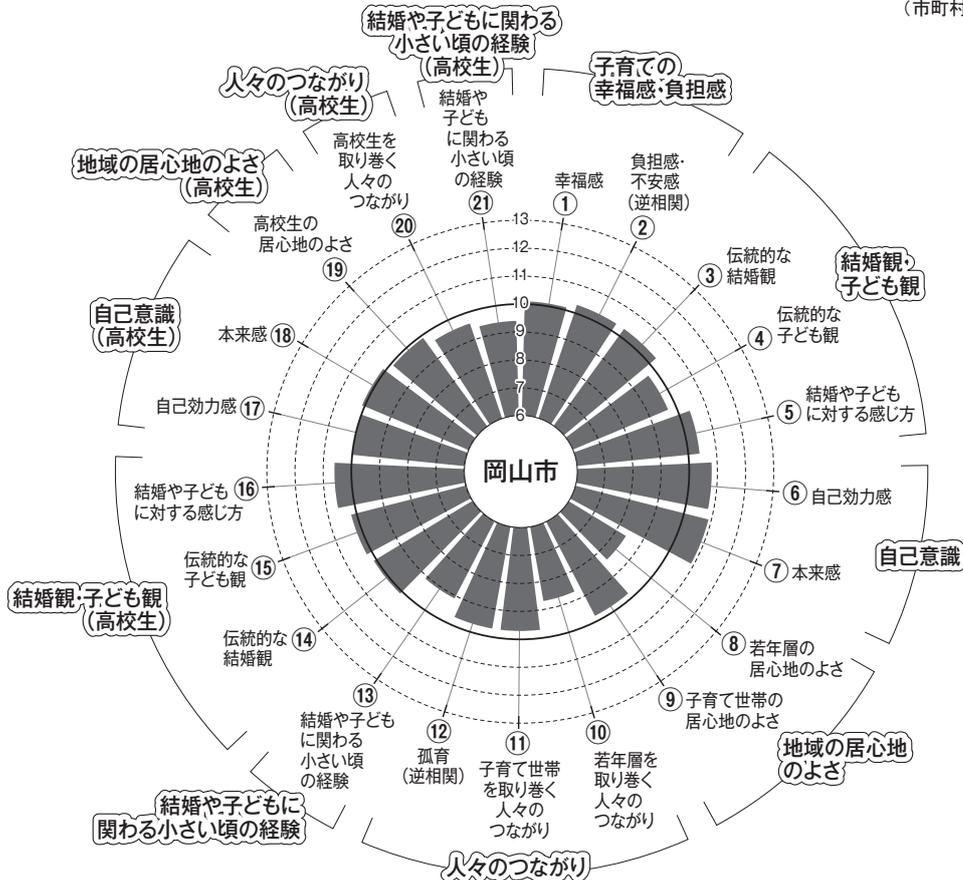
バーチャート1 (行動・環境等)

(市町村平均=10)



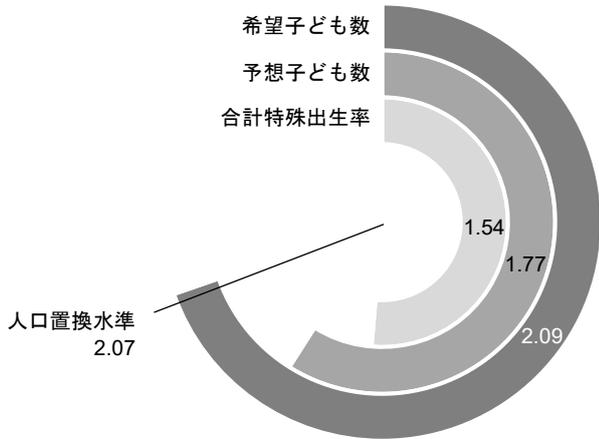
バーチャート2 (価値観・自己意識・社会関係資本等)

(市町村平均=10)



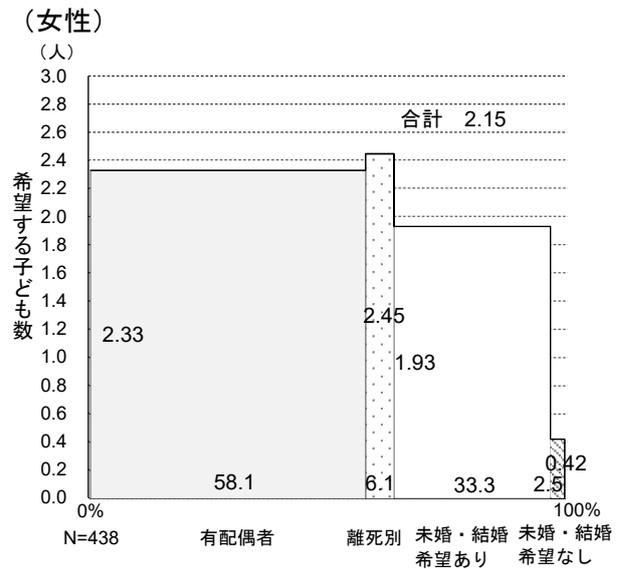
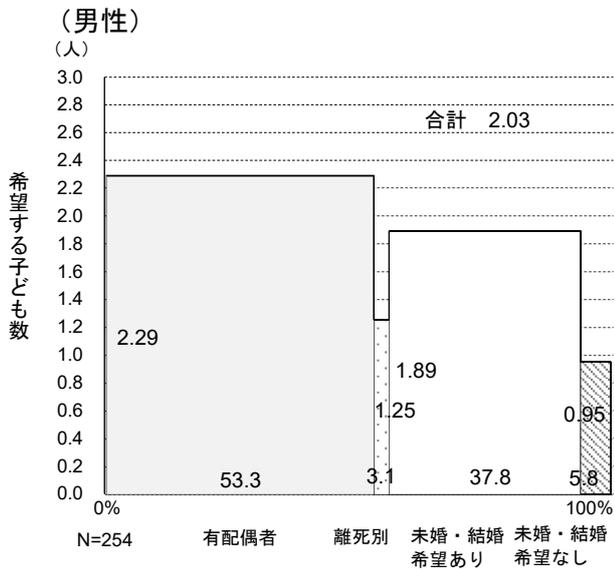
倉敷市

〈希望子ども数・予想子ども数と合計特殊出生率〉

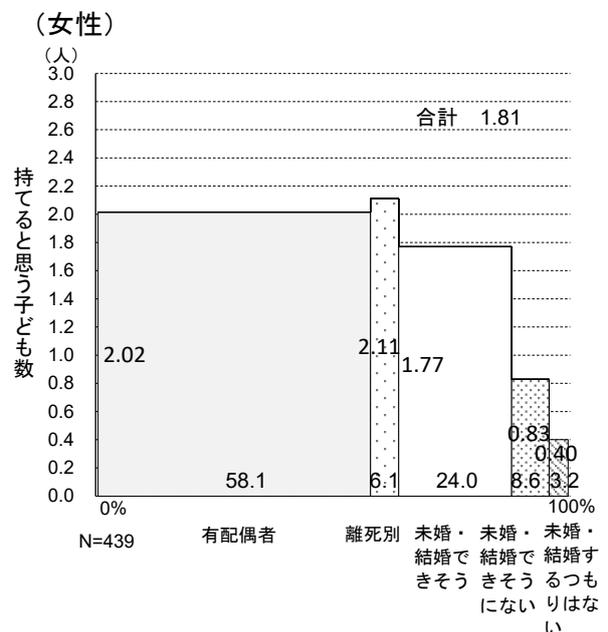
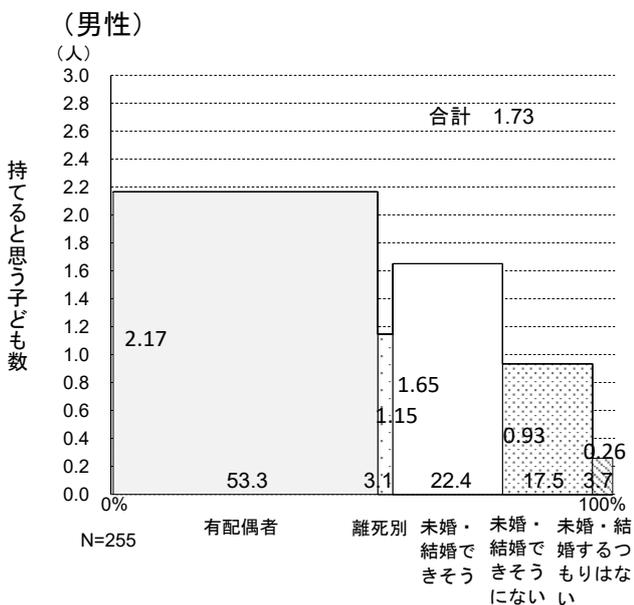


- 倉敷市の希望子ども数は2.09であり、県全体（2.06）を上回るとともに、人口置換水準（2.07）に達する。
- 予想子ども数1.77は県全体（1.74）を上回るものの、希望子ども数との差は0.32になる。
- 女性の希望子ども数についてみると、県全体に比べ未婚者の結婚を希望する者の割合がやや大きい。結婚希望がある未婚者の希望する子ども数は県全体をいくらか上回るものの、有配偶者ではほとんど変わらない。
- 女性の予想子ども数では、「結婚できそう」とする未婚者の割合が大きく（有配偶者を含む割合であるが市町村で最も大きい）、その持てると思う子ども数も県全体より多い。

〈希望子ども数〉

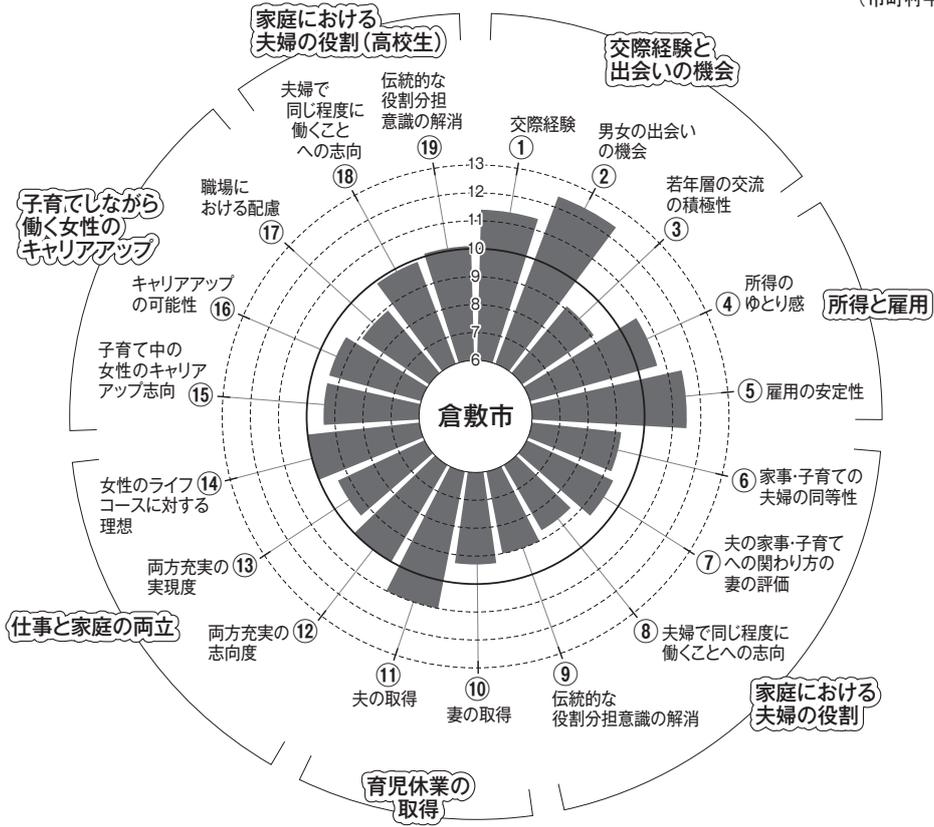


〈予想子ども数〉



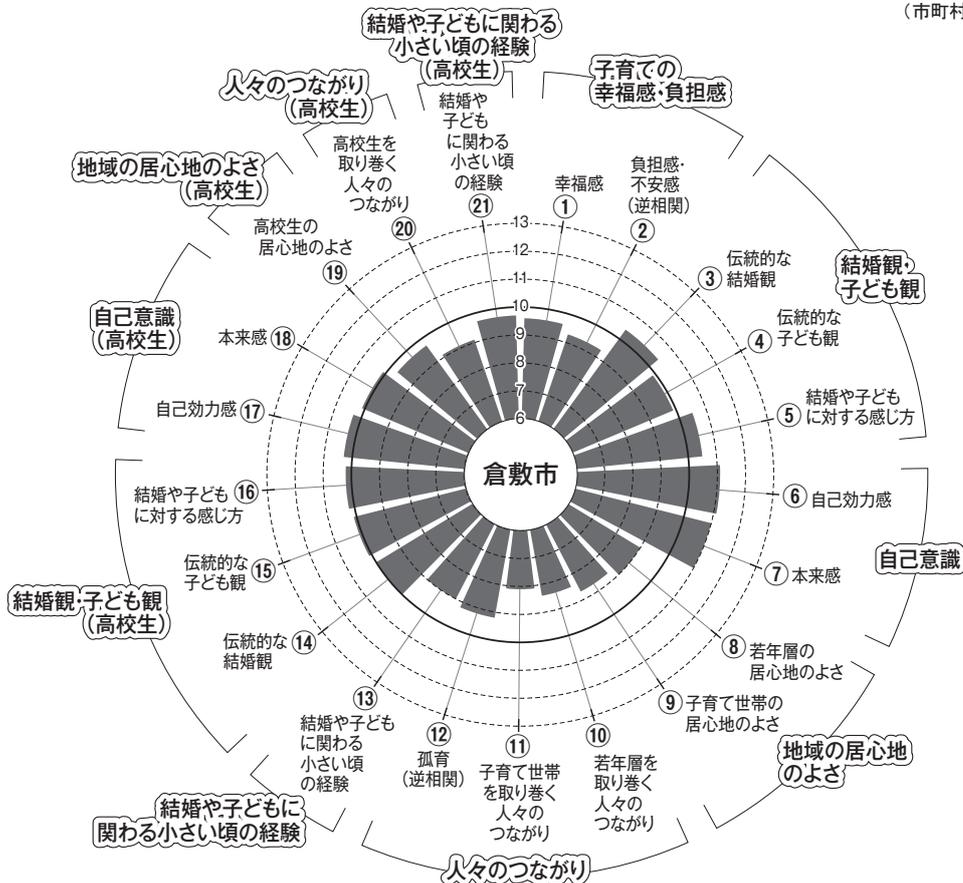
バーチャート1 (行動・環境等)

(市町村平均=10)



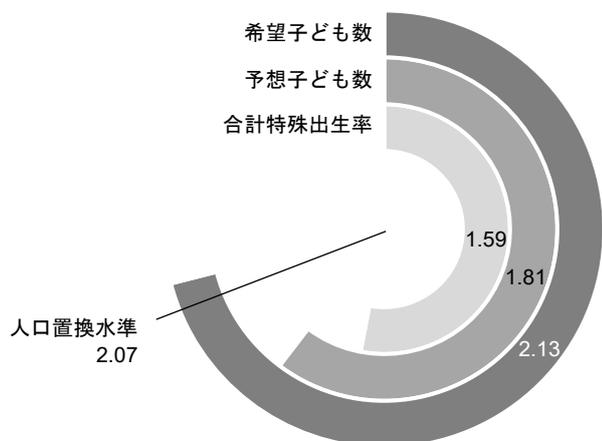
バーチャート2 (価値観・自己意識・社会関係資本等)

(市町村平均=10)



津山市

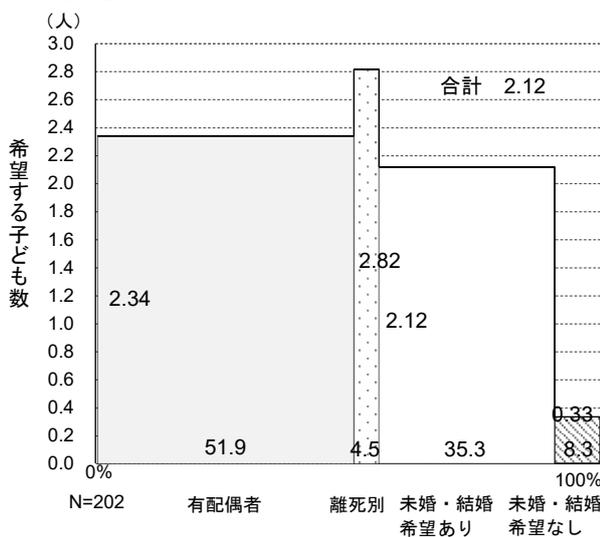
〈希望子ども数・予想子ども数と合計特殊出生率〉



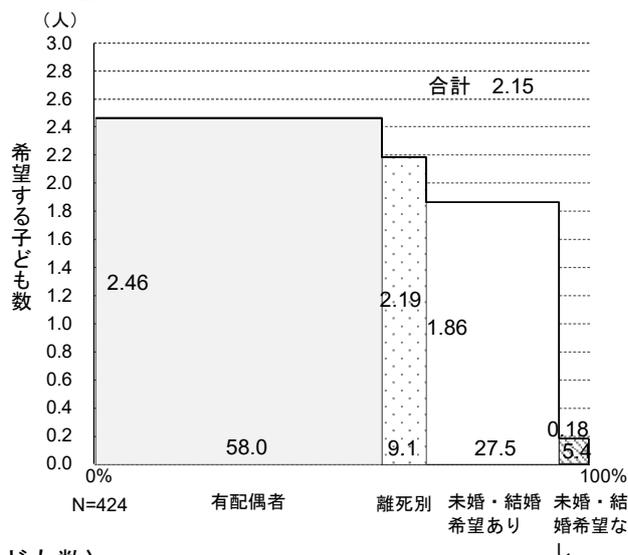
- ・ 津山市の希望子ども数は2.13であり、県全体(2.06)を上回るとともに、人口置換水準(2.07)を上回る。
- ・ 予想子ども数1.81は県全体(1.74)を上回るものの、希望子ども数との差は0.32である。
- ・ 女性の希望子ども数についてみると、県全体に比べ、有配偶率や離死別による独身者の割合が大きいこともあって、全体に占める未婚者の「結婚希望あり」の割合が小さい。有配偶者の希望する子ども数は、県全体を上回る。
- ・ 女性の予想子ども数は、県全体に比べ、「結婚できそう」とする未婚者の割合が小さく、その持てると思う子ども数も少ない。

〈希望子ども数〉

(男性)

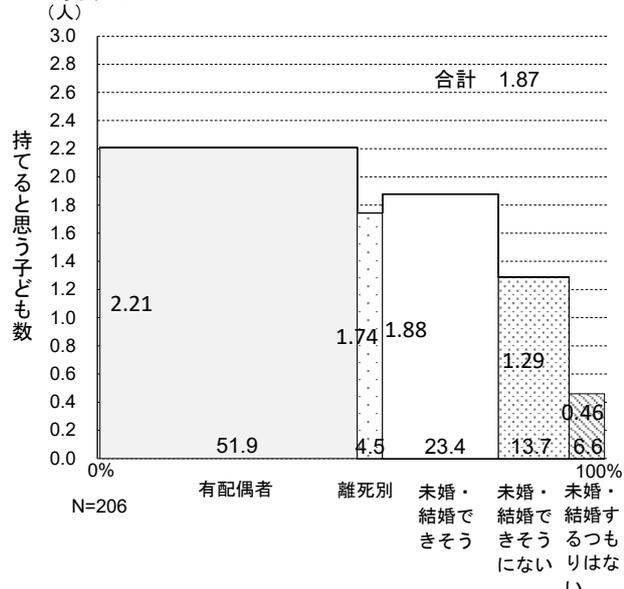


(女性)

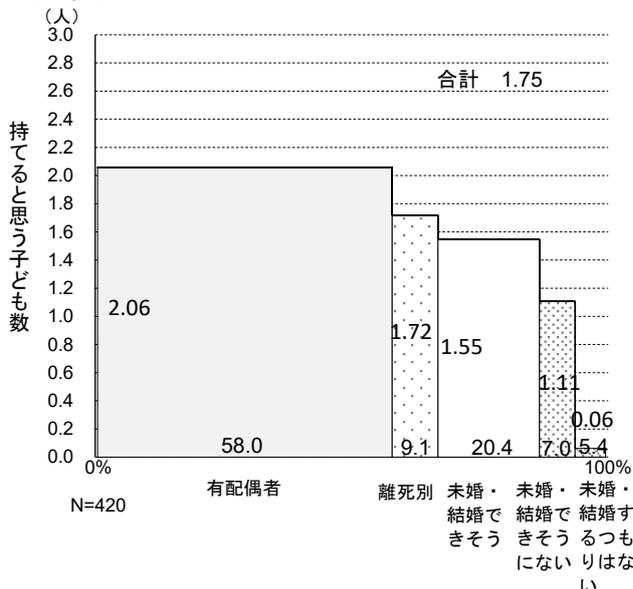


〈予想子ども数〉

(男性)

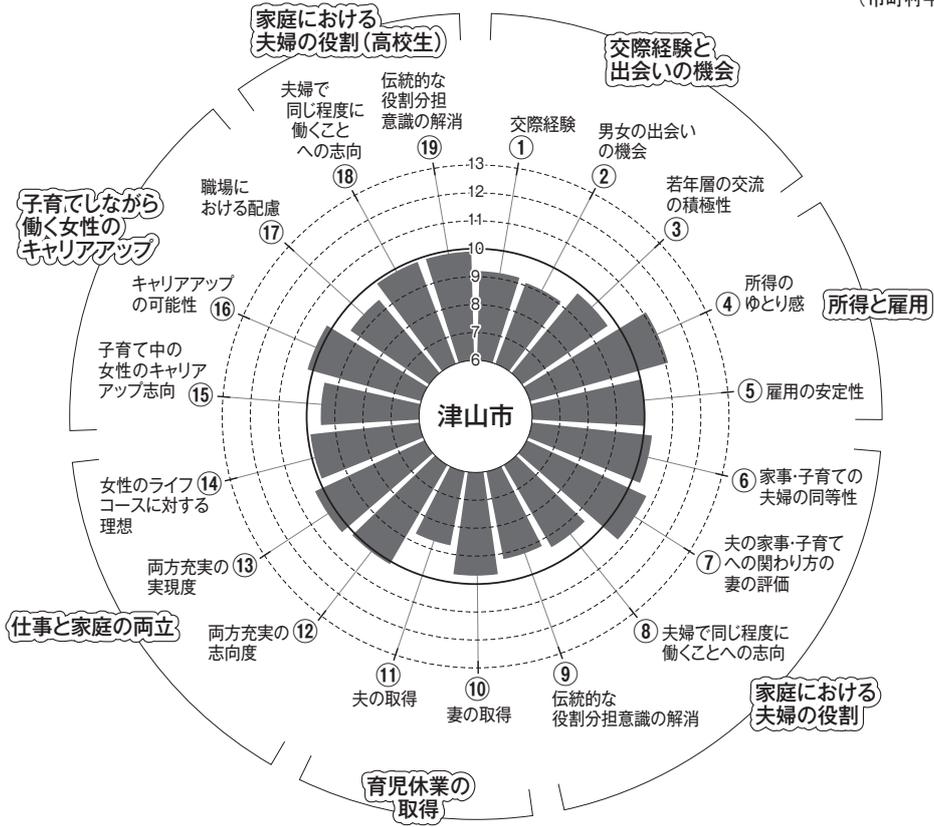


(女性)



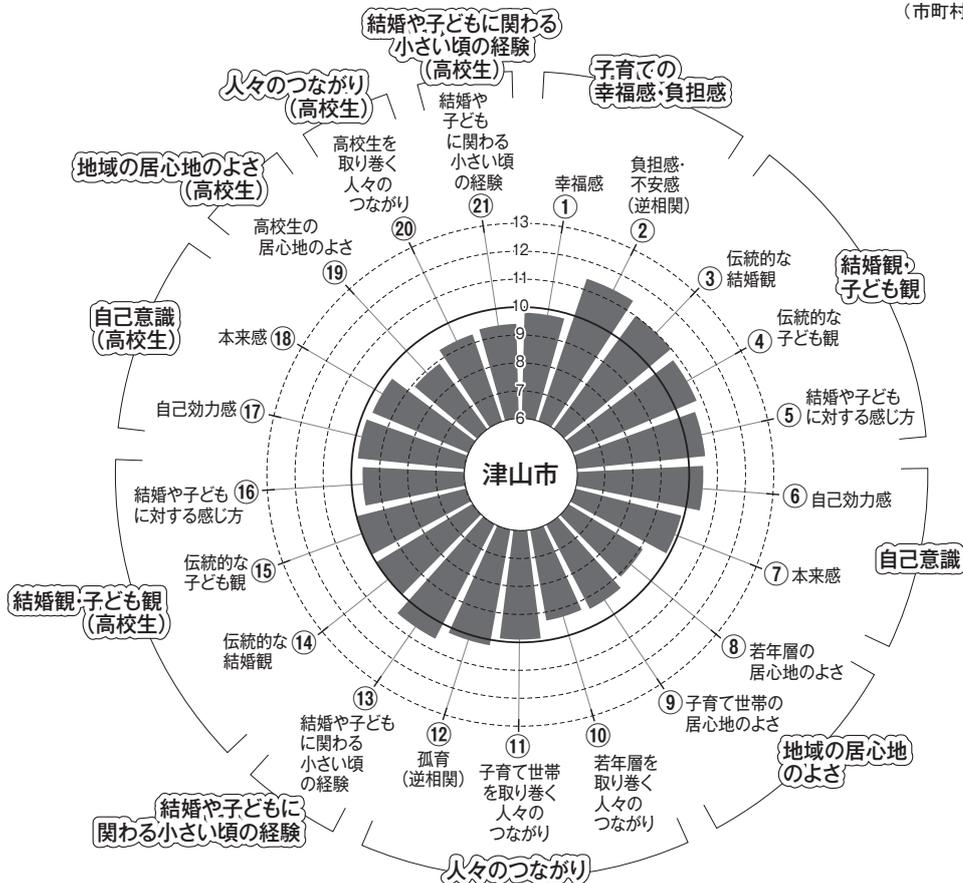
バーチャート1 (行動・環境等)

(市町村平均=10)



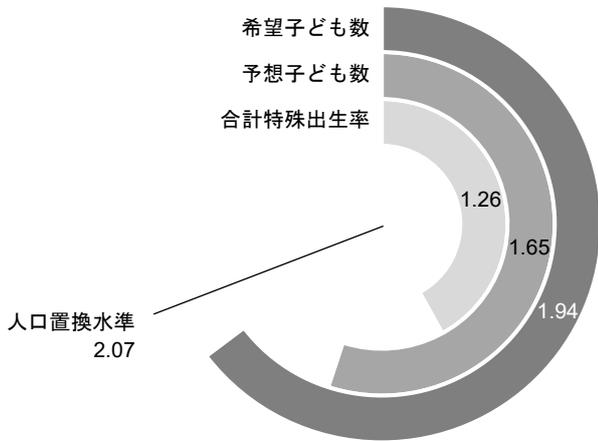
バーチャート2 (価値観・自己意識・社会関係資本等)

(市町村平均=10)



玉野市

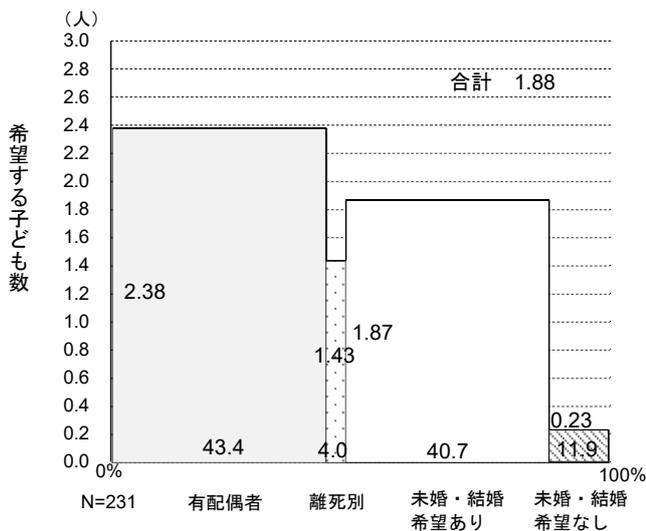
〈希望子ども数・予想子ども数と合計特殊出生率〉



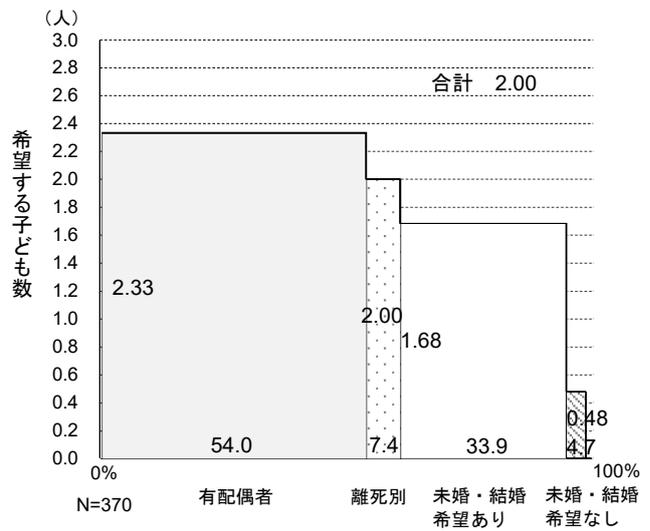
- ・ 玉野市の希望子ども数は1.94であり、県全体(2.06)を下回り、人口置換水準とは0.13の差がある。
- ・ 予想子ども数1.65(県全体1.74)と、希望子ども数との差は0.29である。県内市町村の中では、希望子ども数、予想子ども数ともに最も少ない。
- ・ 女性の希望子ども数をみると、県全体に比べ未婚者の「結婚希望あり」の割合は大差はない。しかし、その希望する子ども数が県全体に比べて少ない。有配偶率の低さも響いている。
- ・ 女性の予想子ども数は県全体に比べて少ないが、「結婚できそうにない」とする未婚者の持てると思う子ども数の少なさが影響している。

〈希望子ども数〉

(男性)

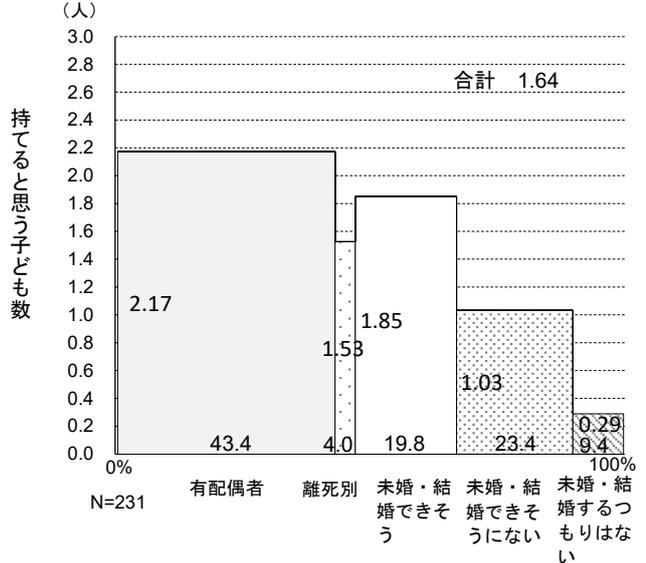


(女性)

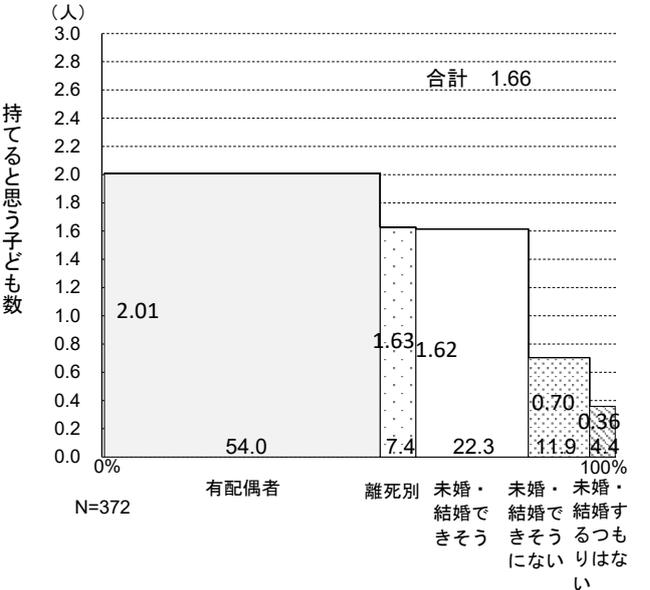


〈予想子ども数〉

(男性)

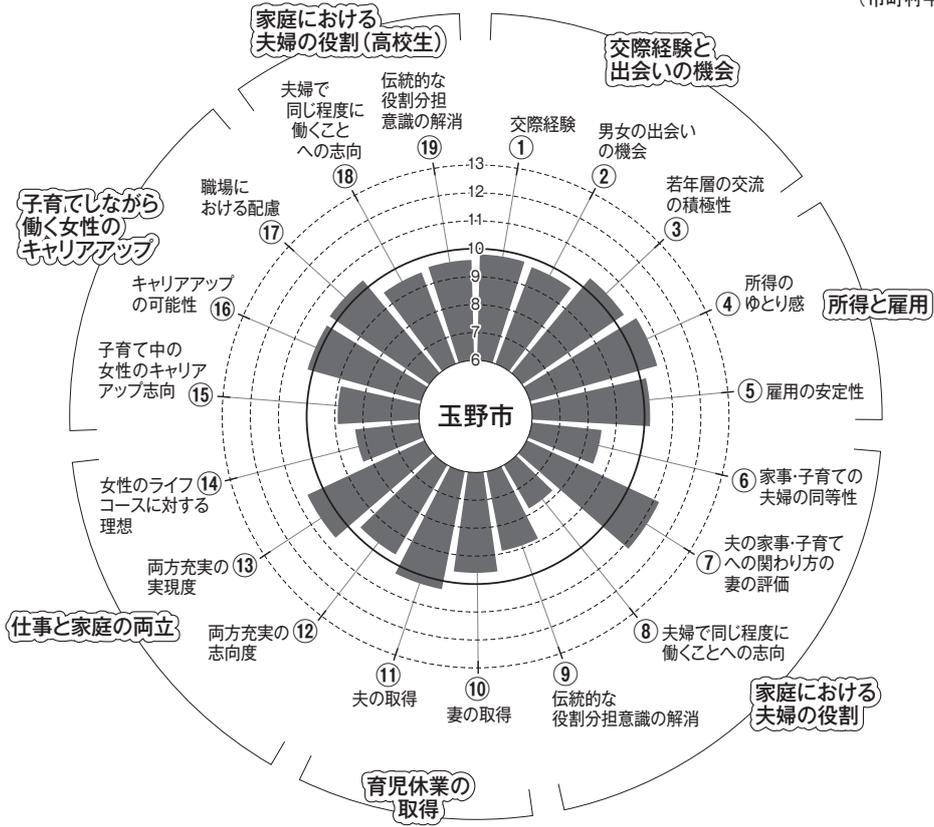


(女性)



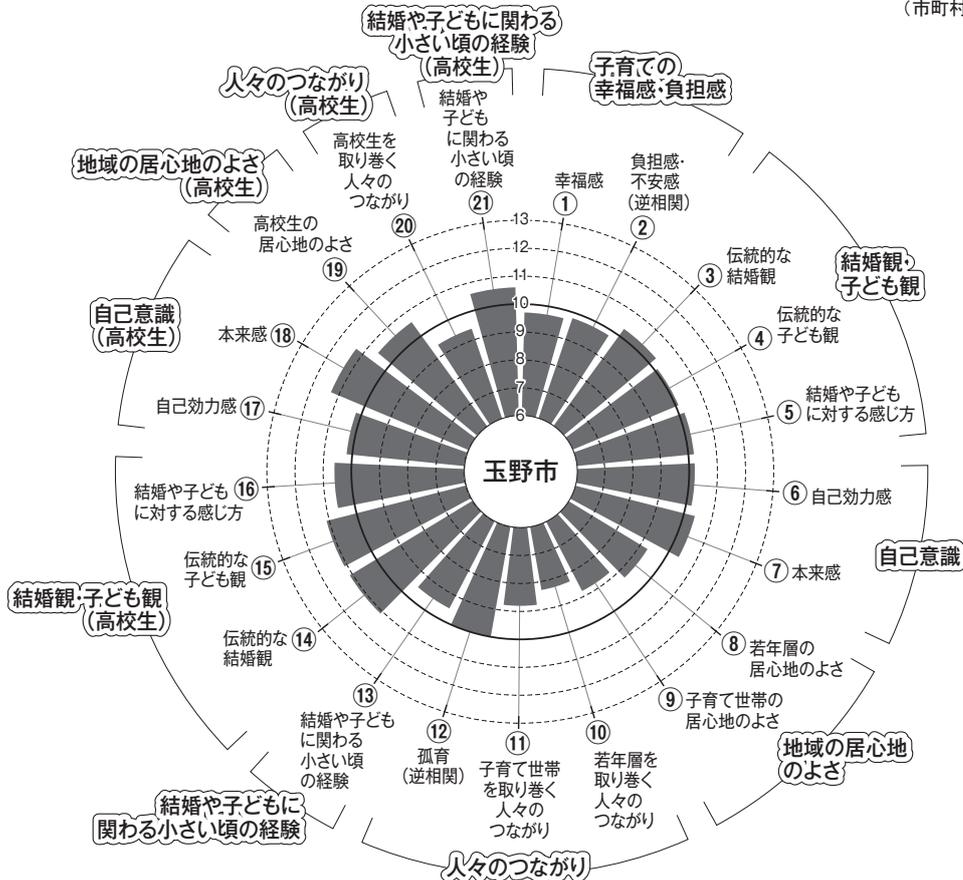
バーチャート1 (行動・環境等)

(市町村平均=10)



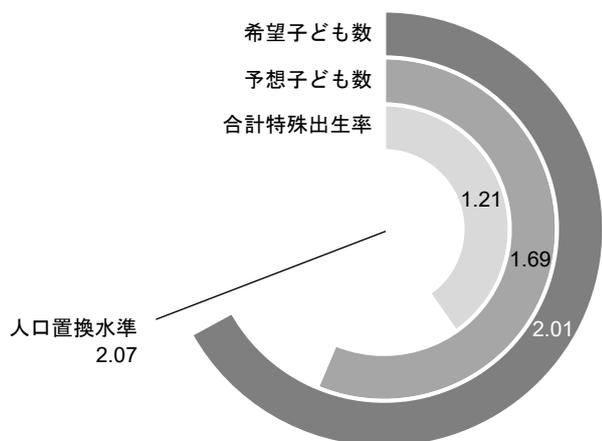
バーチャート2 (価値観・自己意識・社会関係資本等)

(市町村平均=10)



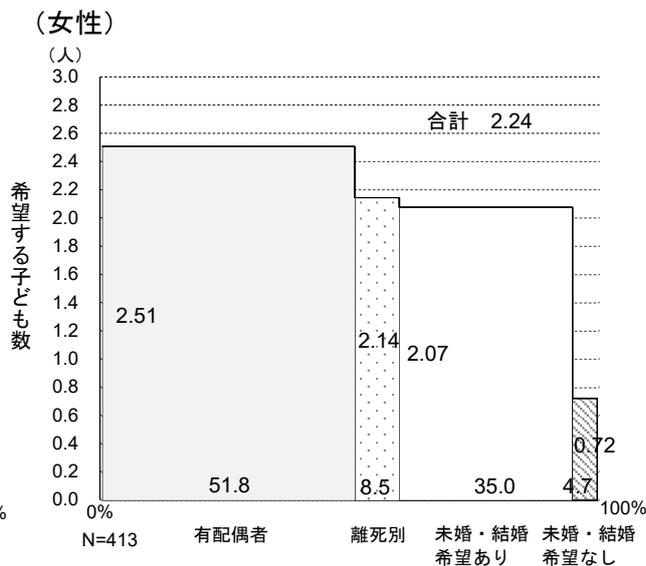
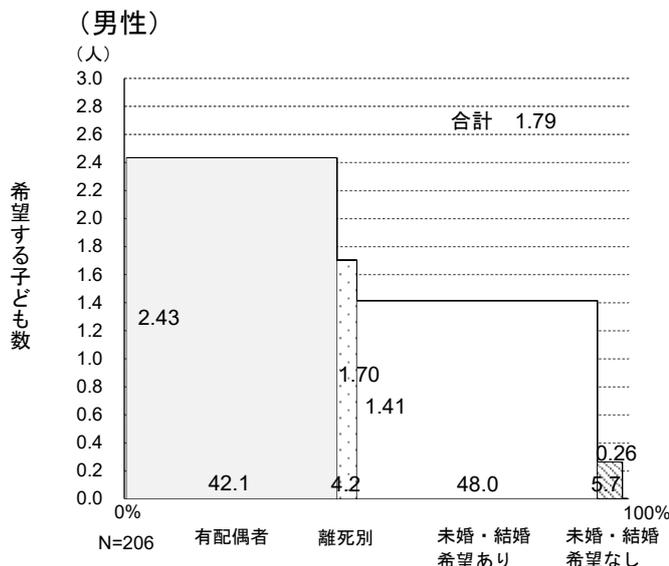
笠岡市

〈希望子ども数・予想子ども数と合計特殊出生率〉

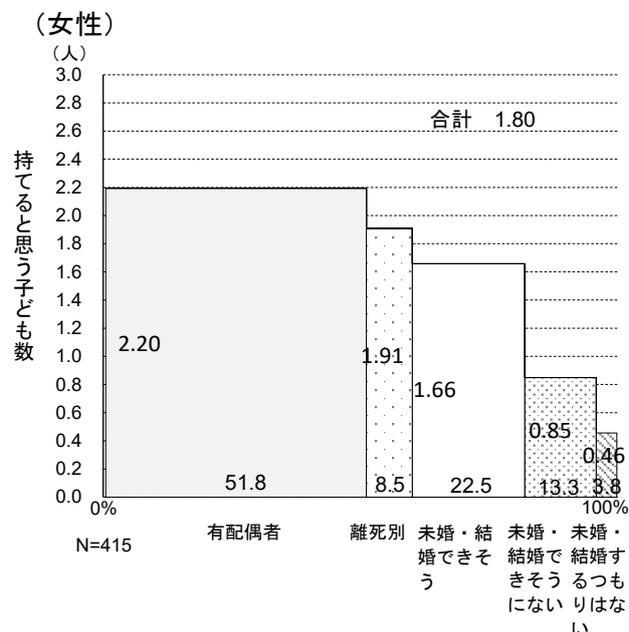
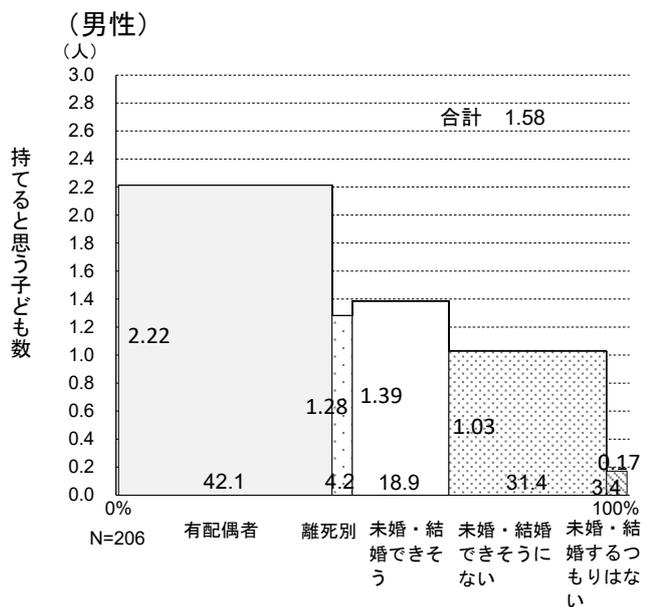


- ・ 笠岡市の希望子ども数は2.01であり、県全体（2.06）をわずかに下回る。人口置換水準（2.07）との差は0.06である。希望子ども数と予想子ども数1.69（県全体1.74）との差は0.32である。
- ・ 女性の希望子ども数についてみると、有配偶者、「結婚希望あり」とする未婚者とも希望する子ども数は県全体を上回るものの、希望する子ども数の多い有配偶者の割合（有配偶率）が小さいことが、希望子ども数に影響を及ぼしている。
- ・ 女性の予想子ども数も同様で、県全体に比べ、持てると思う子ども数が少ない未婚者が多いことによって、予想子ども数が県全体よりも小さくなっているものとみられる。

〈希望子ども数〉

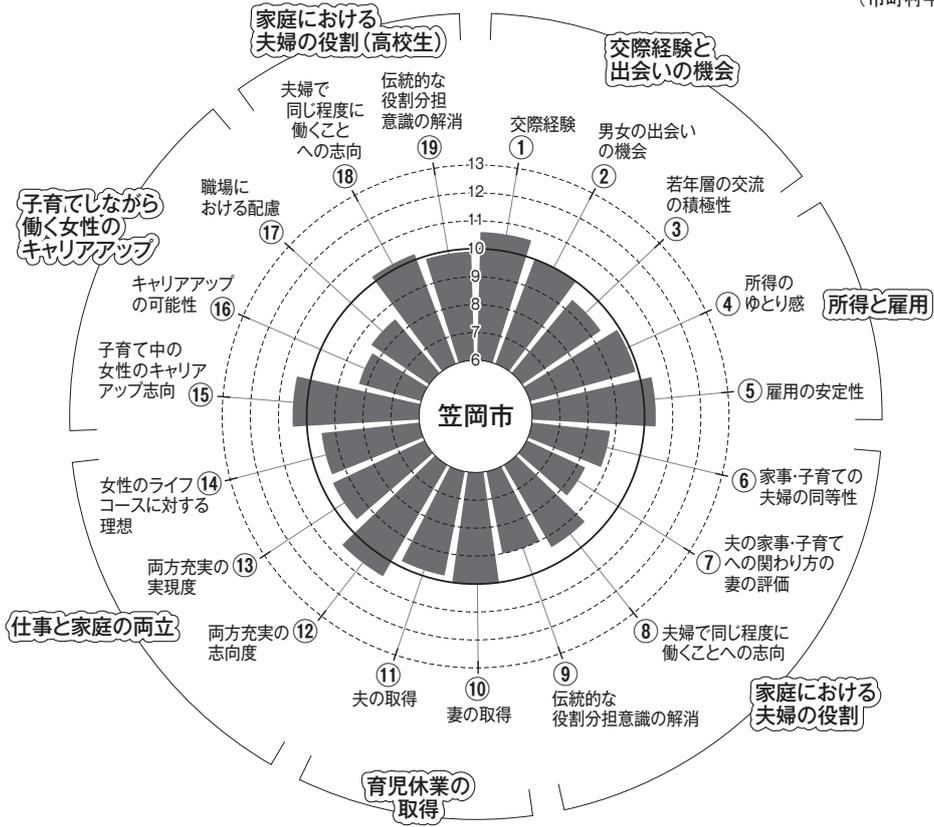


〈予想子ども数〉



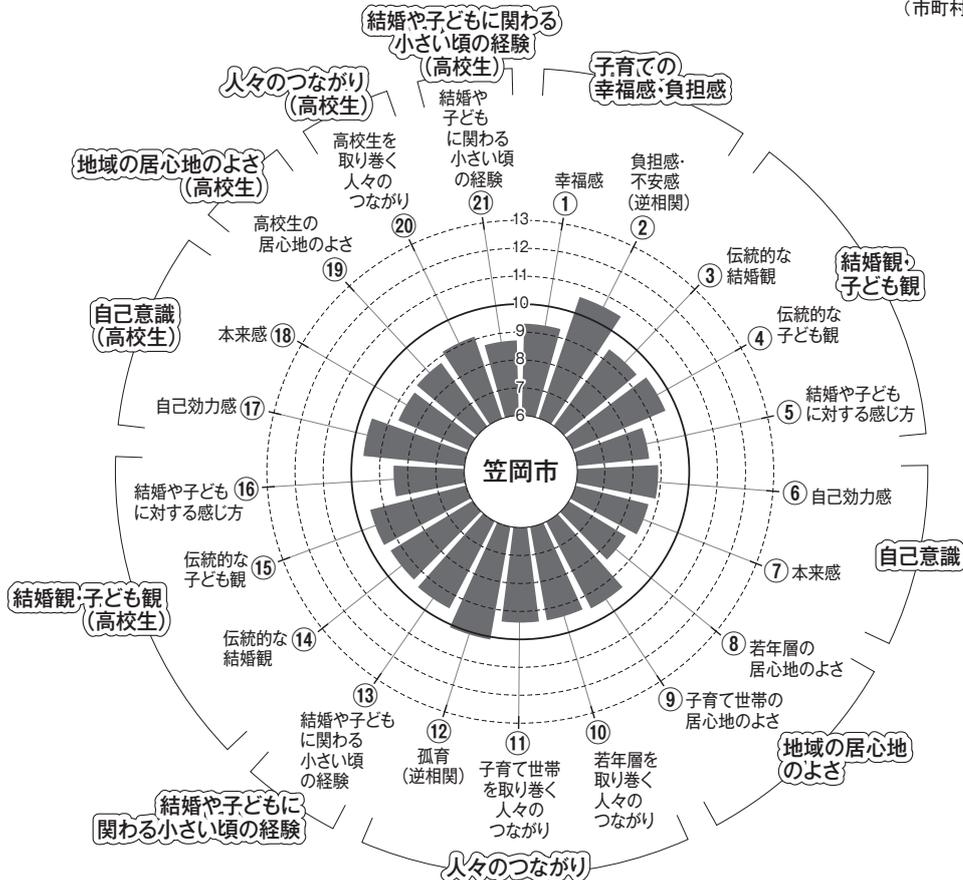
パーチャート1 (行動・環境等)

(市町村平均=10)



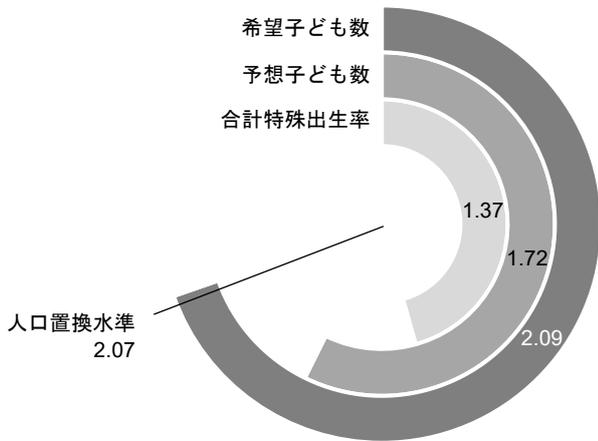
パーチャート2 (価値観・自己意識・社会関係資本等)

(市町村平均=10)



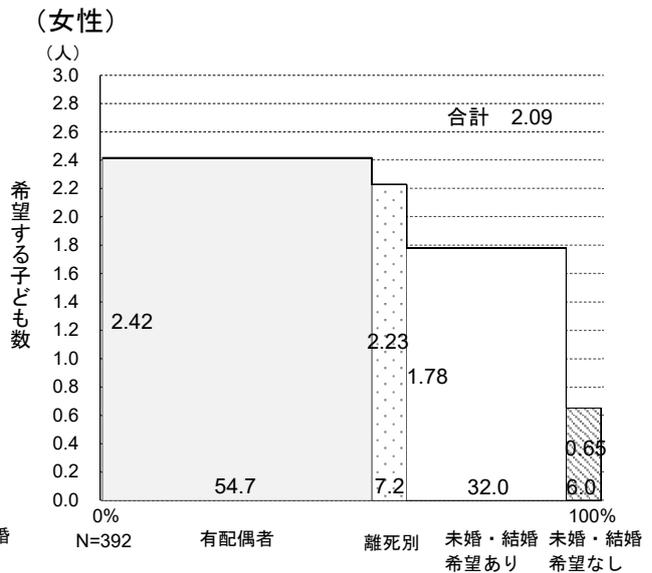
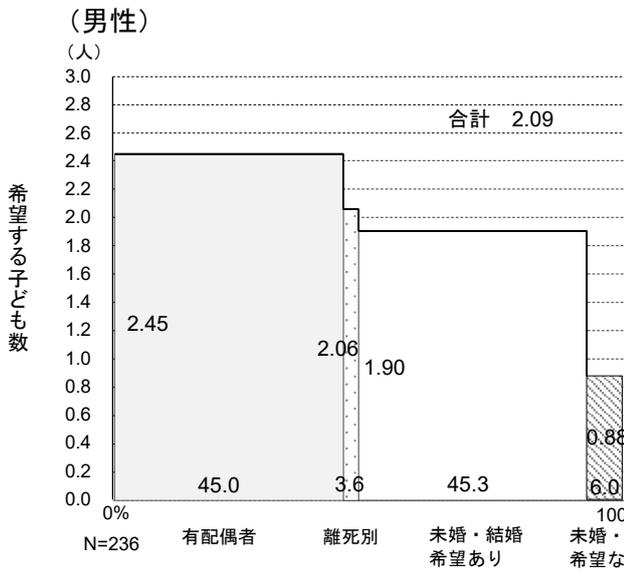
井原市

〈希望子ども数・予想子ども数と合計特殊出生率〉

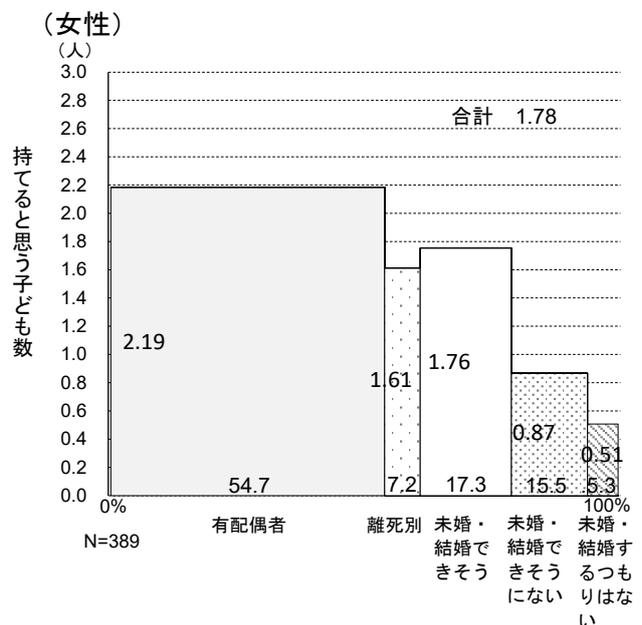
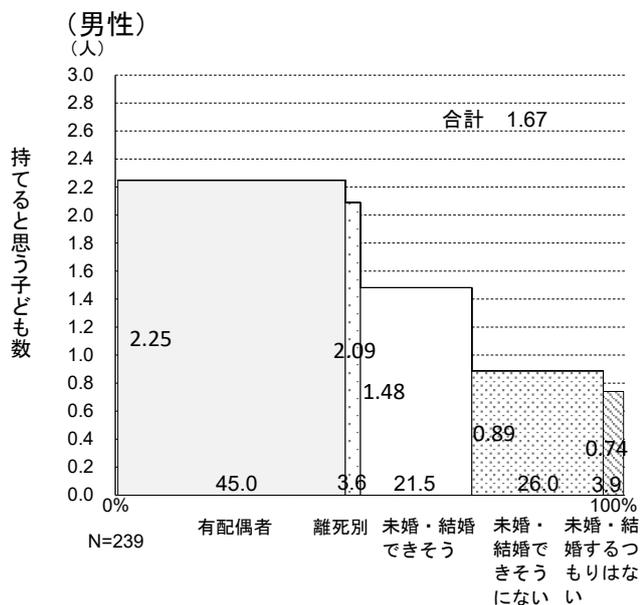


- ・ 井原市の希望子ども数は 2.09 であり、県全体 (2.06) を上回るとともに、人口置換水準 (2.07) に達する。
- ・ 予想子ども数は 1.72 (県全体 1.74) であり、希望子ども数との差は 0.37 である。
- ・ 女性の希望子ども数についてみると、「結婚希望あり」とする未婚者の割合は県全体と変わらないものの、その希望する子ども数が県全体を下回る。逆に、有配偶者の希望する子ども数は多いが、有配偶率が低い。
- ・ 女性の予想子ども数は、県全体に比べ、「結婚できそうにない」とする未婚者の割合が大きいことが特徴である。有配偶者の持てると思う子ども数の多さを打ち消している。

〈希望子ども数〉

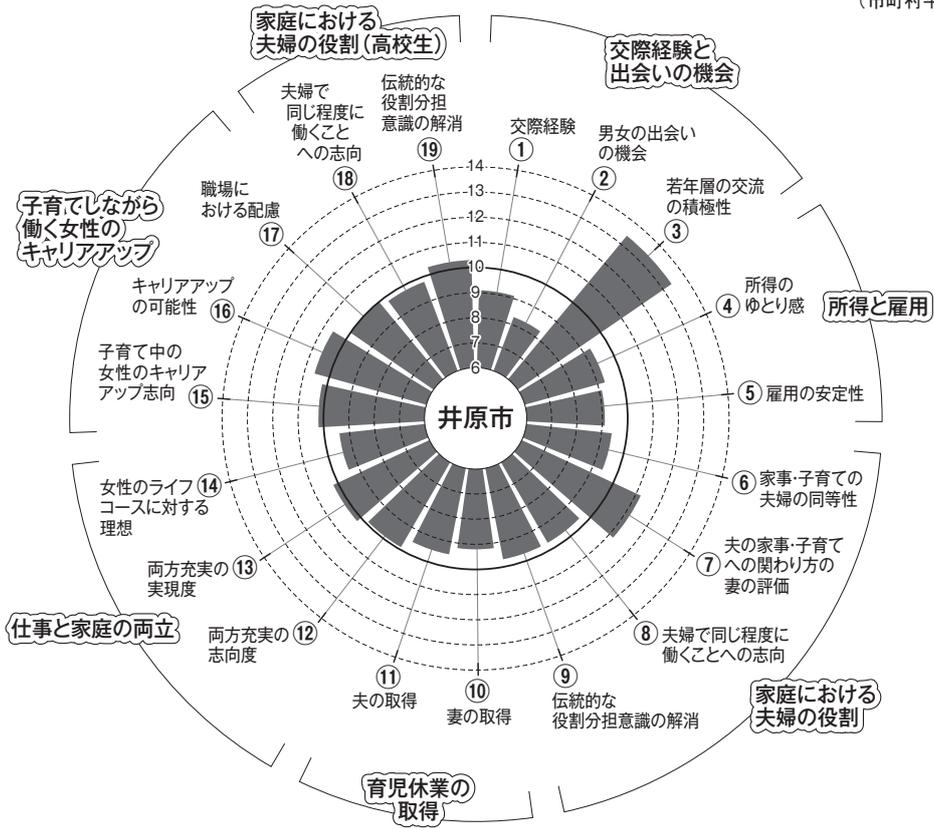


〈予想子ども数〉



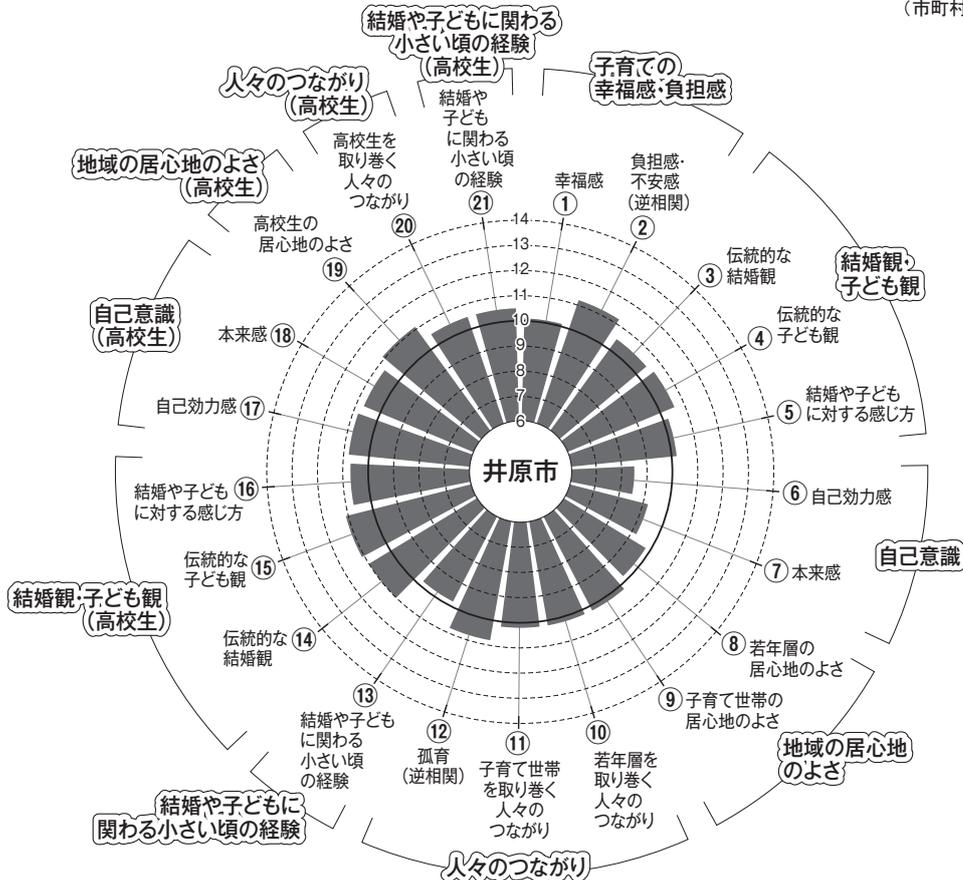
バーチャート1 (行動・環境等)

(市町村平均=10)



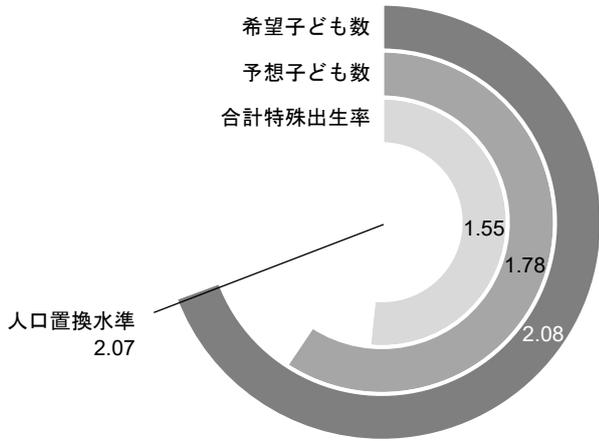
バーチャート2 (価値観・自己意識・社会関係資本等)

(市町村平均=10)



総社市

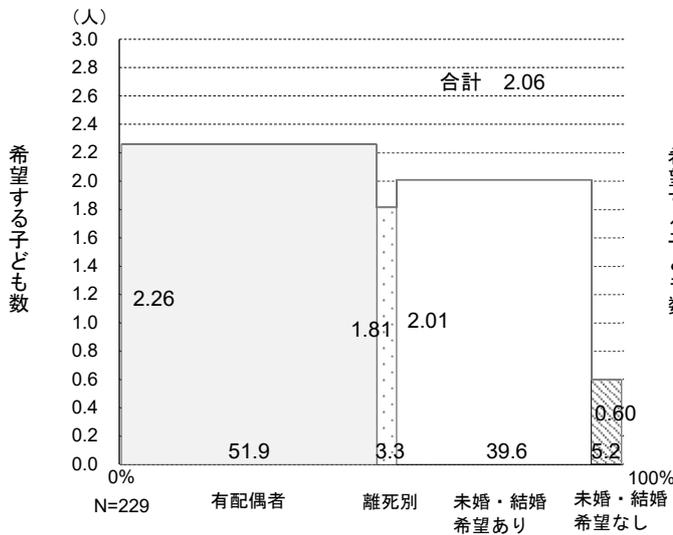
〈希望子ども数・予想子ども数と合計特殊出生率〉



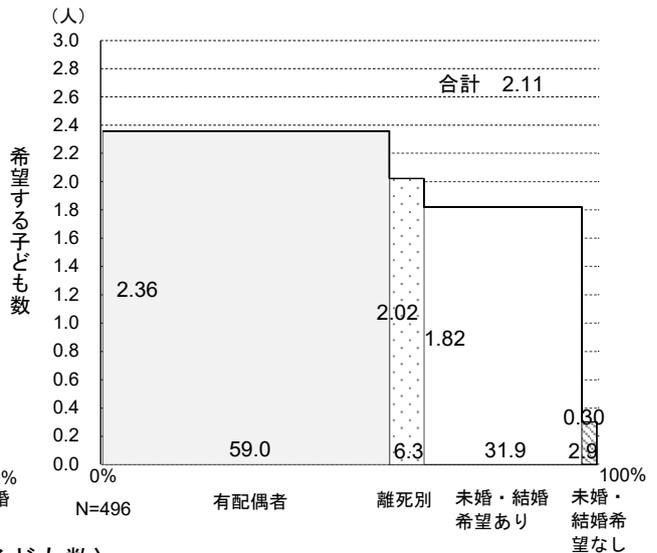
- ・ 総社市の希望子ども数は2.08であり、県全体（2.06）をわずかに上回るとともに、人口置換水準（2.07）に達する。
- ・ 予想子ども数1.78は県全体（1.74）をやや上回り、希望子ども数との差も0.30と小さい。
- ・ 女性の希望子ども数についてみると、「結婚希望あり」とする未婚者の割合や未婚者・有配偶者の希望する子ども数など、全体に県全体と似た構造をしている。その中で、やや有配偶率が高いことが、希望子ども数の大きさに影響している。
- ・ 女性の予想子ども数では、「結婚できそうにない」とする未婚者の割合は県全体よりも大きい。有配偶率とその持てると思う子ども数の寄与が大きい。

〈希望子ども数〉

（男性）

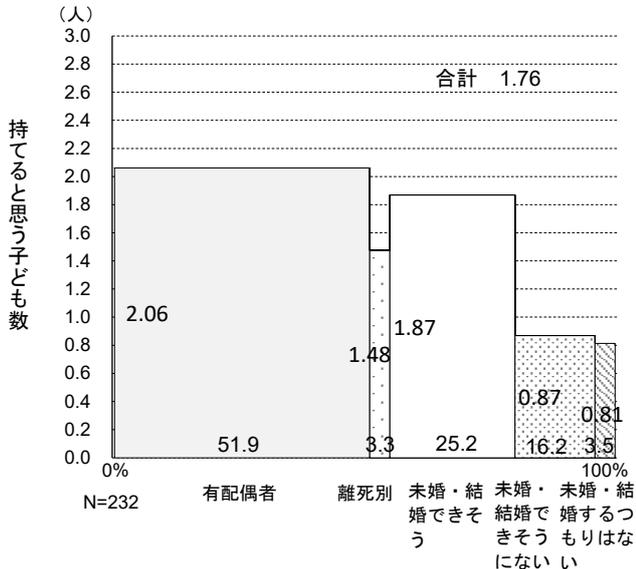


（女性）

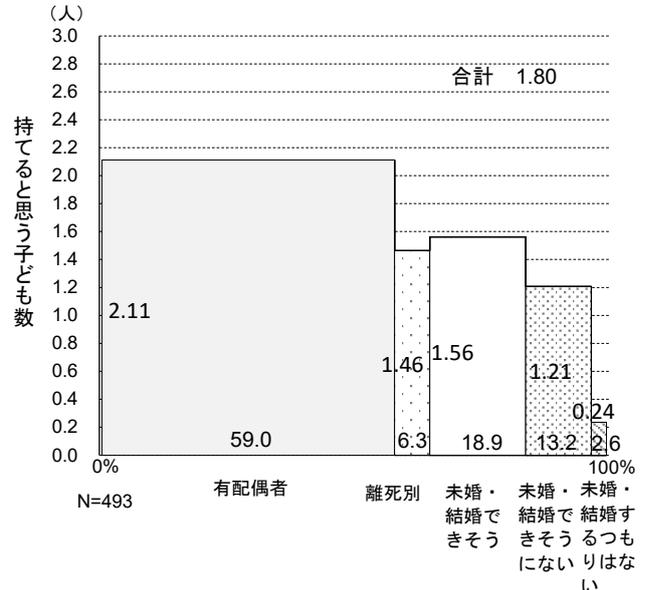


〈予想子ども数〉

（男性）

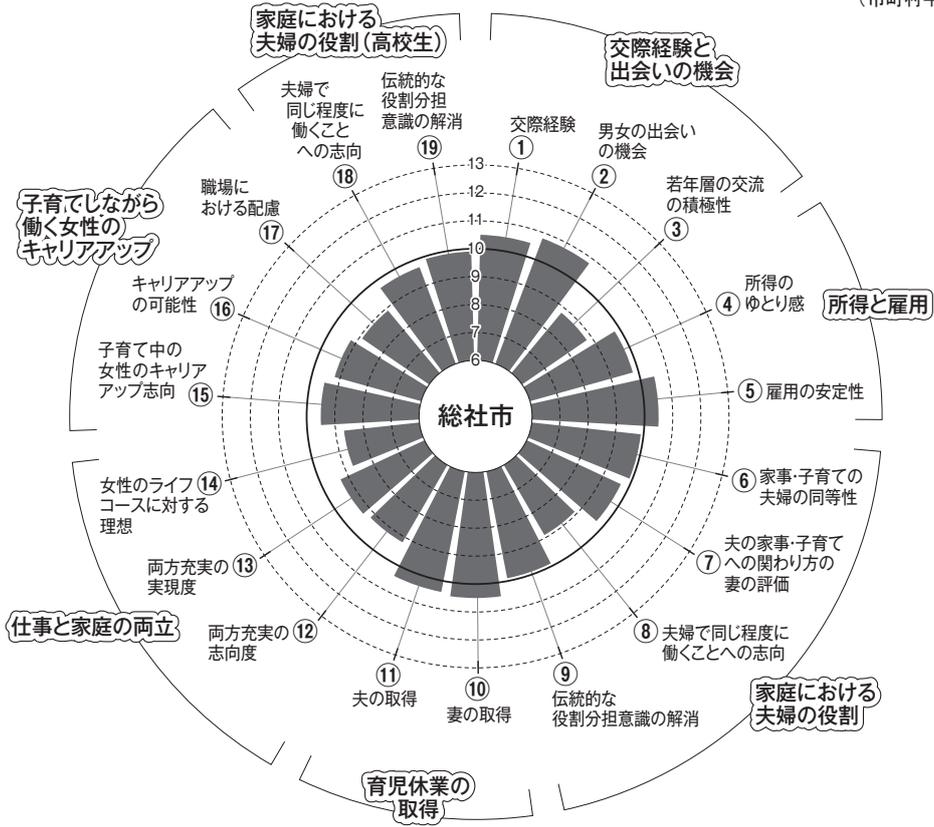


（女性）



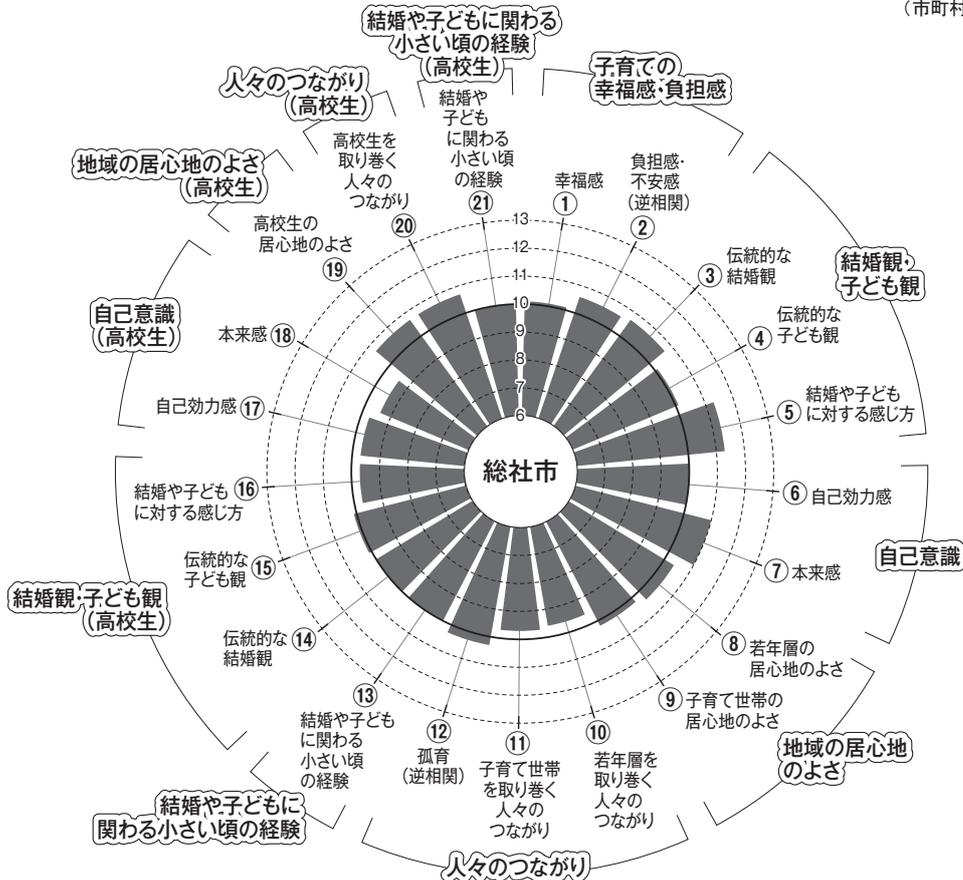
パーチャート1 (行動・環境等)

(市町村平均=10)



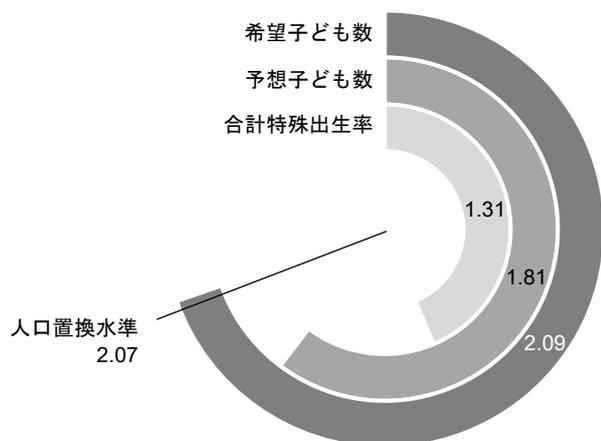
パーチャート2 (価値観・自己意識・社会関係資本等)

(市町村平均=10)



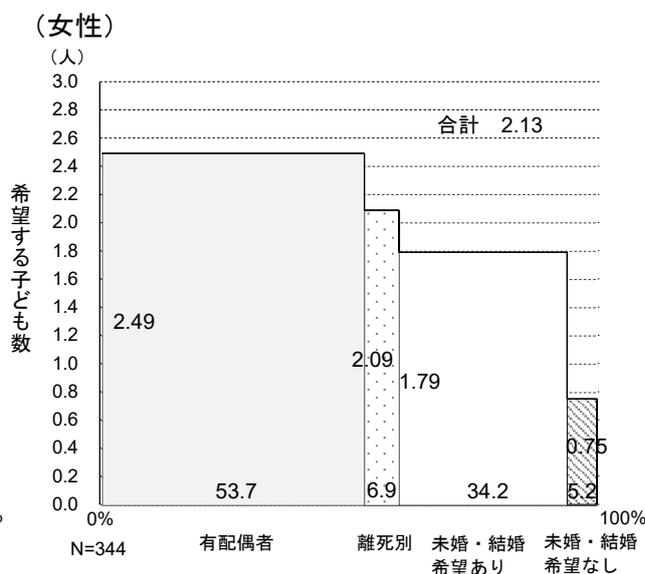
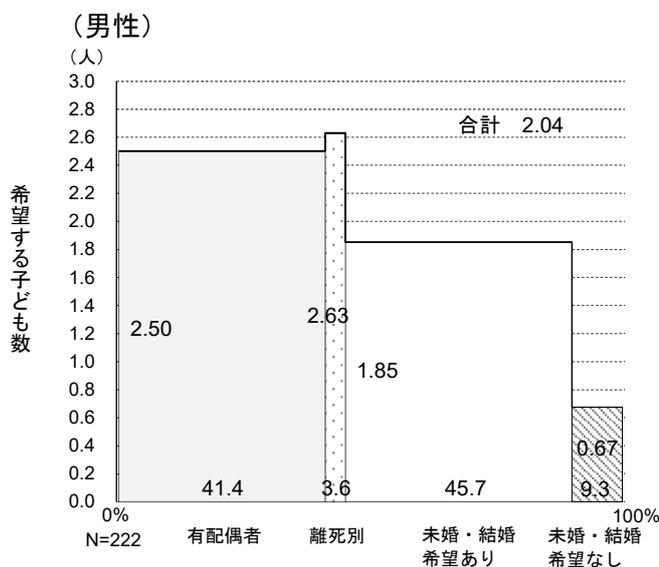
高梁市

〈希望子ども数・予想子ども数と合計特殊出生率〉

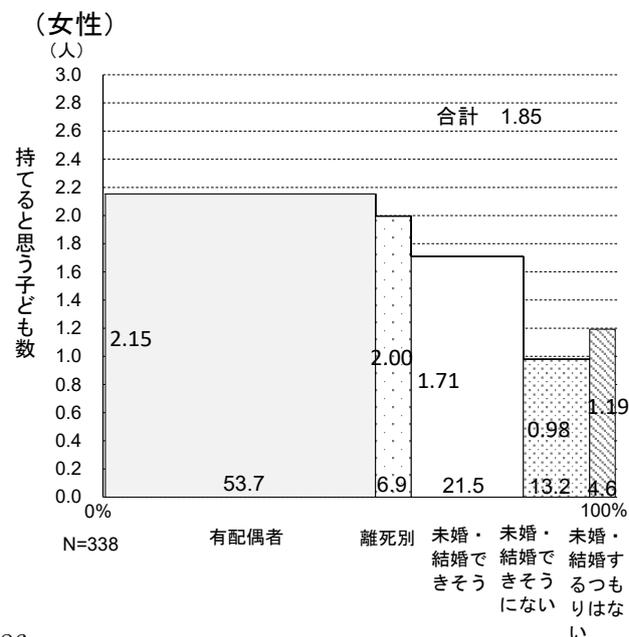
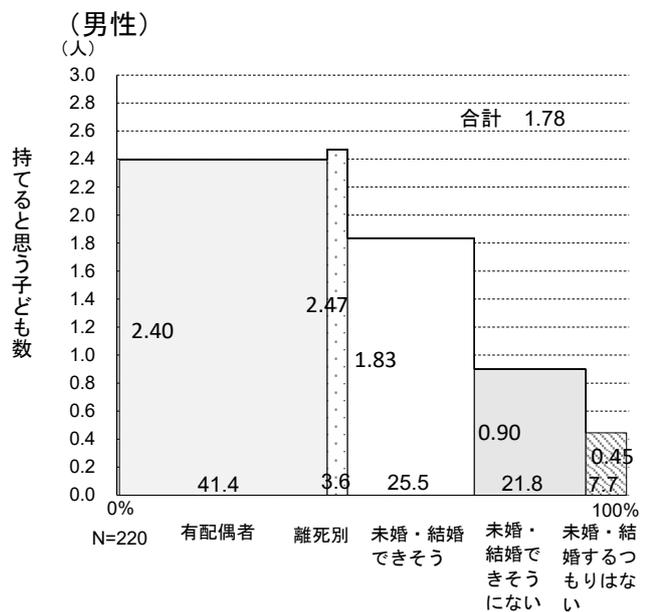


- ・ 高梁市の希望子ども数は2.09であり、県全体(2.06)を上回るとともに、人口置換水準(2.07)に達する。
- ・ 予想子ども数1.81は県全体(1.74)を上回り、希望子ども数との差も0.28と小さい。
- ・ 女性の希望子ども数についてみると、県に比べて有配偶率が低く、「結婚希望あり」とする未婚者の割合が大きい。有配偶者の希望する子ども数の多さが寄与しているが、「結婚希望あり」とする未婚者の希望する子ども数は県全体を下回っている。
- ・ 女性の予想子ども数では、県全体に比べ、「結婚できそうにない」とする未婚者の割合が大きく、有配偶率も低い。一方、有配偶者の持てると思う子ども数がプラスに寄与している。

〈希望子ども数〉

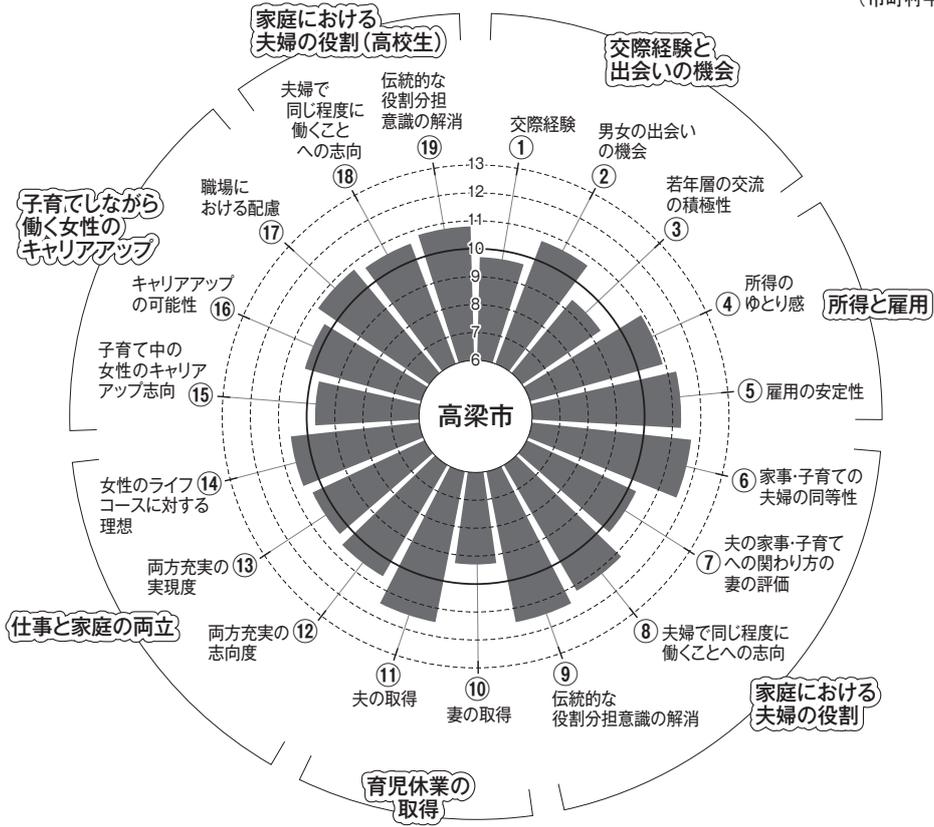


〈予想子ども数〉



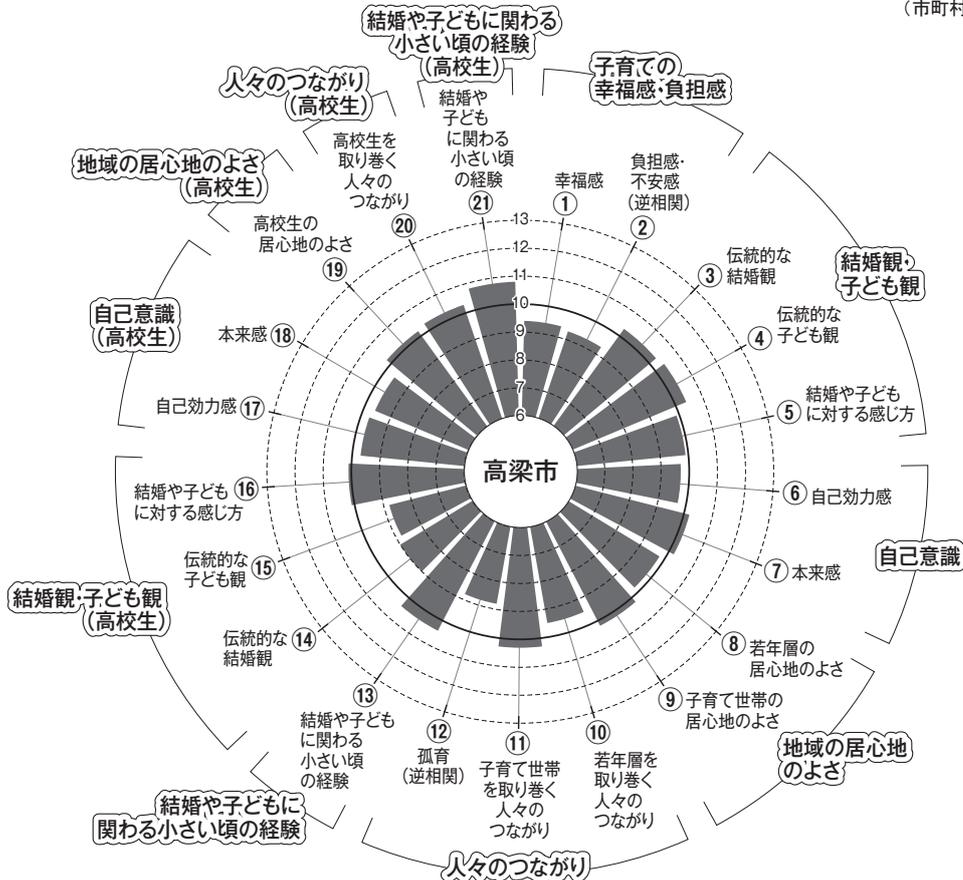
バーチャート1 (行動・環境等)

(市町村平均=10)



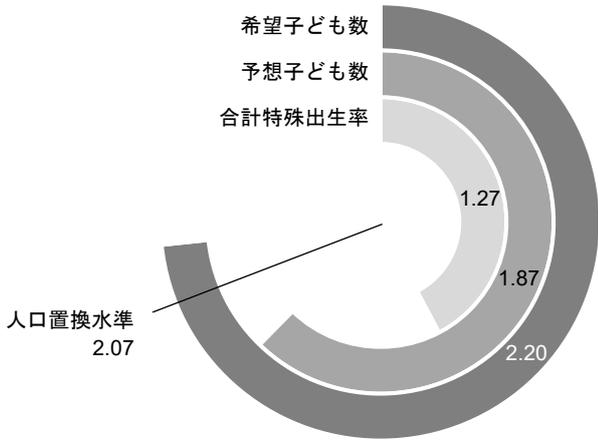
バーチャート2 (価値観・自己意識・社会関係資本等)

(市町村平均=10)



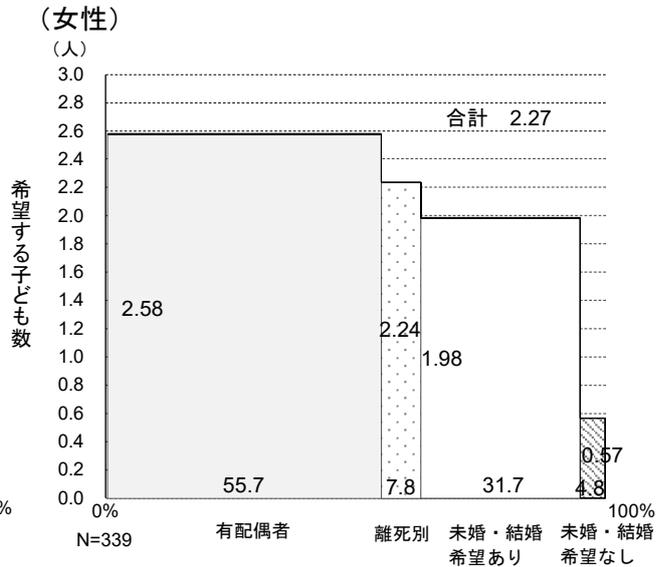
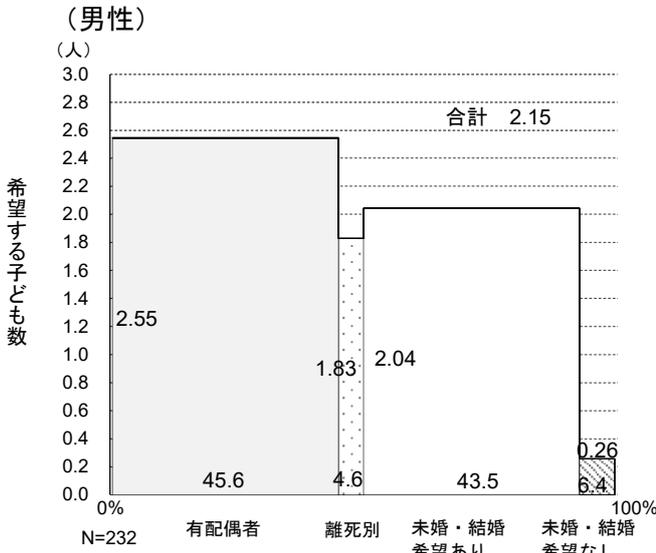
新見市

〈希望子ども数・予想子ども数と合計特殊出生率〉

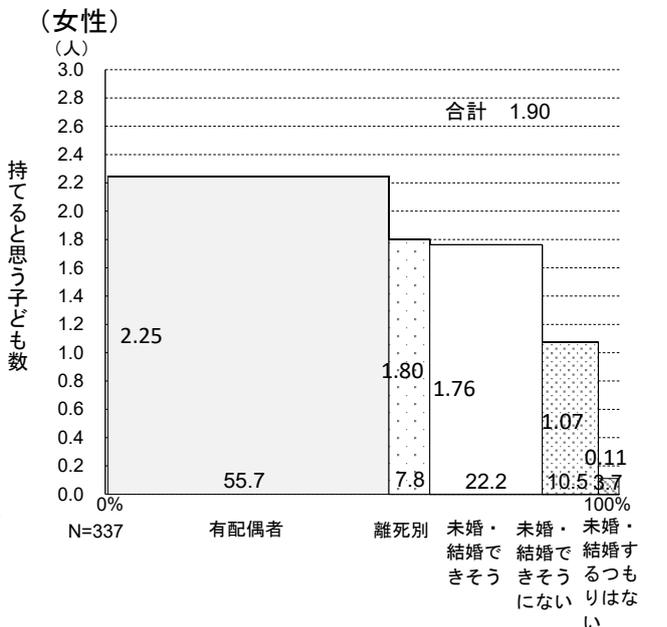
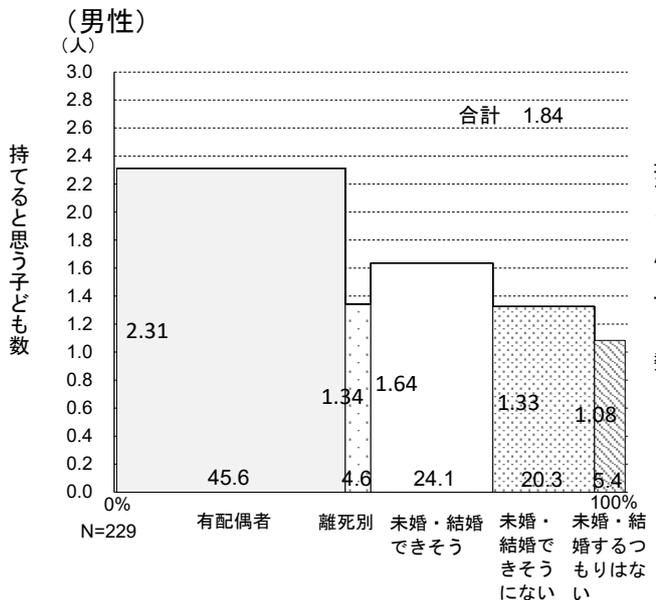


- ・ 新見市の希望子ども数は2.20であり、県全体(2.06)を上回るとともに、人口置換水準(2.07)を大きく上回る(+0.13)。県内の市町村の中で最も多い。
- ・ 予想子ども数も1.87(県全体1.74)と多いが、希望子ども数との差は0.33になる。
- ・ 女性の希望子ども数についてみると、「結婚希望あり」とする未婚者の割合はやや小さく、有配偶率も県全体を下回るが、両者の希望する子ども数の多さが希望子ども数に寄与している。
- ・ 女性の予想子ども数では、結婚希望の実現予想は県全体と大差はないものの、とりわけ有配偶者の持てると思う子ども数が多い。

〈希望子ども数〉

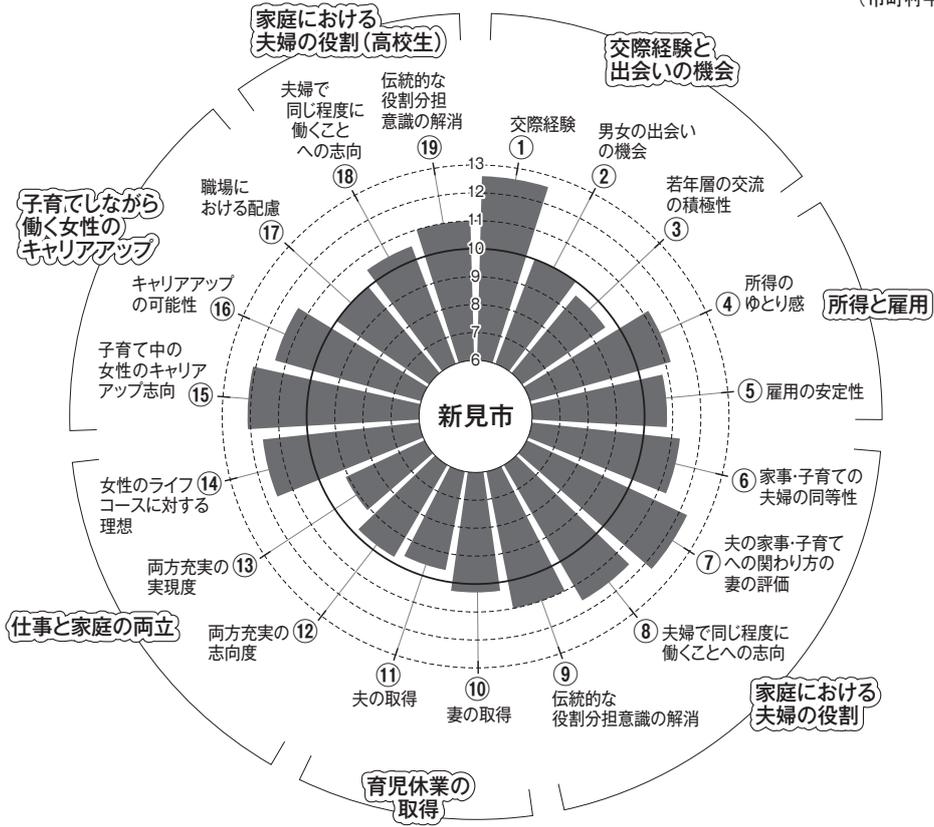


〈予想子ども数〉



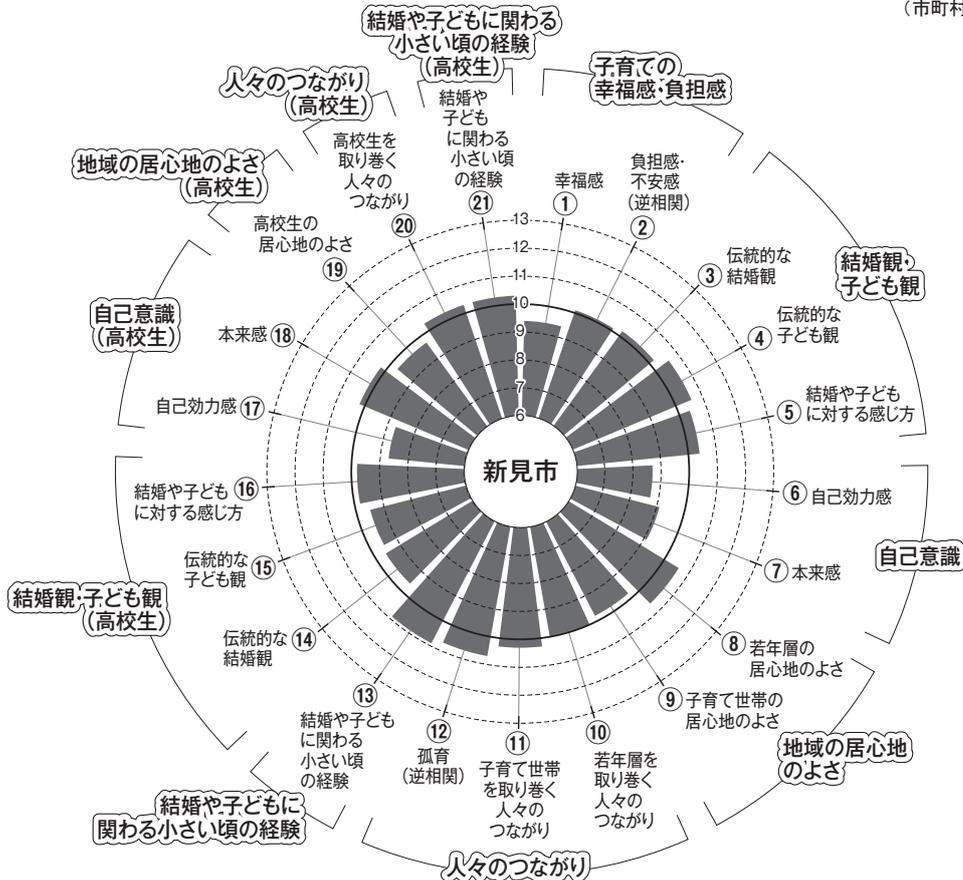
バーチャート1 (行動・環境等)

(市町村平均=10)



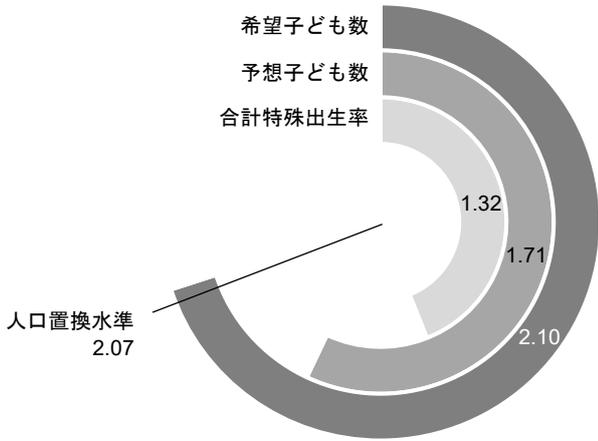
バーチャート2 (価値観・自己意識・社会関係資本等)

(市町村平均=10)



備前市

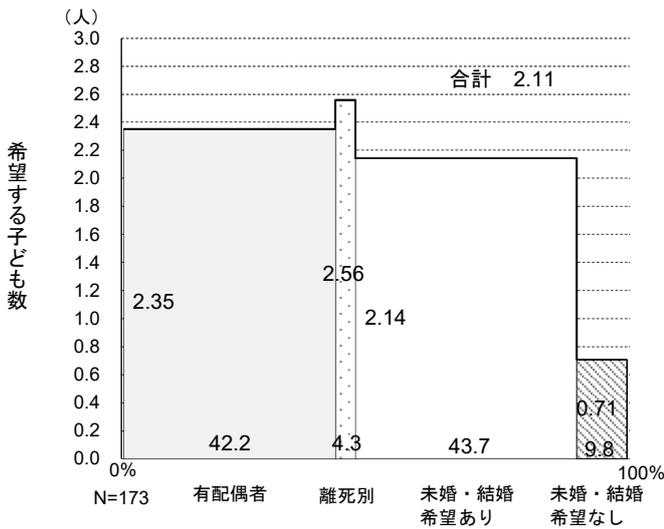
〈希望子ども数・予想子ども数と合計特殊出生率〉



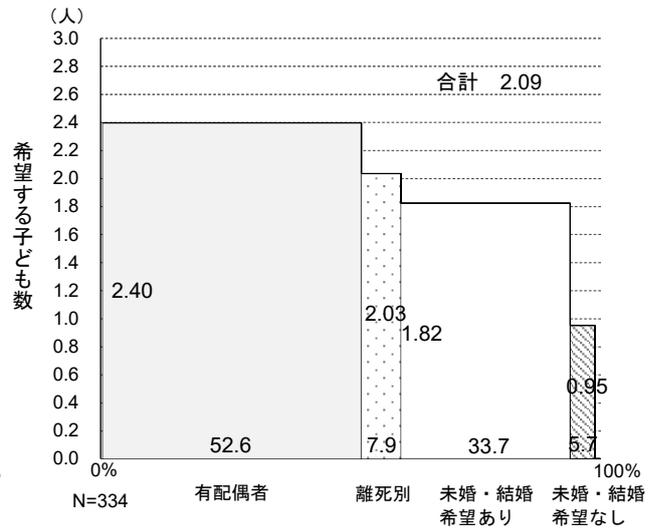
- ・ 備前市の希望子ども数は2.10であり、県全体（2.06）を上回るとともに、人口置換水準（2.07）に達する。
- ・ 逆に、予想子ども数は1.71（県全体1.74）と県全体を下回り、希望子ども数との差は0.39に達し、県内の市町村で最も差が大きい。
- ・ 女性の希望子ども数をみると、県全体と希望する子ども数が大きく変わらず、有配偶率は低い。その中で、「結婚希望あり」とする未婚者の割合がやや大きいことが、希望子ども数に寄与している。
- ・ 女性の予想子ども数については、有配偶率が低いこともあるが、県全体に比べて「結婚できそうにない」とする未婚者の割合が大きいことが響いている。

〈希望子ども数〉

（男性）

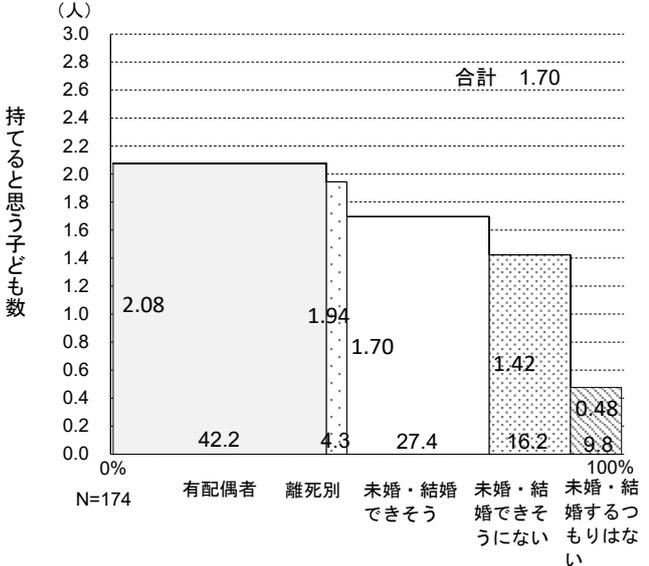


（女性）

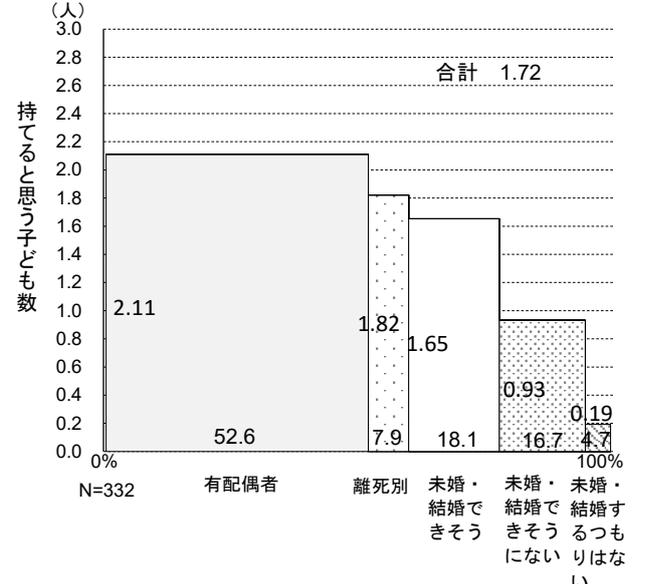


〈予想子ども数〉

（男性）

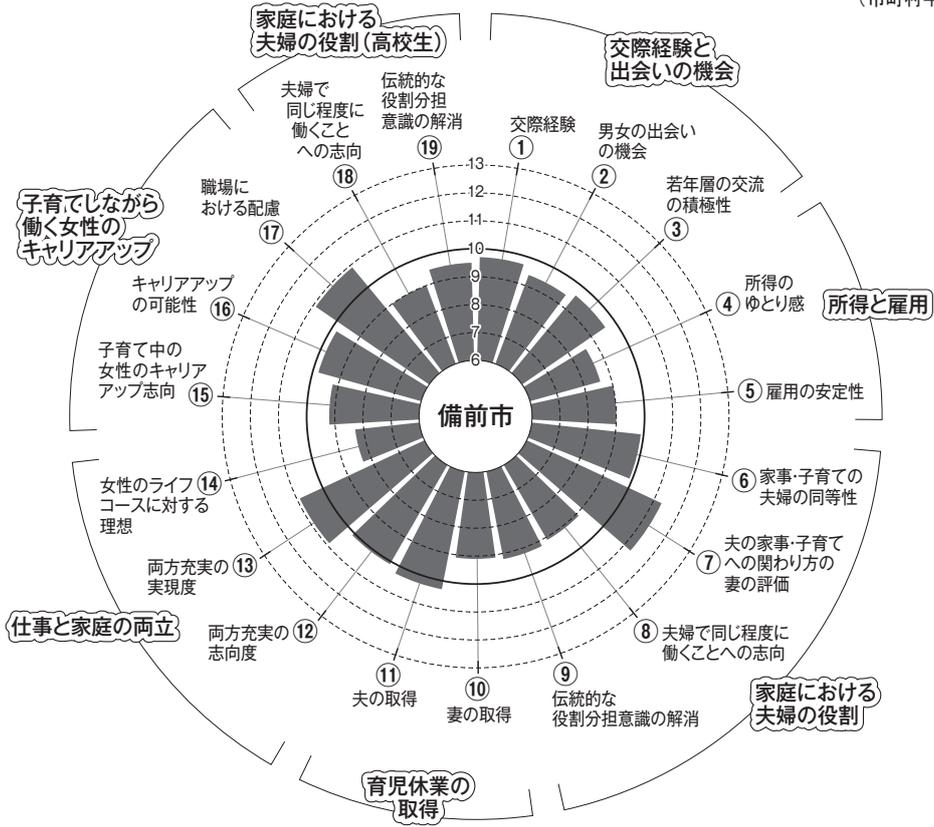


（女性）



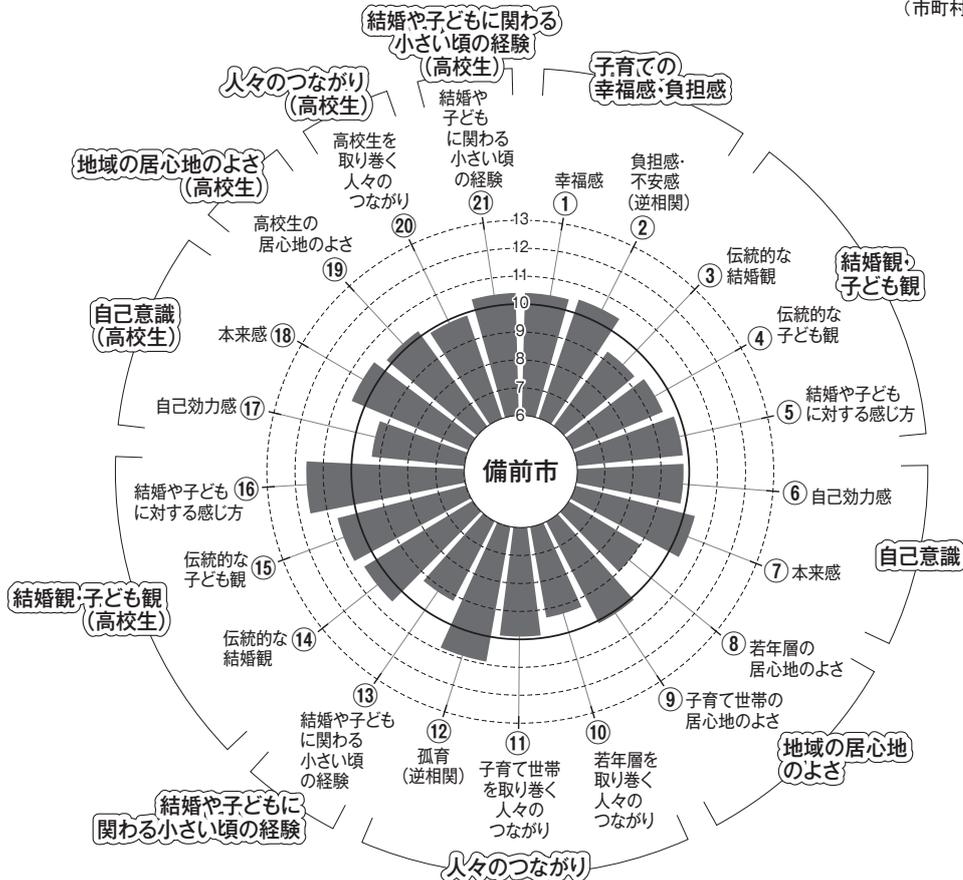
バーチャート1 (行動・環境等)

(市町村平均=10)



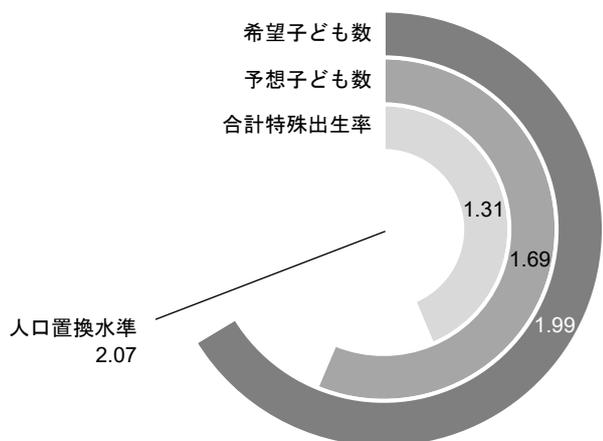
バーチャート2 (価値観・自己意識・社会関係資本等)

(市町村平均=10)



瀬戸内市

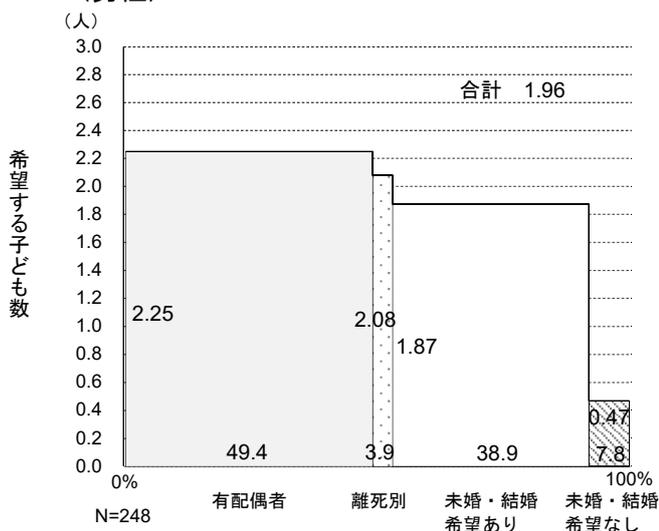
〈希望子ども数・予想子ども数と合計特殊出生率〉



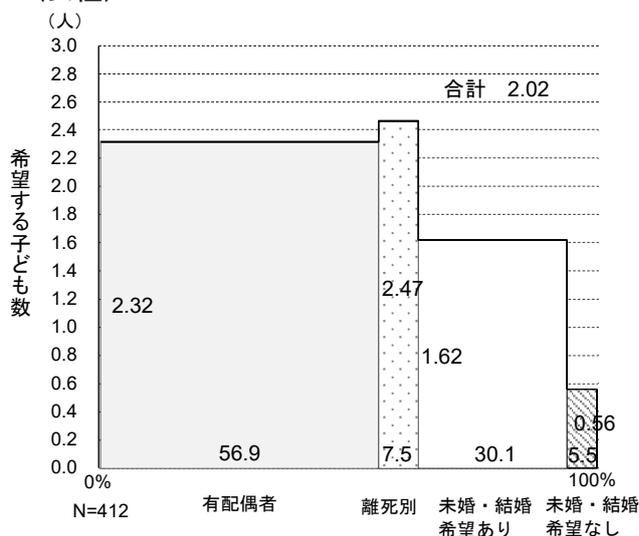
- ・ 瀬戸内市の希望子ども数は1.99であり、県全体(2.06)を下回るとともに、人口置換水準を0.08下回る。
- ・ 予想子ども数は1.69(県全体1.74)であり、希望子ども数との差は0.30である。
- ・ 女性の希望子ども数をみると、県に比べ有配偶率は変わらないものの、「結婚希望あり」とする未婚者の割合が小さい。また、その希望する子ども数が少ないことも響いている。
- ・ 女性の予想子ども数でも、有配偶率が県全体と同水準である中で、「結婚できそうにない」とする未婚者の割合が大きい。また、「結婚できそう」とする未婚者の持てると思う子ども数が県全体をやや下回る。

〈希望子ども数〉

(男性)

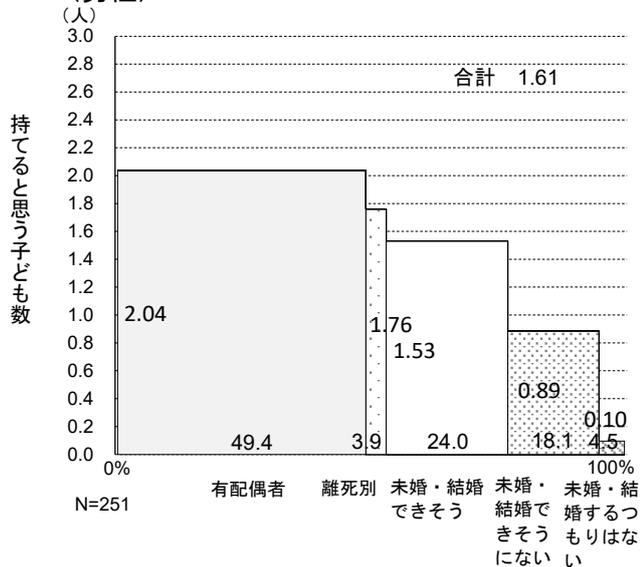


(女性)

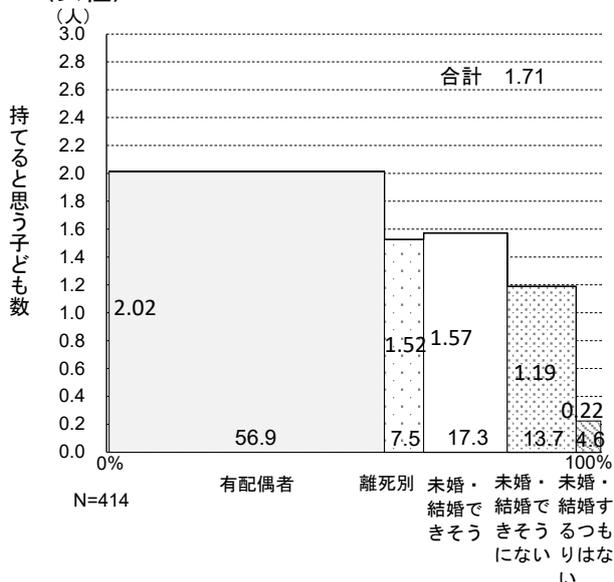


〈予想子ども数〉

(男性)

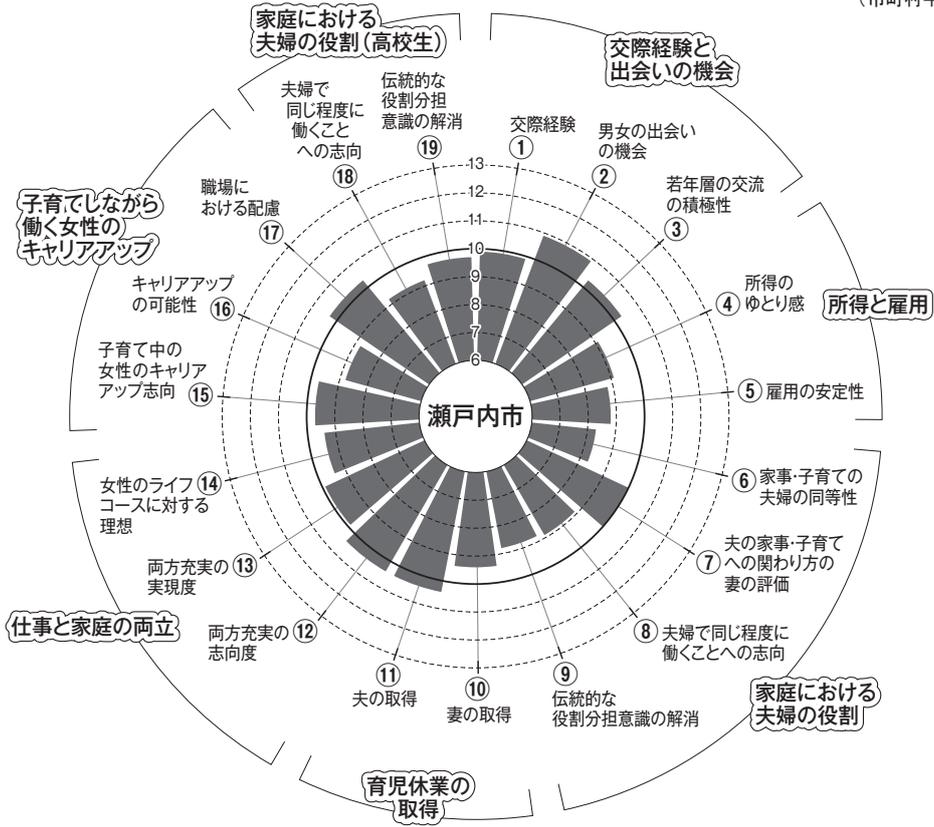


(女性)



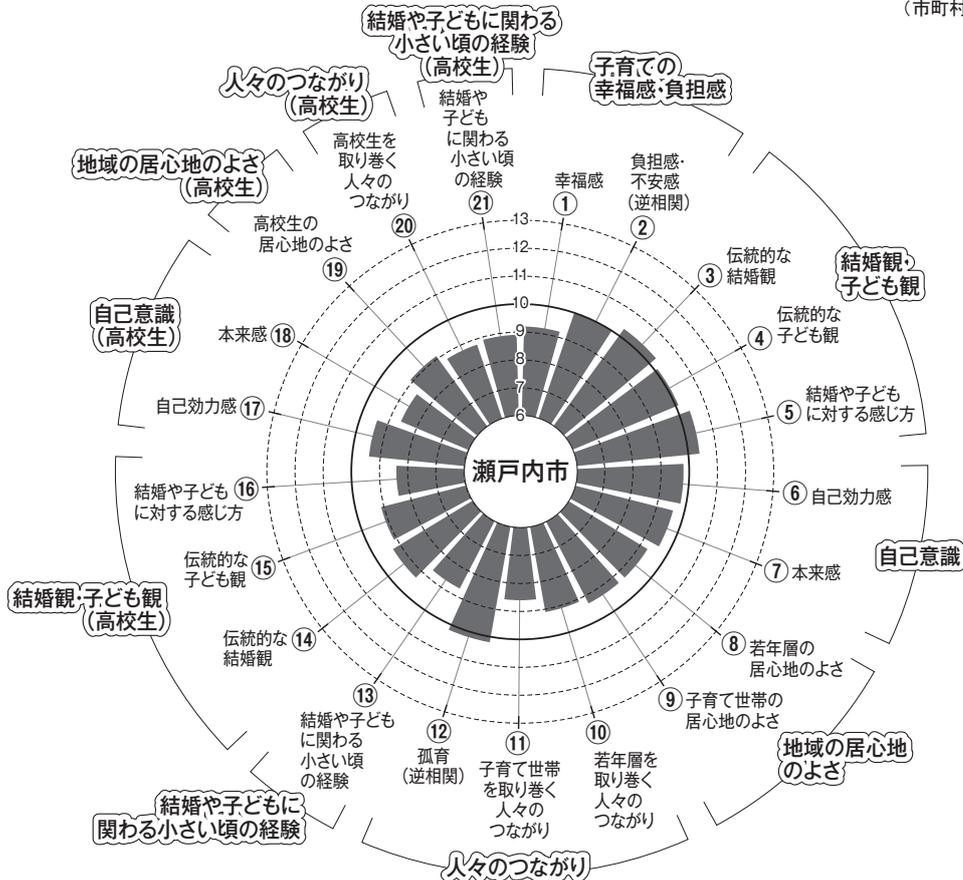
パーチャート1 (行動・環境等)

(市町村平均=10)



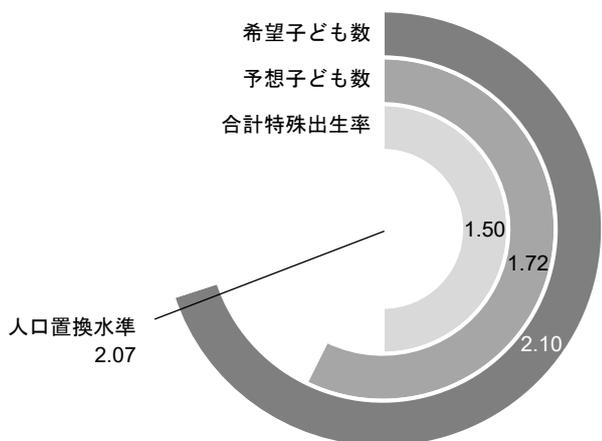
パーチャート2 (価値観・自己意識・社会関係資本等)

(市町村平均=10)



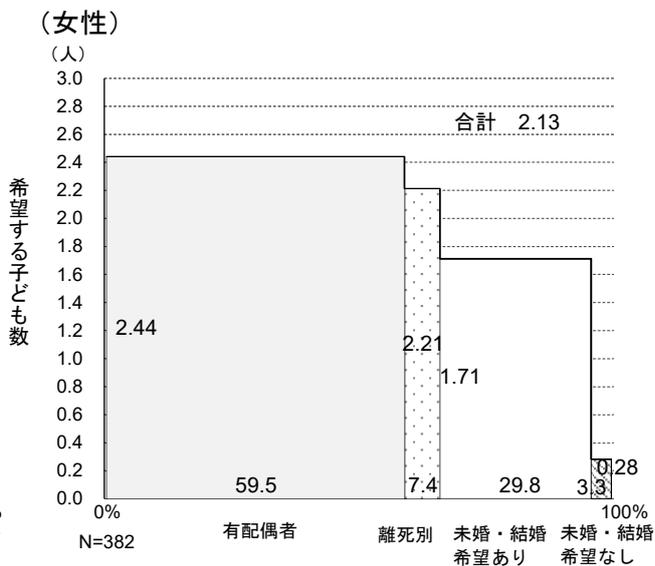
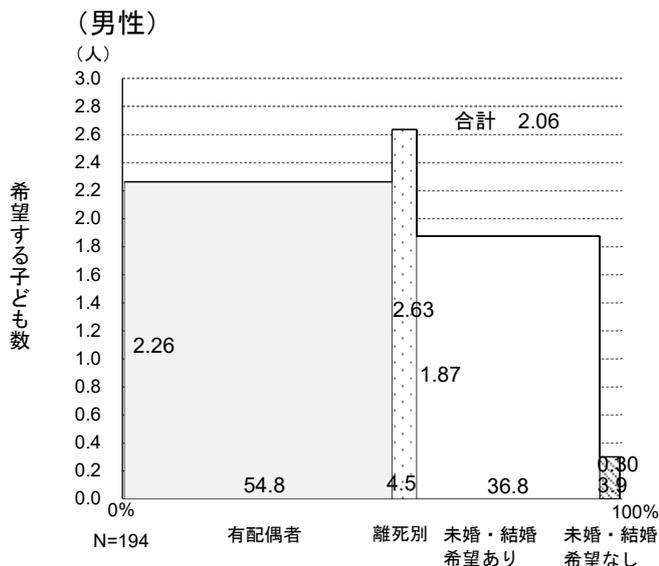
赤磐市

〈希望子ども数・予想子ども数と合計特殊出生率〉

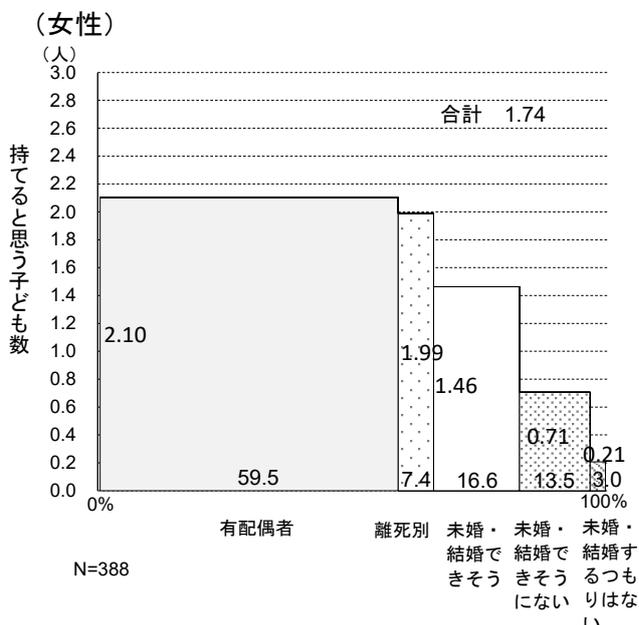
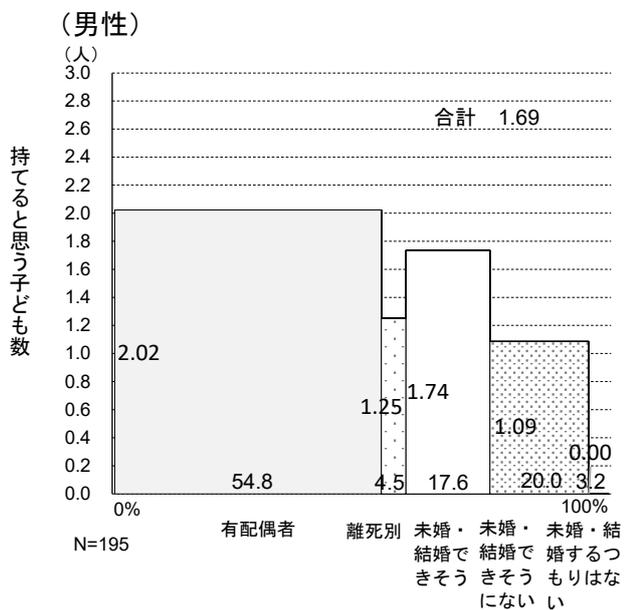


- 赤磐市の希望子ども数は2.10であり、県全体(2.06)を上回るとともに、人口置換水準(2.07)に達する。
- 予想子ども数は1.72(県全体1.74)と県全体をやや下回るため、希望子ども数との差は0.38と大きい。
- 女性の希望子ども数をみると、有配偶率が高いこともあり、「結婚希望あり」とする未婚者の割合が小さく、その希望する子ども数が県全体を下回る。割合が大きい有配偶者の希望する子ども数が多いことが寄与している。
- 女性の予想子ども数が少ないのは、「結婚できそう」とする未婚者の割合が小さく、その持てると思う子ども数も少ない影響が大きい。

〈希望子ども数〉

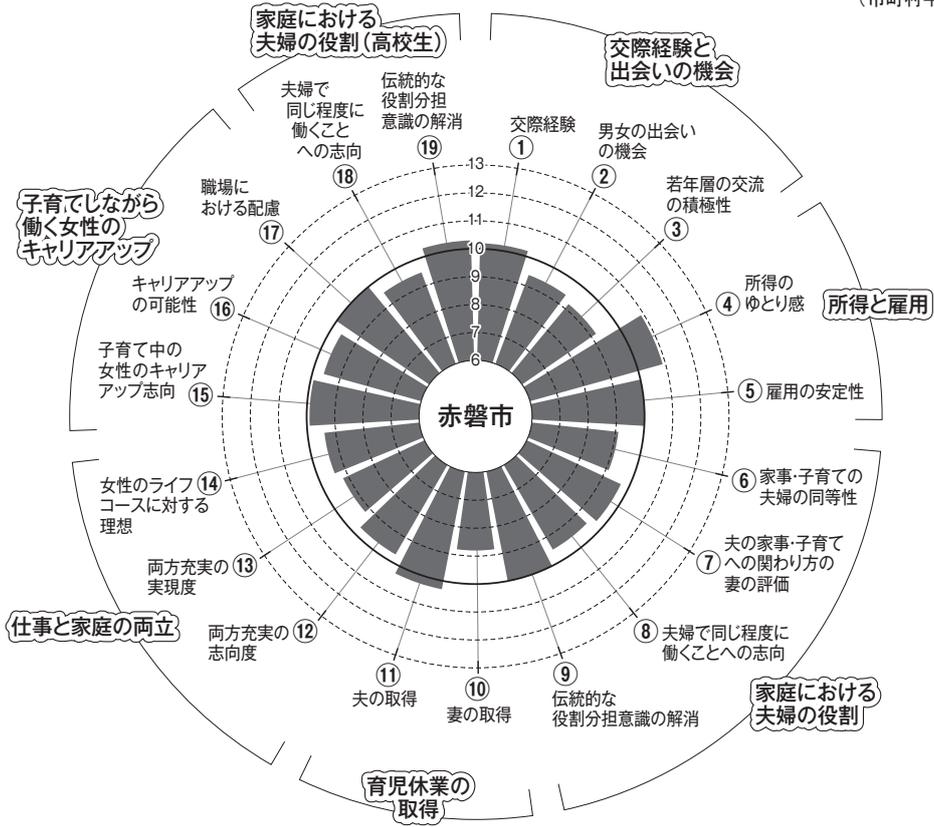


〈予想子ども数〉



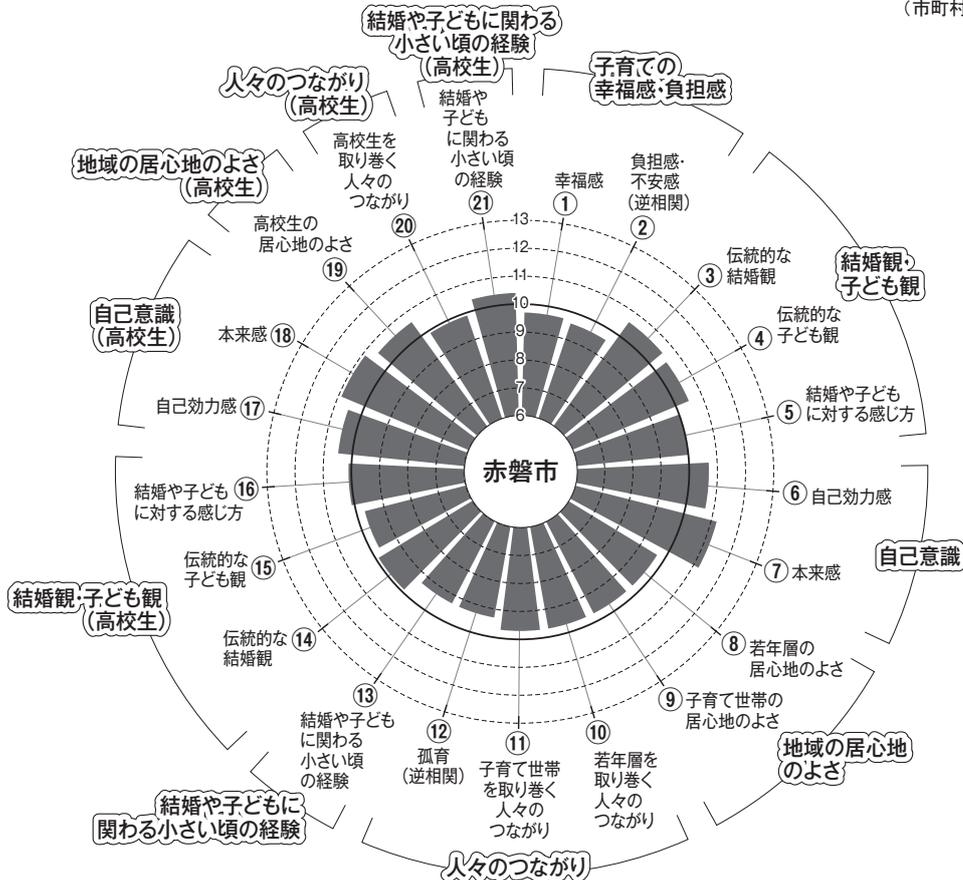
バーチャート1 (行動・環境等)

(市町村平均=10)



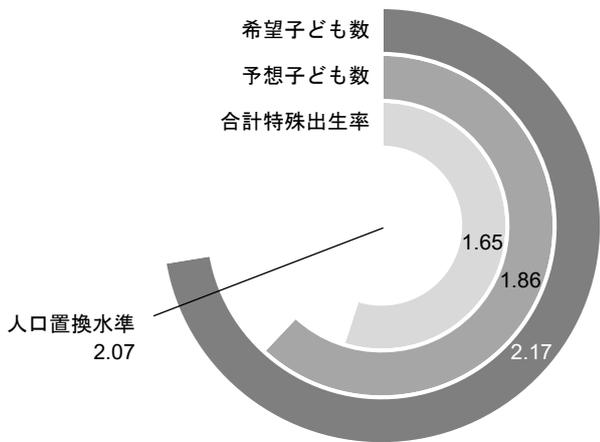
バーチャート2 (価値観・自己意識・社会関係資本等)

(市町村平均=10)



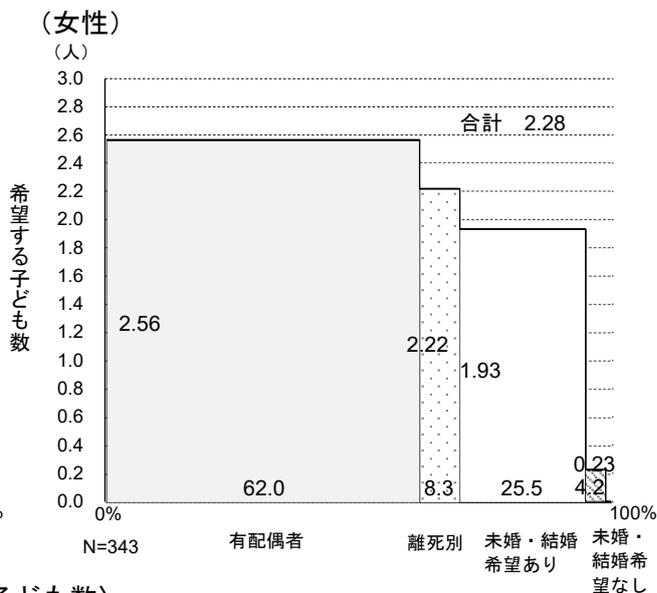
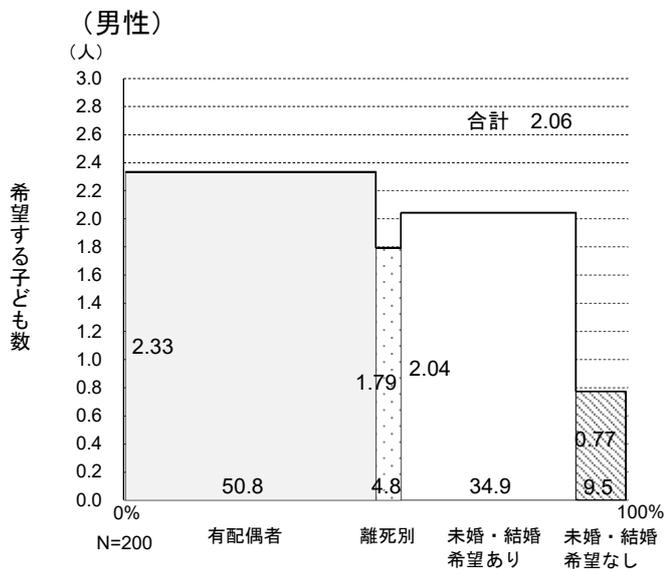
真庭市

〈希望子ども数・予想子ども数と合計特殊出生率〉

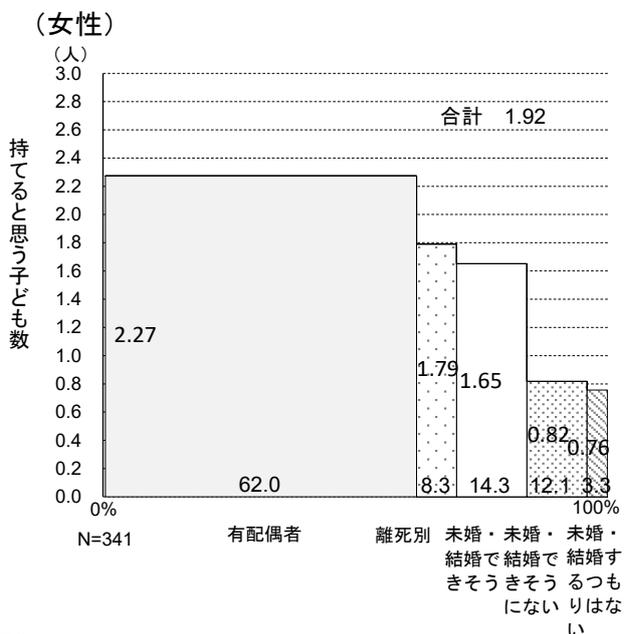
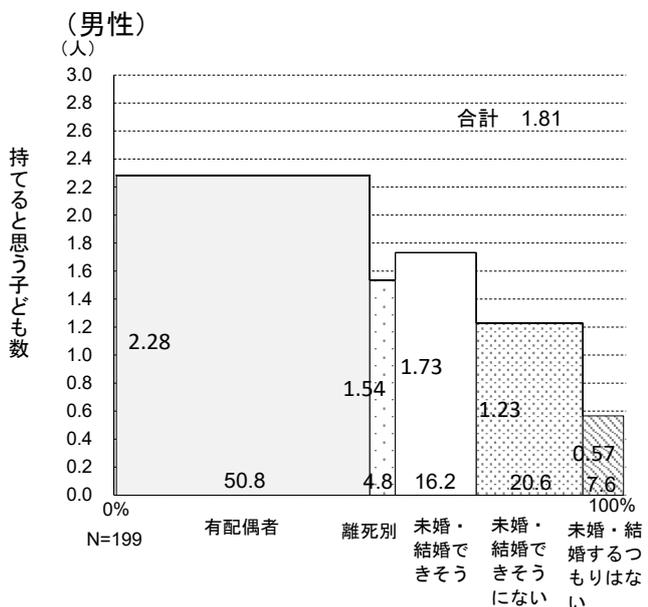


- ・ 真庭市の希望子ども数は 2.17 であり、県全体 (2.06) を上回るとともに、人口置換水準 (2.07) を大きく上回る (+0.10)。
- ・ 予想子ども数は 1.86 (県全体 1.74) であり、希望子ども数との差は 0.31 である。
- ・ 女性の希望子ども数をみると、有配偶率が高く、その希望する子ども数が県全体を大きく上回る。その影響で「結婚希望あり」とする未婚者の割合が小さいが、その希望する子ども数が 1.93 に上ることは注目される。
- ・ 女性の予想子ども数では、有配偶率が高いにも関わらず「結婚できそうにない」とする未婚者の割合が県全体と大差がない。割合が大きい有配偶者の持てると思う子ども数の多さが下支えしている。

〈希望子ども数〉

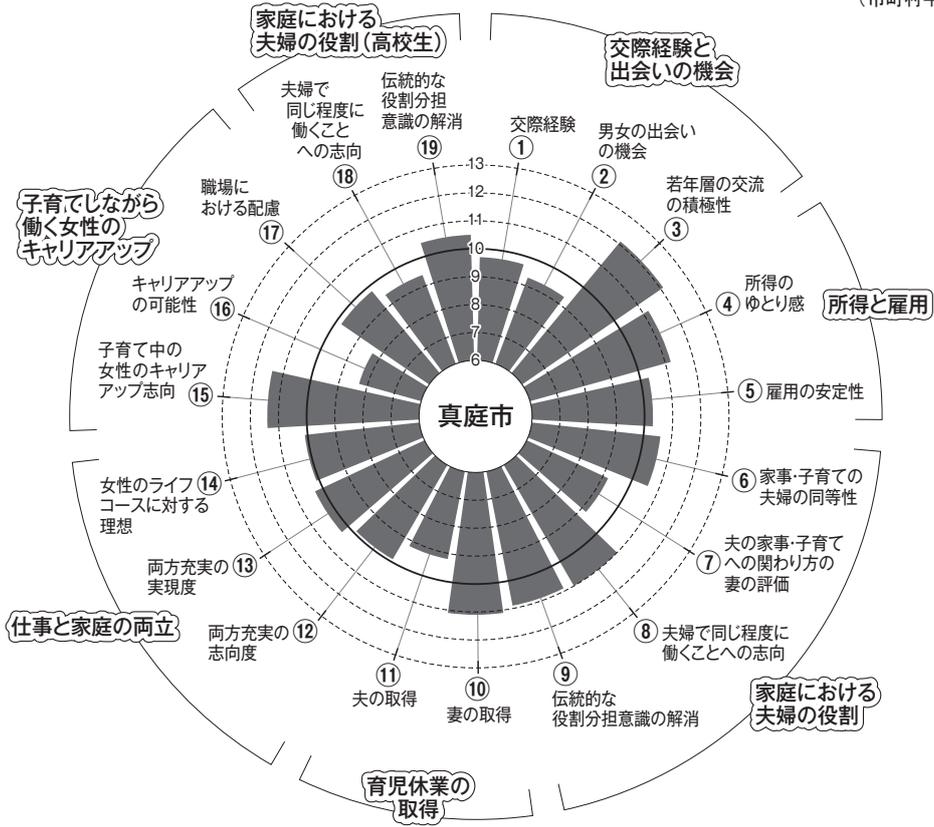


〈予想子ども数〉



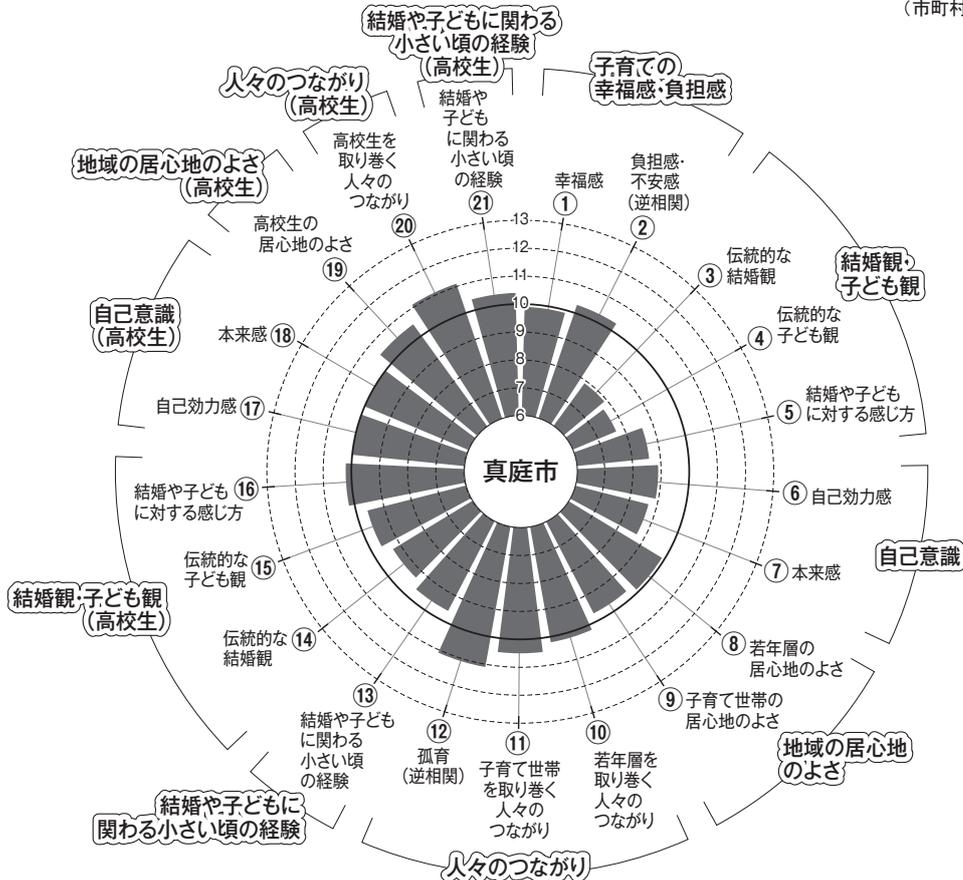
バーチャート1 (行動・環境等)

(市町村平均=10)



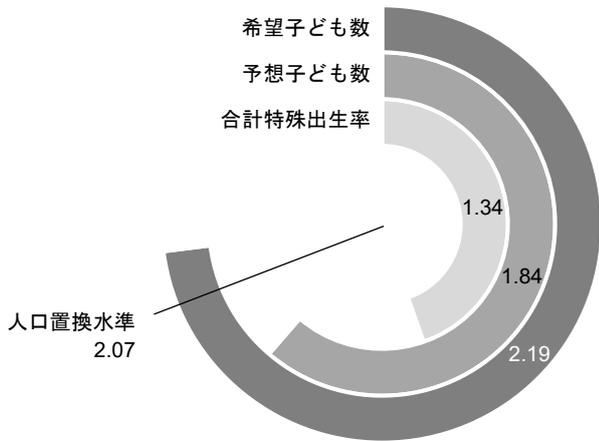
バーチャート2 (価値観・自己意識・社会関係資本等)

(市町村平均=10)



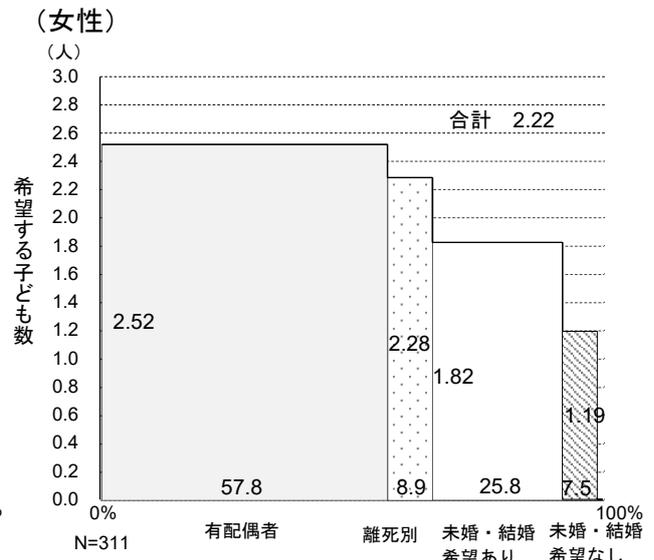
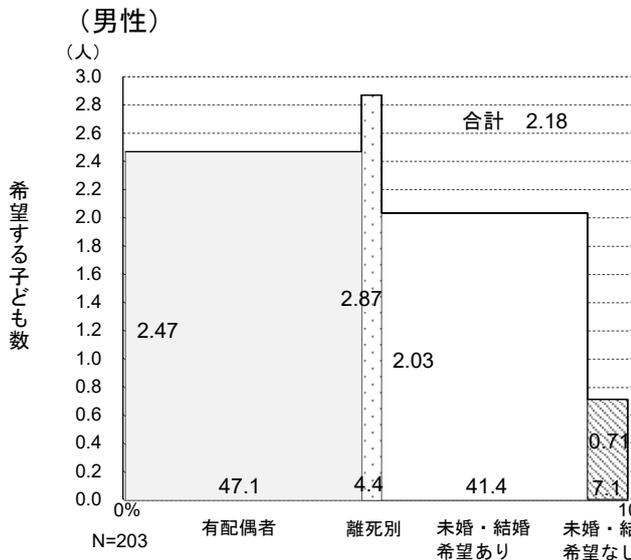
美作市

〈希望子ども数・予想子ども数と合計特殊出生率〉

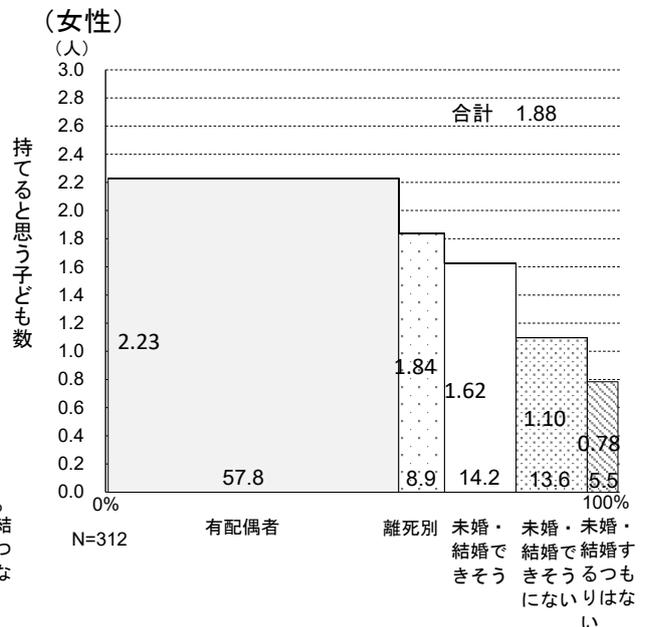
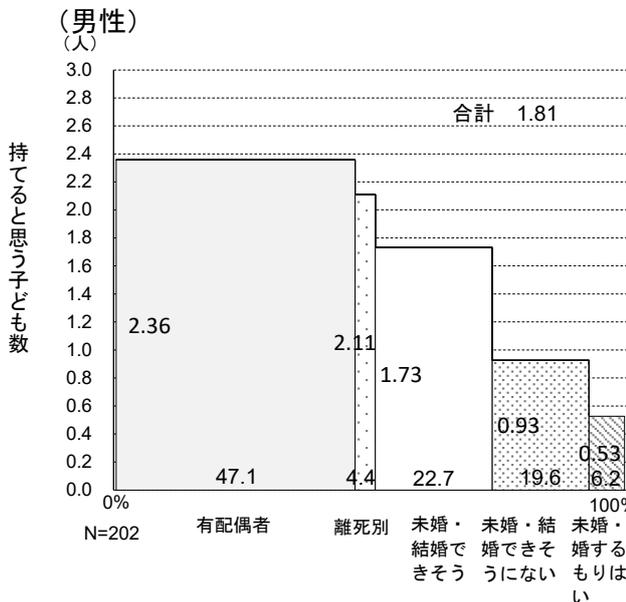


- ・ 美作市の希望子ども数は 2.19 であり、県全体 (2.06) を上回るとともに、人口置換水準 (2.07) を大きく上回る (+0.12)。
- ・ 予想子ども数は 1.84 (県全体 1.74) であり、県全体を上回るものの、希望子ども数との差は 0.35 と大きい。
- ・ 女性の希望子ども数についてみると、県全体に比べ、「結婚希望あり」とする未婚者の割合がかなり小さい。その差を埋めているのは、有配偶者の希望する子ども数の多さである。
- ・ 女性の予想子ども数は、有配偶率は県全体と大差ないが、「結婚できそう」とする未婚者の割合が小さい。この差をカバーしているのは、有配偶者の持てると思う子ども数の多さである。

〈希望子ども数〉

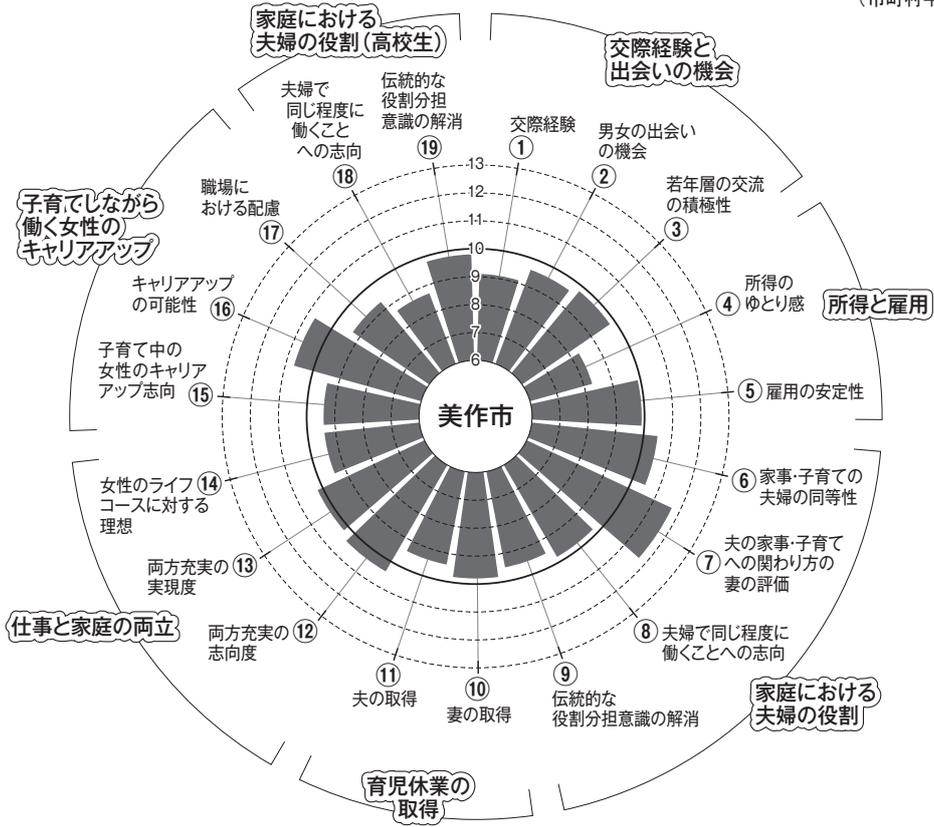


〈予想子ども数〉



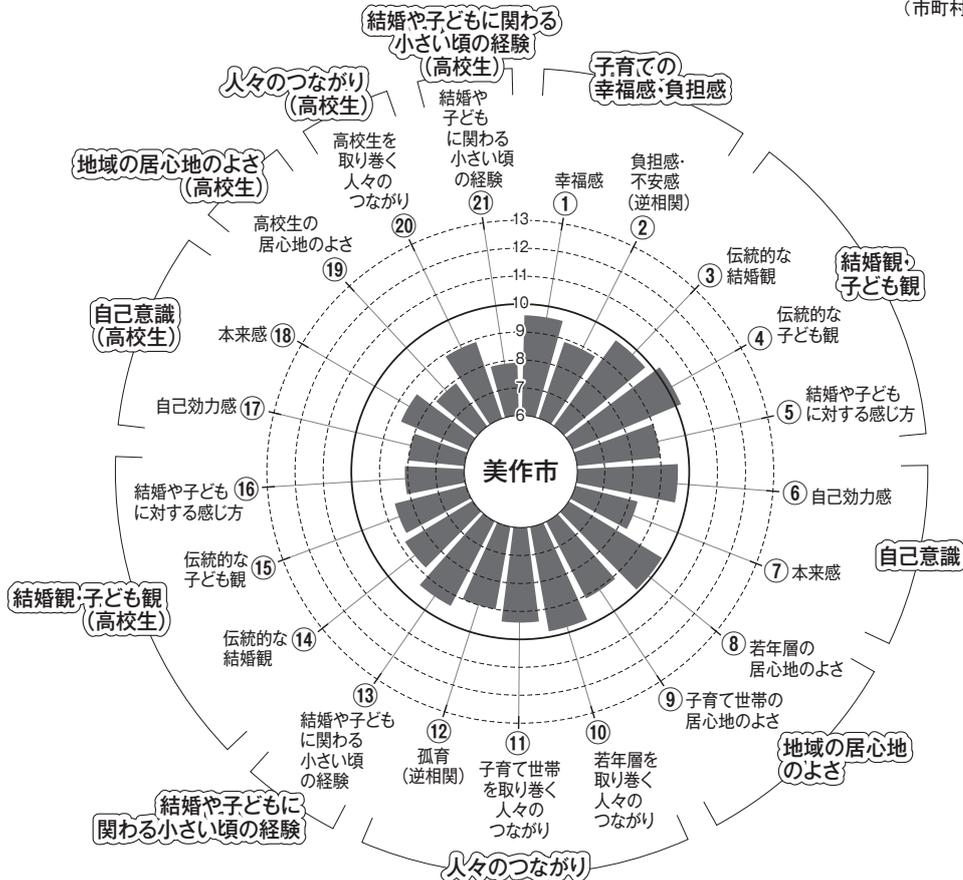
バーチャート1 (行動・環境等)

(市町村平均=10)



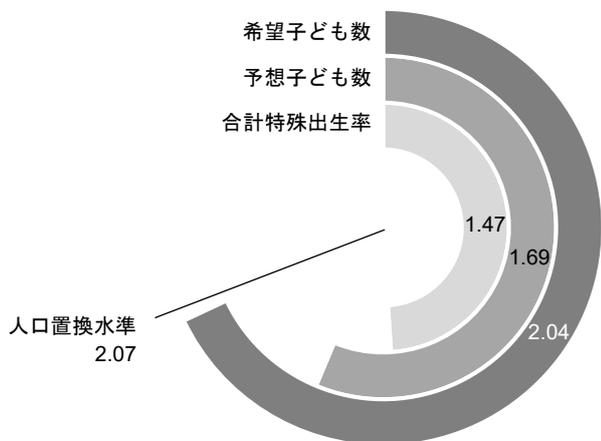
バーチャート2 (価値観・自己意識・社会関係資本等)

(市町村平均=10)



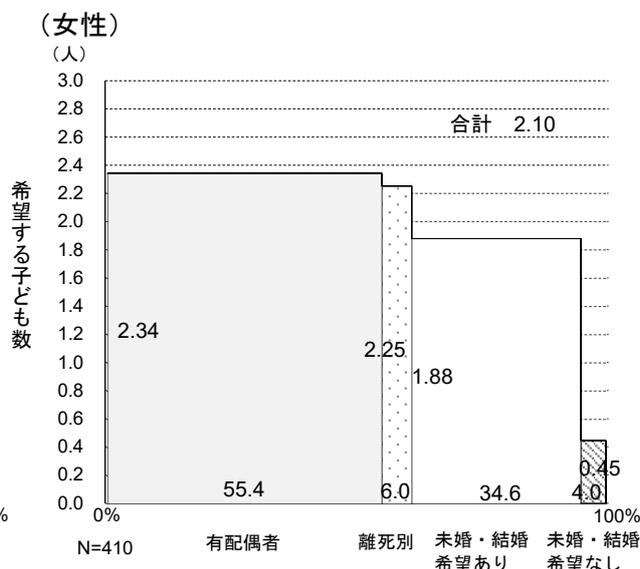
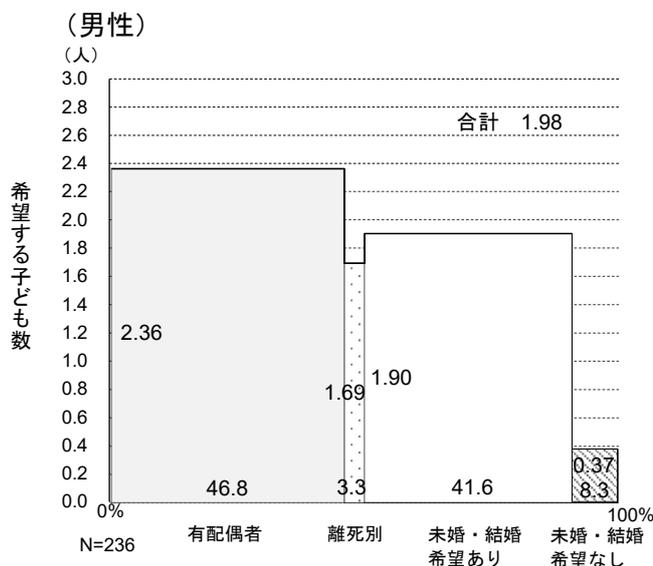
浅口市

〈希望子ども数・予想子ども数と合計特殊出生率〉

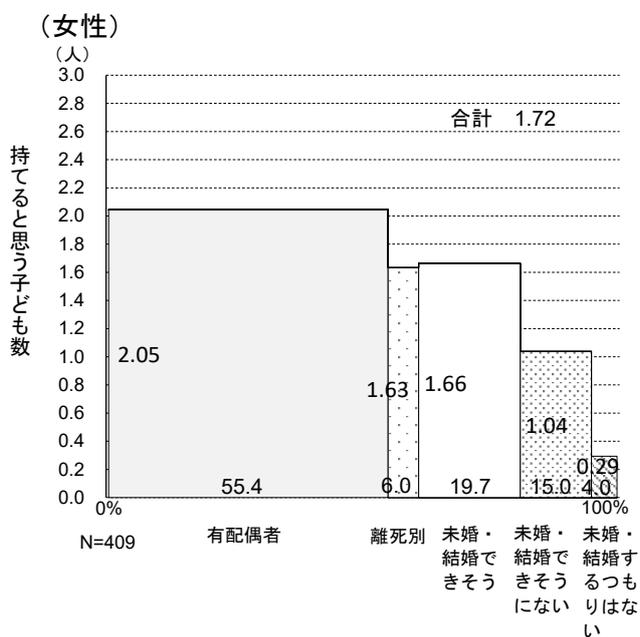
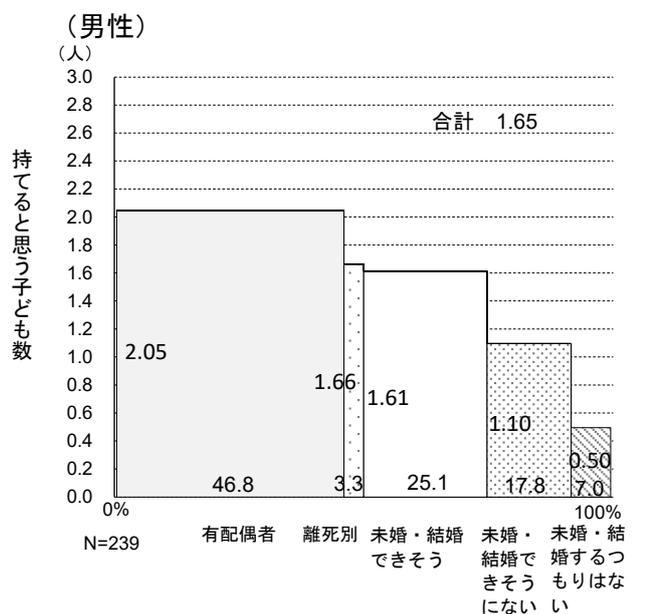


- ・ 浅口市の希望子ども数は 2.04 であり、県全体 (2.06) をやや下回り、人口置換水準との差は 0.03 である。
- ・ 予想子ども数は 1.69 (県全体 1.74) であり、県全体を下回るとともに、希望子ども数との差も 0.35 と大きい。
- ・ 女性の希望子ども数を見ると、県全体に比べ有配偶率がやや低く、「結婚希望あり」とする未婚者の割合がやや大きい。希望する子ども数に大差はなく、全体的に県全体と似た構造である。
- ・ 女性の予想子ども数では、有配偶者等の持てると思う子ども数の県全体との差は小さいが、「結婚できそうにない」とする未婚者の割合が大きいことが響いている。

〈希望子ども数〉

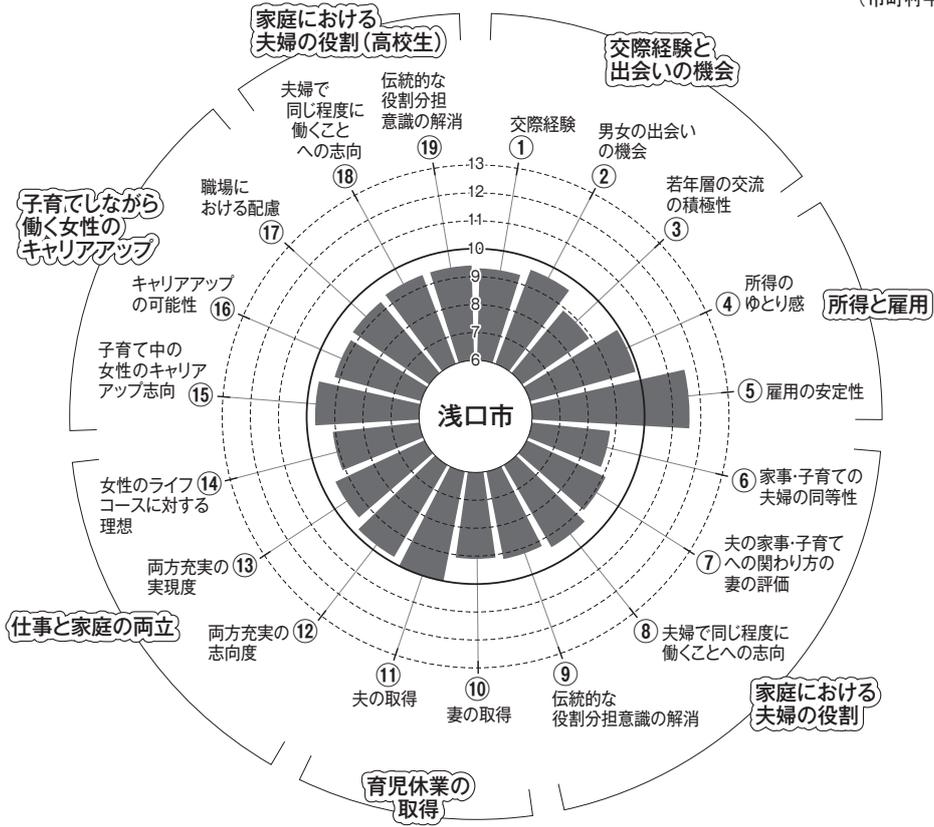


〈予想子ども数〉



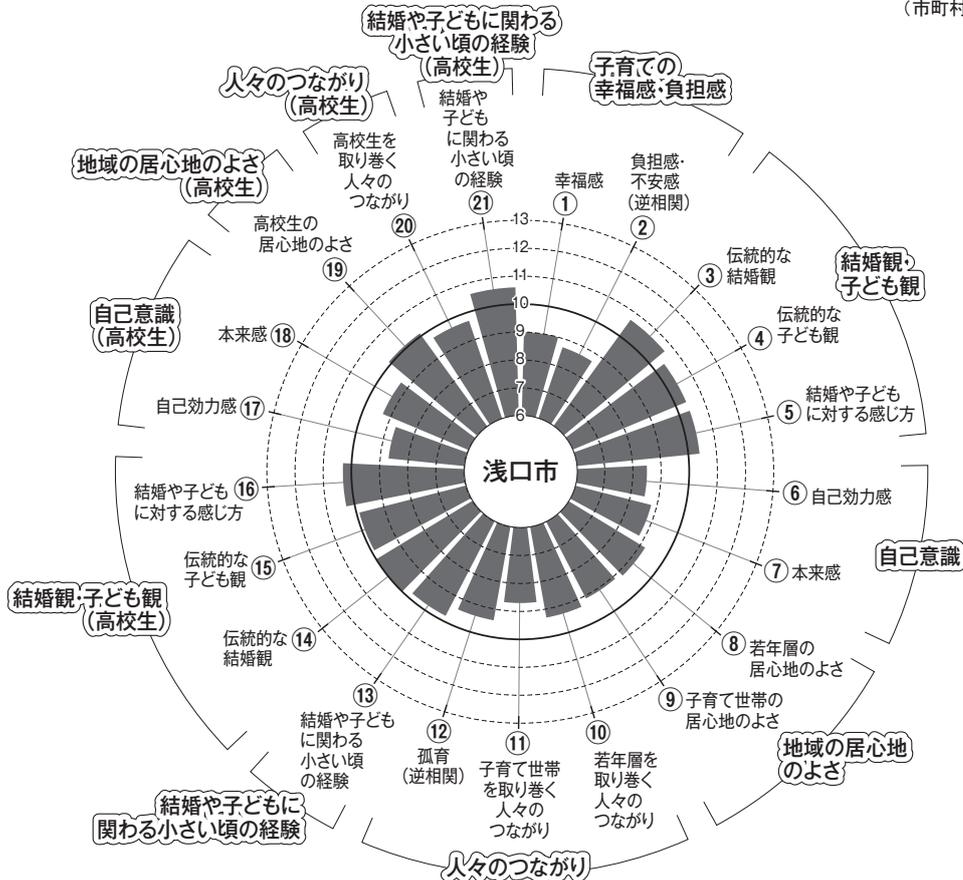
バーチャート1 (行動・環境等)

(市町村平均=10)



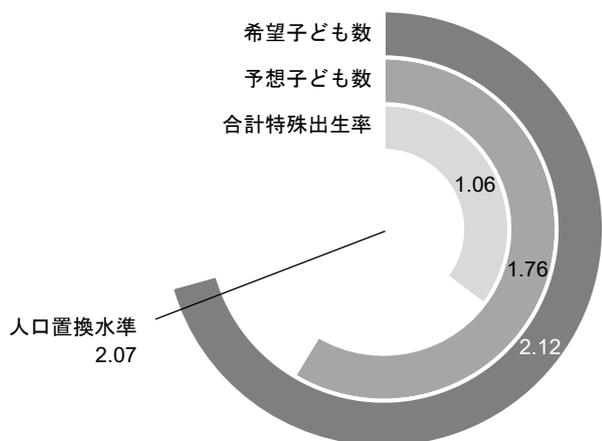
バーチャート2 (価値観・自己意識・社会関係資本等)

(市町村平均=10)



和気町

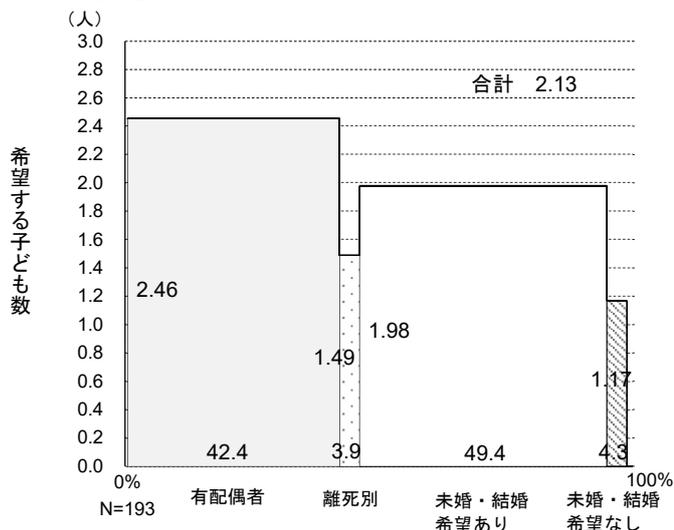
〈希望子ども数・予想子ども数と合計特殊出生率〉



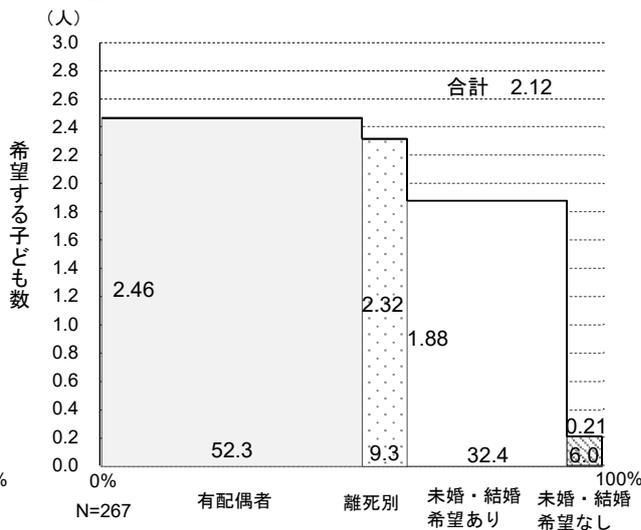
- ・ 和気町の希望子ども数は2.12であり、県全体(2.06)を上回るとともに、人口置換水準(2.07)に達する。
- ・ 予想子ども数は1.76(県全体1.74)であり、県全体とほぼ同水準であるが、希望子ども数との差は0.36に達する。
- ・ 女性の希望子ども数をみると、県全体に比べ有配偶率が低く、離死別による独身者や「結婚希望なし」とする未婚者の割合が大きい。有配偶者の希望する子ども数がプラスに寄与している。
- ・ 女性の予想子ども数は、有配偶率が低いことに加え、「結婚できそうにない」とする未婚者も多い。希望子ども数と同様、有配偶者の持てると思う子ども数の寄与が下支えしている。

〈希望子ども数〉

(男性)

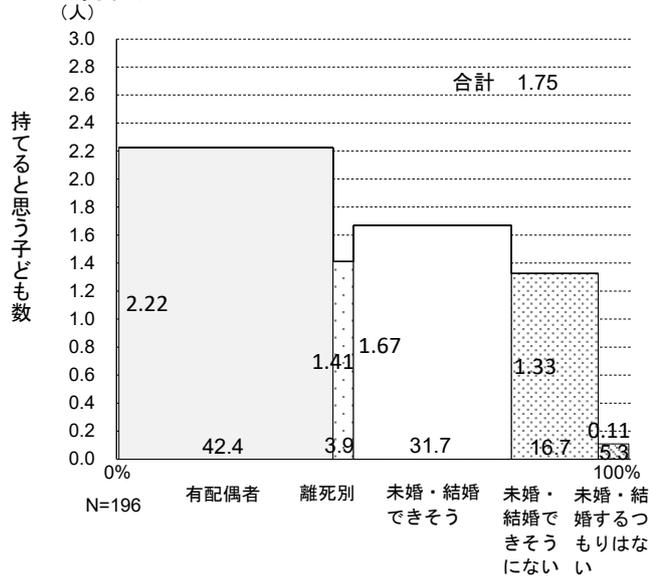


(女性)

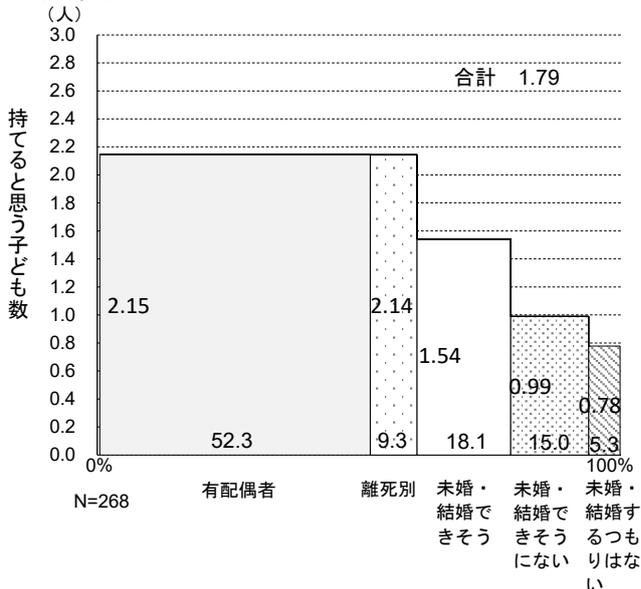


〈予想子ども数〉

(男性)

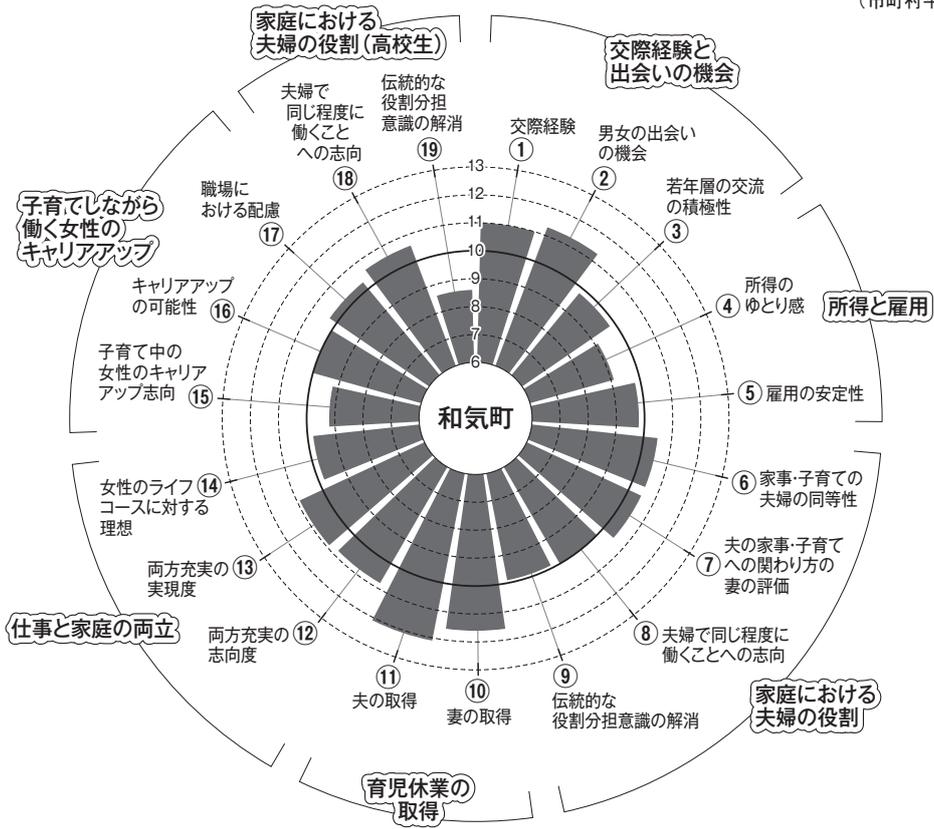


(女性)



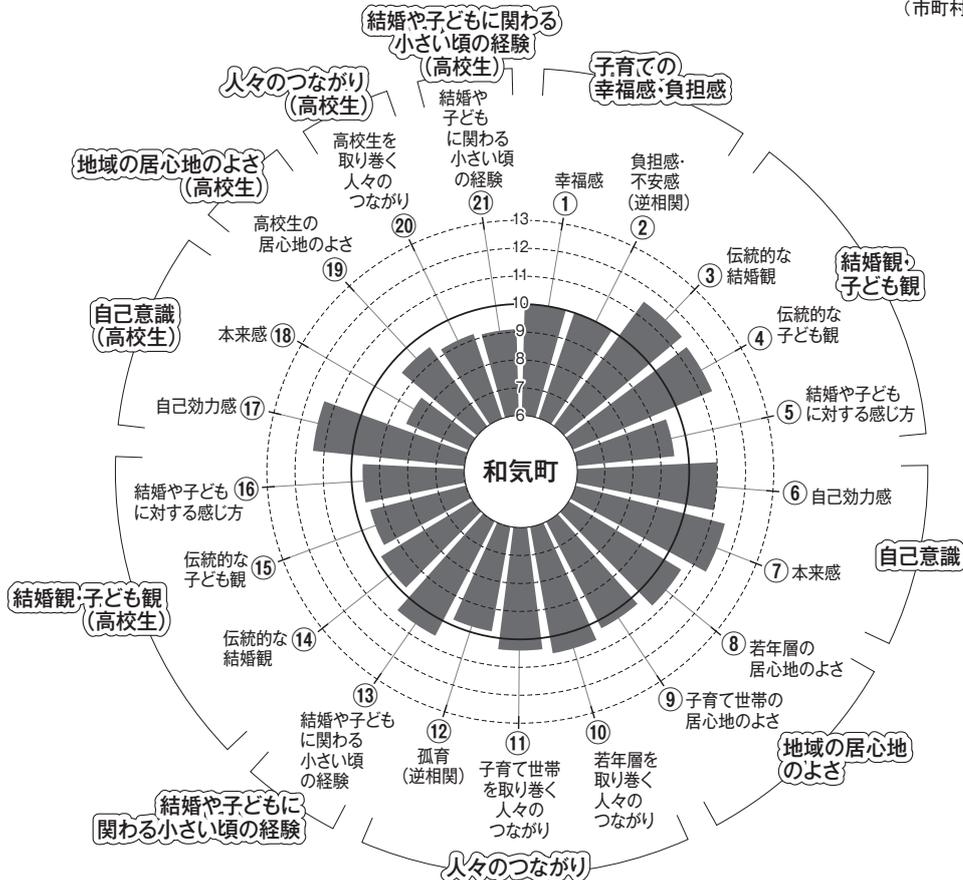
バーチャート1 (行動・環境等)

(市町村平均=10)



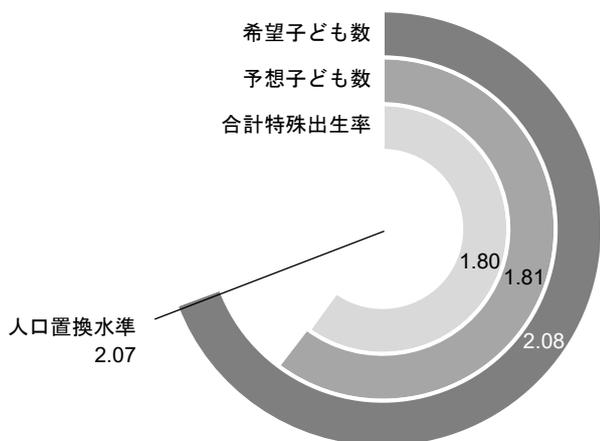
バーチャート2 (価値観・自己意識・社会関係資本等)

(市町村平均=10)



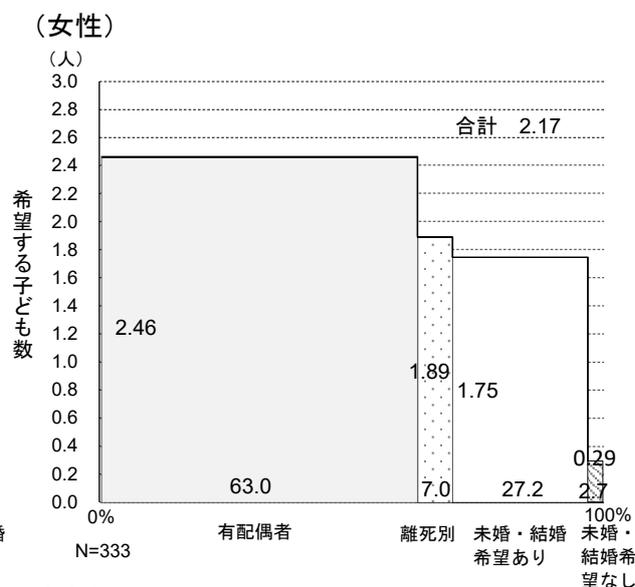
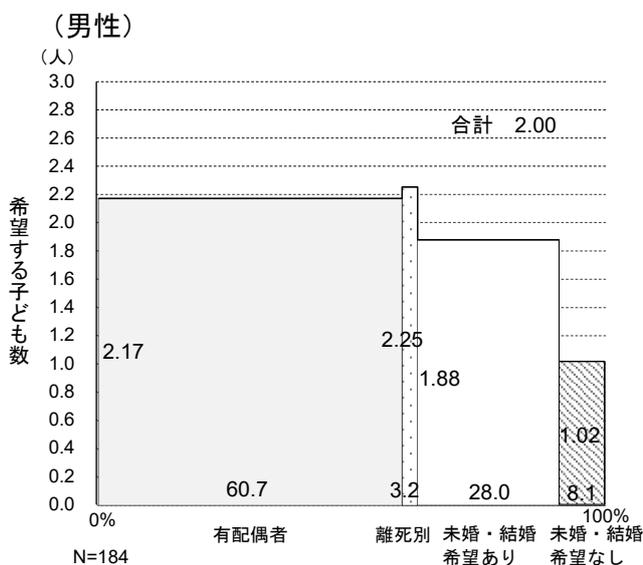
早島町

〈希望子ども数・予想子ども数と合計特殊出生率〉

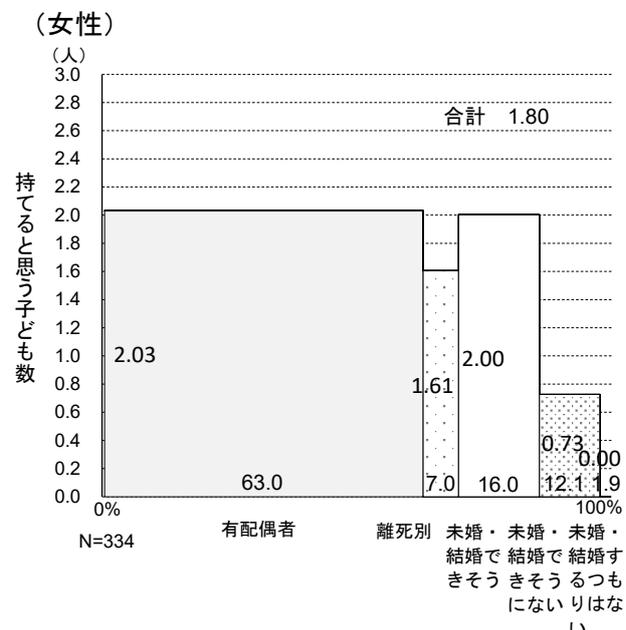
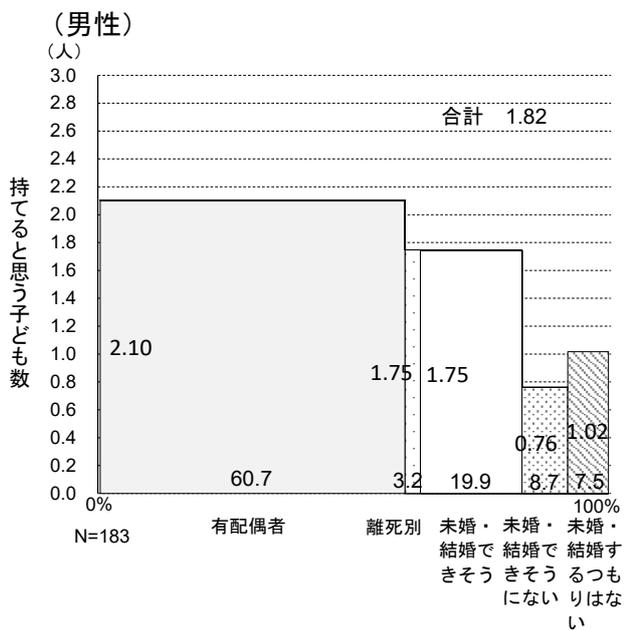


- ・ 早島町の希望子ども数は 2.08 であり、県全体 (2.06) をやや上回るとともに、人口置換水準 (2.07) に達する。
- ・ 予想子ども数は 1.81 (県全体 1.74) と県全体を上回っており、希望子ども数との差は 0.27 と小さい。
- ・ 女性の希望子ども数をみると、有配偶率が県全体を大きく上回り、その希望する子ども数も多い。その結果、「結婚希望あり」とする未婚者の割合が小さい。また、その希望する子ども数はやや少ない。
- ・ 女性の予想子ども数は、持てると思う子ども数が、有配偶者では県全体とほぼ同じであるが、「結婚できそう」とする未婚者では 2.0 と多い。

〈希望子ども数〉

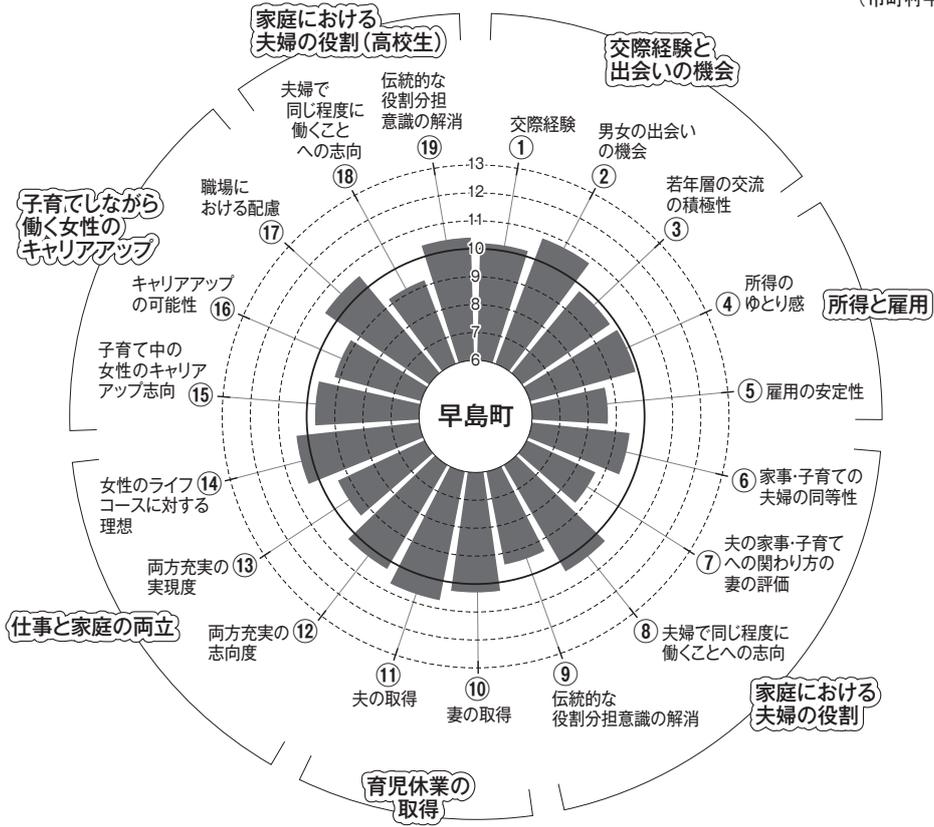


〈予想子ども数〉



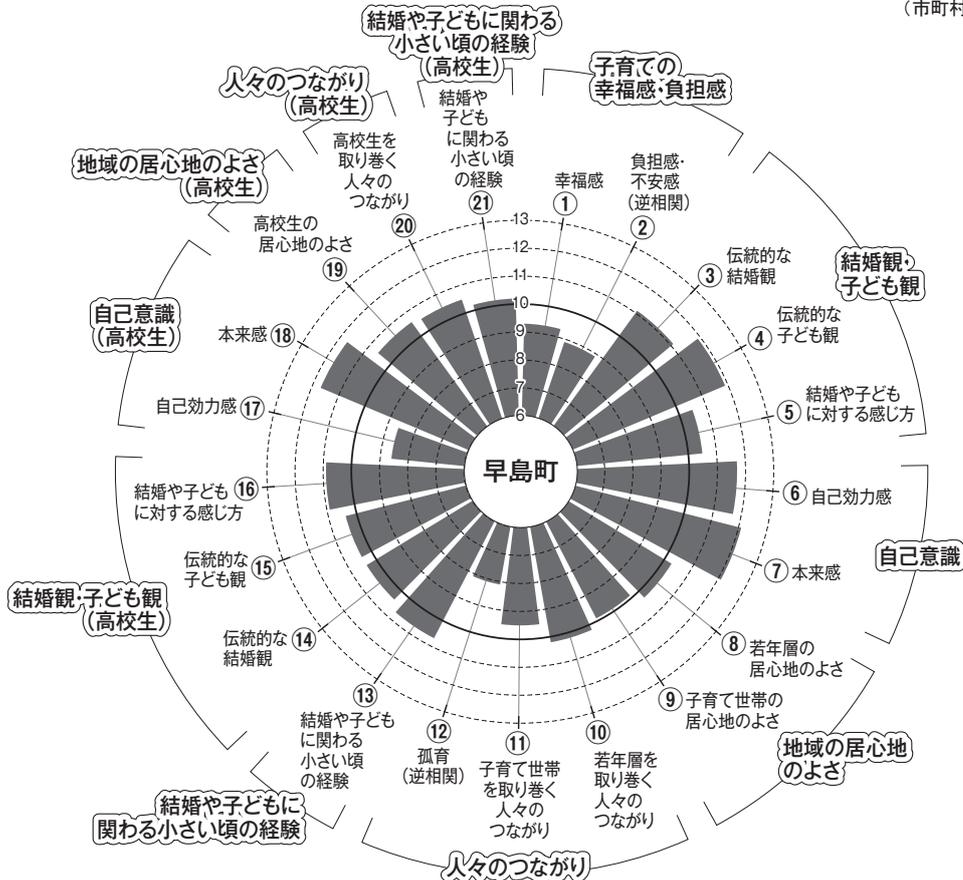
バーチャート1 (行動・環境等)

(市町村平均=10)



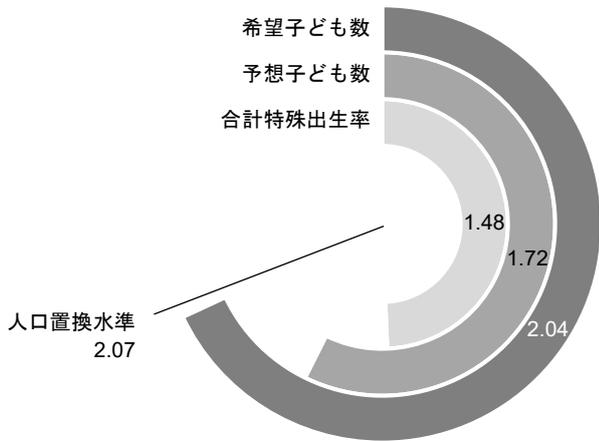
バーチャート2 (価値観・自己意識・社会関係資本等)

(市町村平均=10)



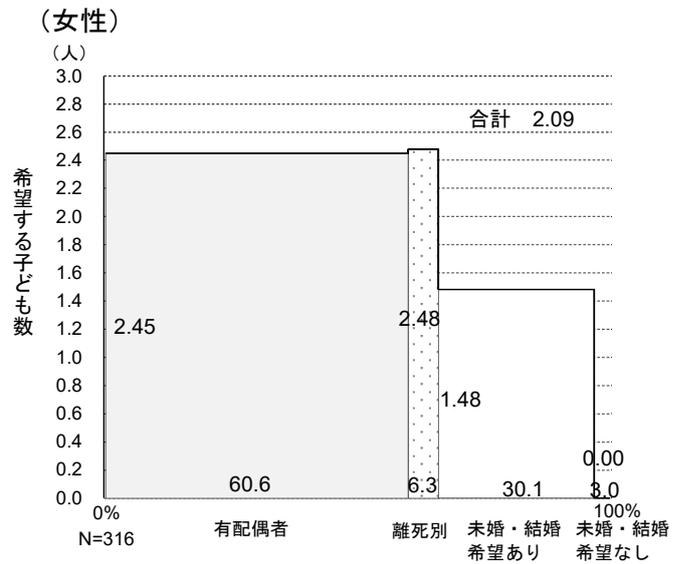
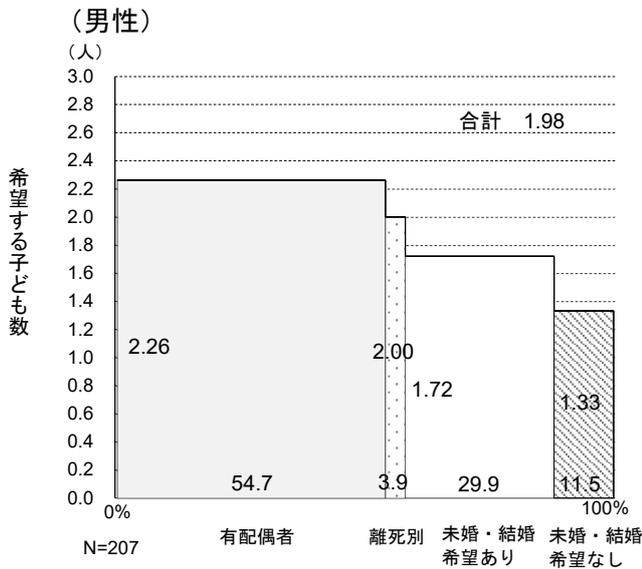
里庄町

〈希望子ども数・予想子ども数と合計特殊出生率〉

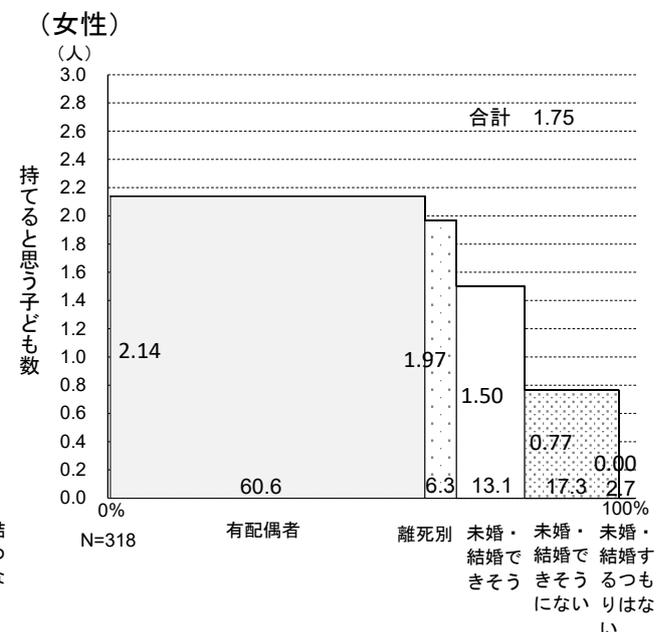
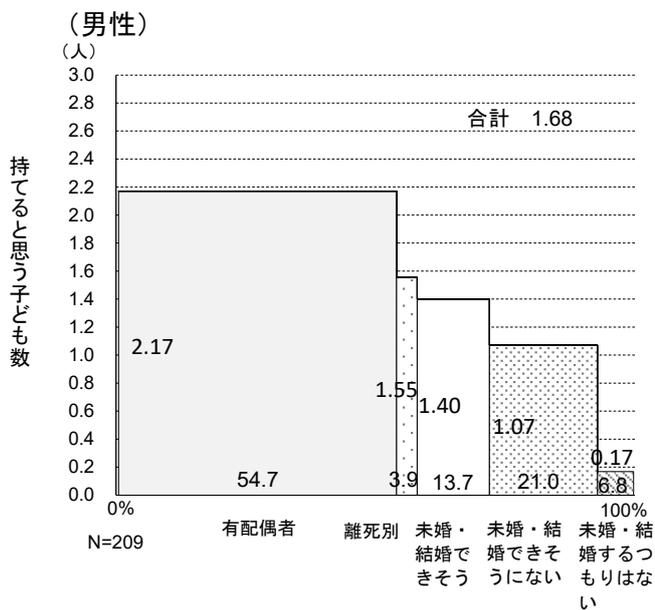


- ・ 里庄町の希望子ども数は2.04であり、県全体（2.06）をわずかに下回る。人口置換水準との差は0.03である。
- ・ 予想子ども数は1.72（県全体1.74）であり、希望子ども数との差は0.32である。
- ・ 女性の希望子ども数をみると、県全体に比べ有配偶率が高く、その希望する子ども数も多い。「結婚希望あり」とする未婚者の割合が県全体をやや下回るが、その希望する子ども数が低いことが特徴である。
- ・ 女性の予想子ども数では、「結婚できそう」とする未婚者の割合が小さく、「結婚できそうにない」とする未婚者の割合が大きい。また、それぞれの持てると思う子ども数が少なくなっている。

〈希望子ども数〉

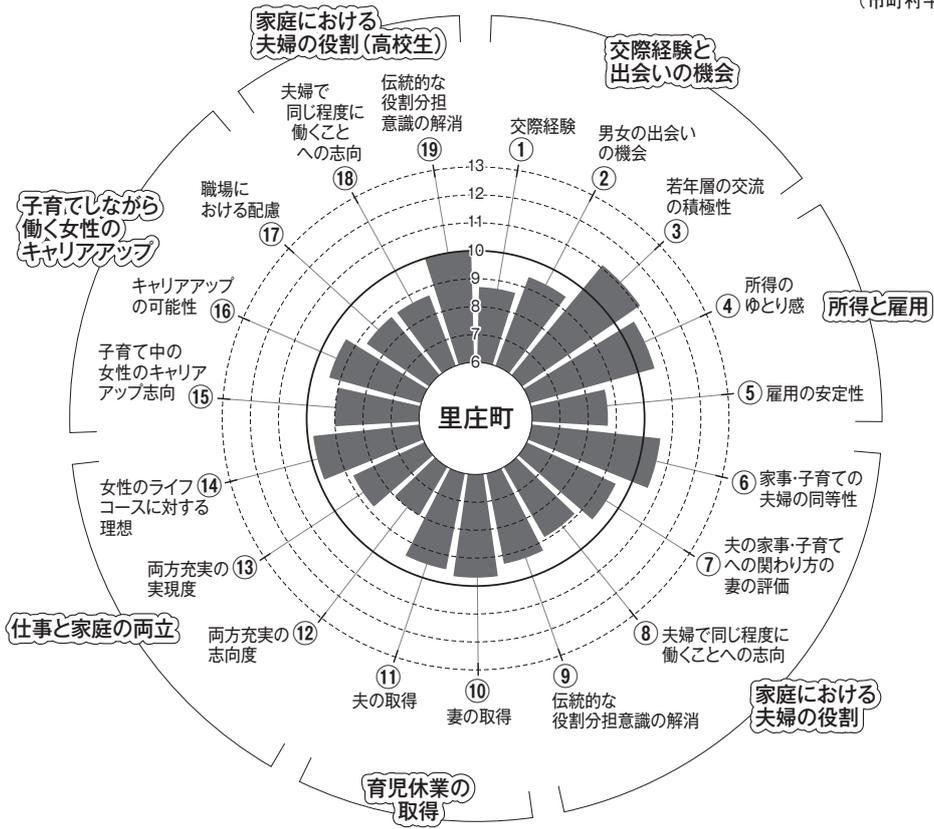


〈予想子ども数〉



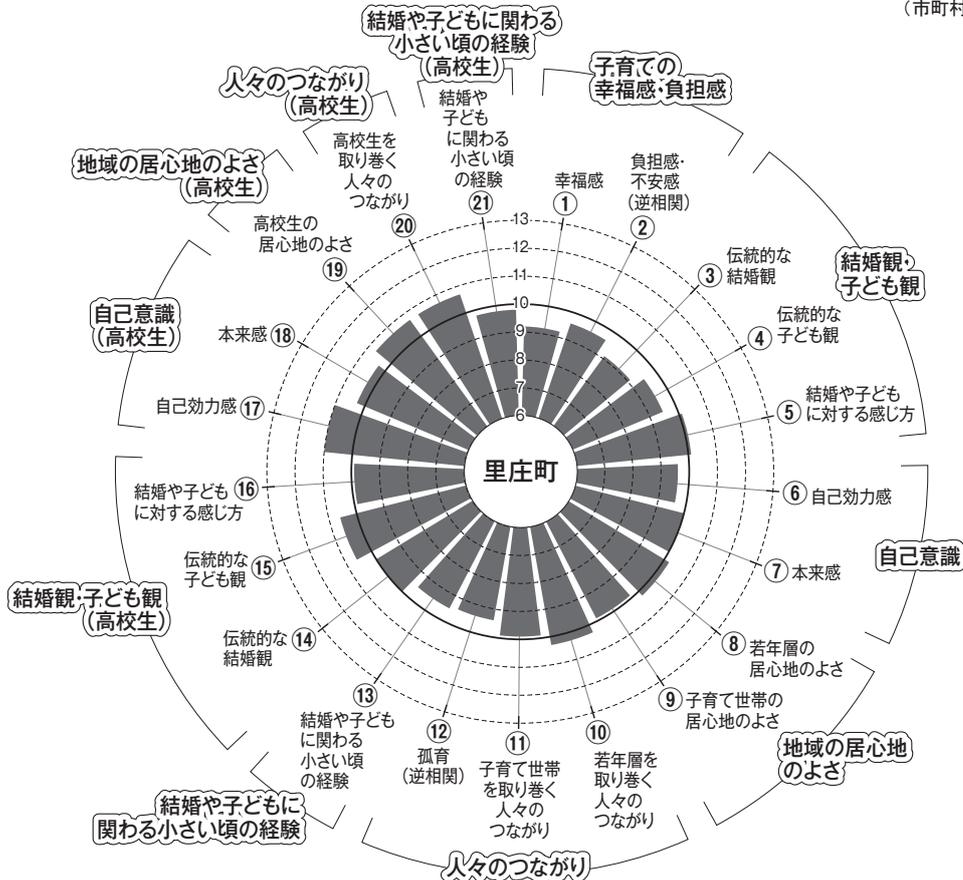
パーチャート1 (行動・環境等)

(市町村平均=10)



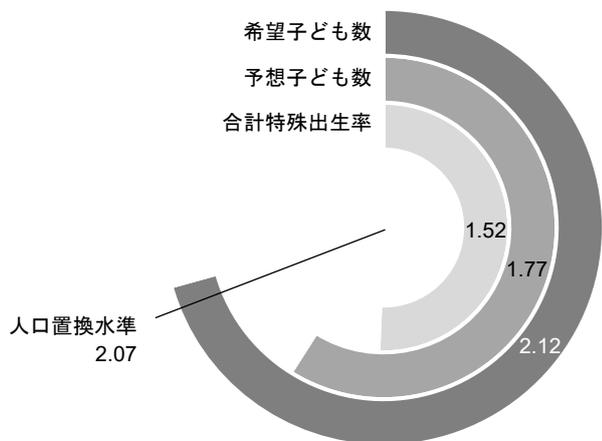
パーチャート2 (価値観・自己意識・社会関係資本等)

(市町村平均=10)



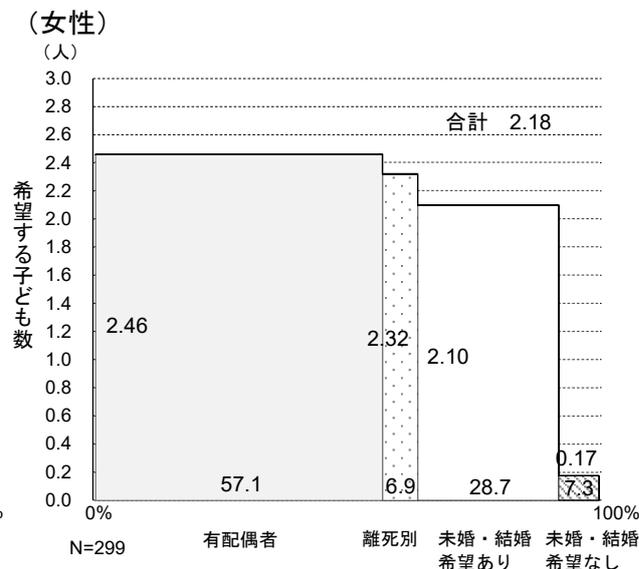
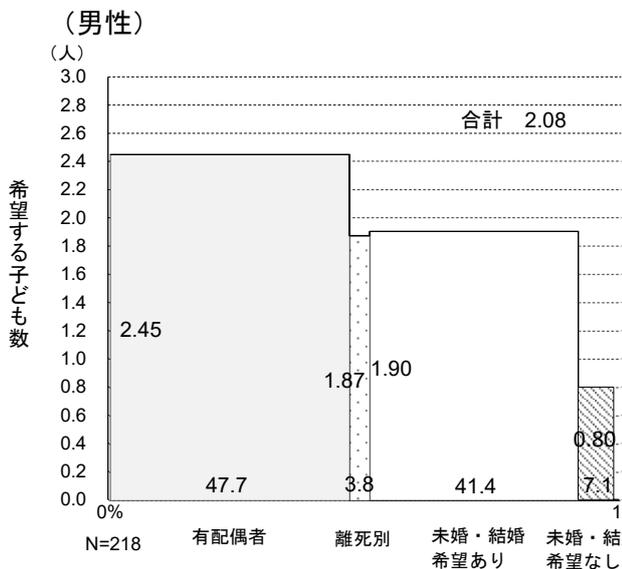
矢掛町

〈希望子ども数・予想子ども数と合計特殊出生率〉

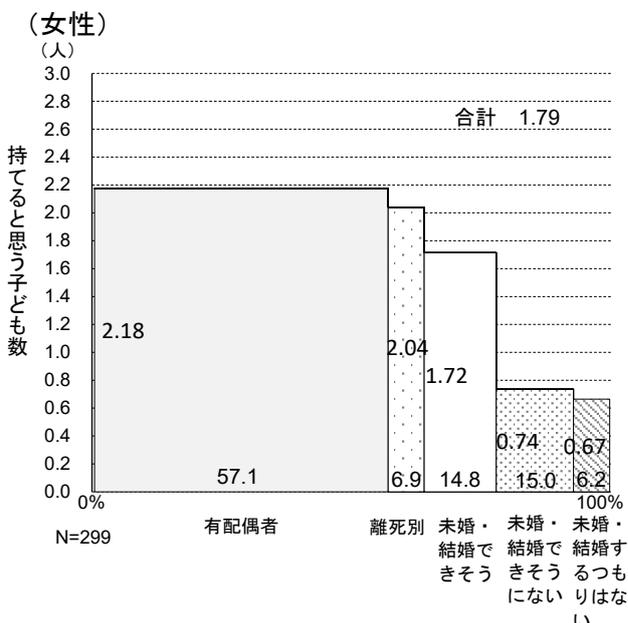
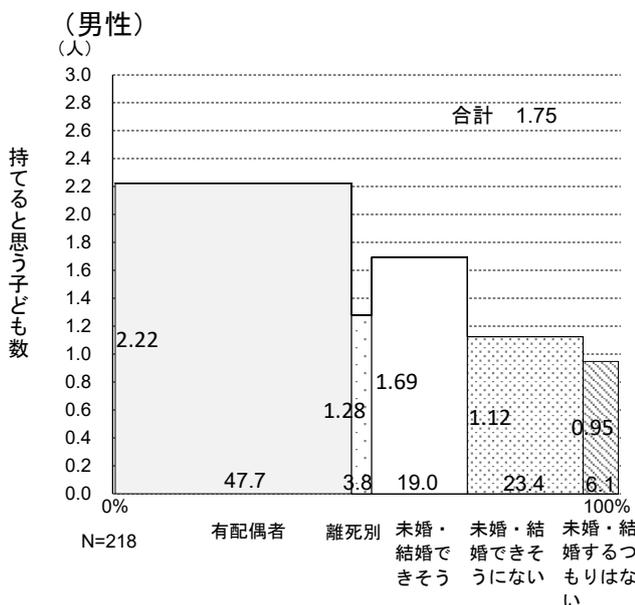


- ・ 矢掛町の希望子ども数は 2.12 であり、県全体 (2.06) を上回るとともに、人口置換水準 (2.07) に達する。
- ・ 予想子ども数は 1.77 (県全体 1.74) であり、希望子ども数との差は 0.35 と大きい。
- ・ 女性の希望子ども数についてみると、県全体に比べ「結婚希望あり」とする未婚者の割合が小さいものの、その希望する子ども数が多い。また、有配偶者の希望する子ども数も県全体を 0.1 ポイント上回る。
- ・ 女性の予想子ども数では、「結婚できそうにならない」とする未婚者の割合が大きい。「結婚できそう」とする未婚者と有配偶者の持てると思う子ども数が予想子ども数を支えている。

〈希望子ども数〉

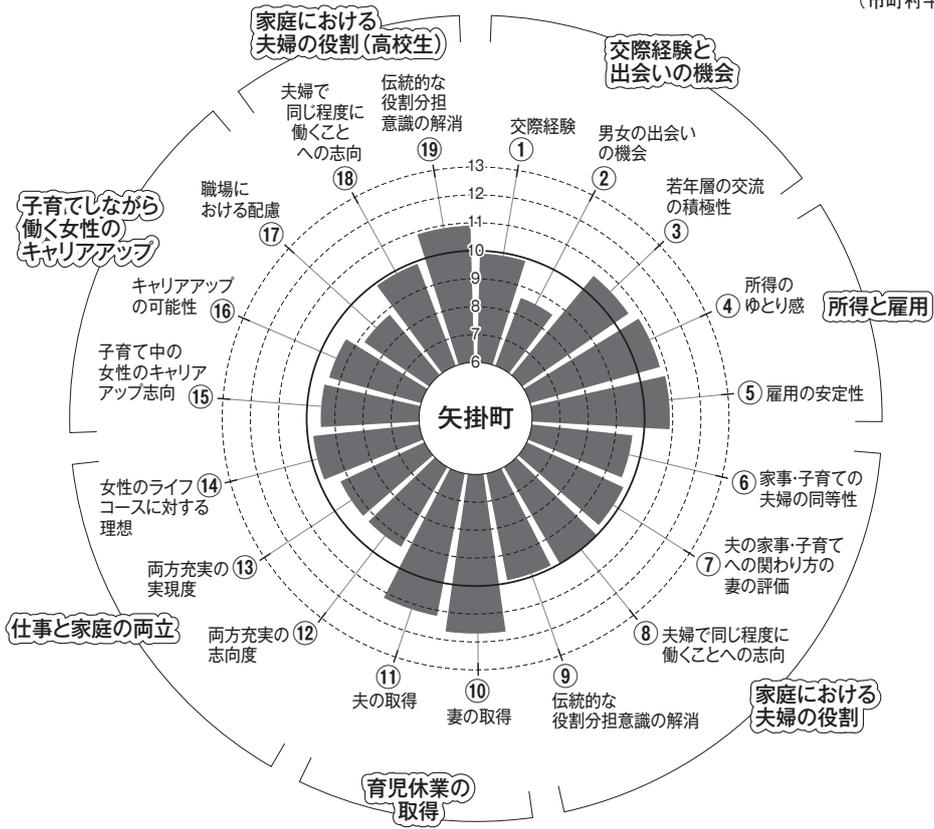


〈予想子ども数〉



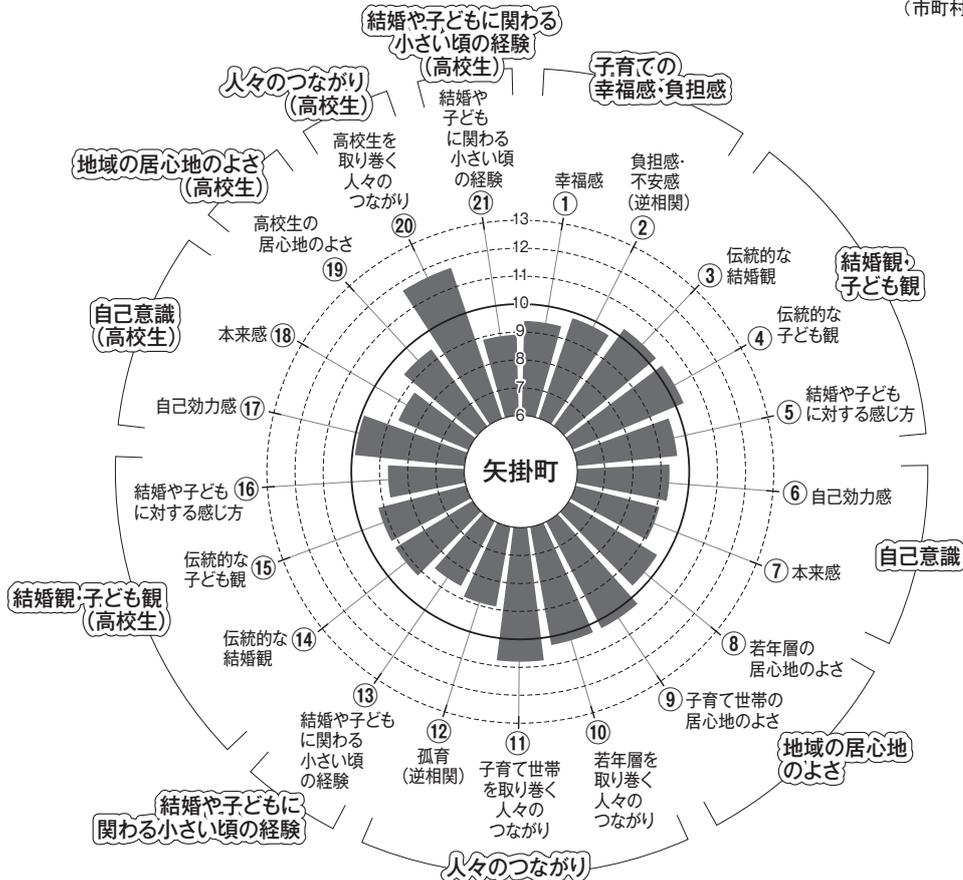
バーチャート1 (行動・環境等)

(市町村平均=10)



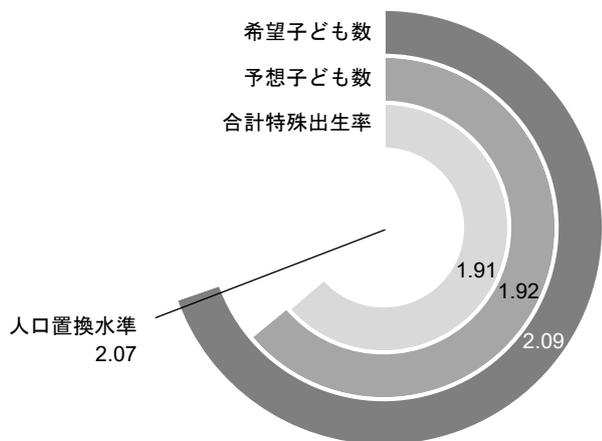
バーチャート2 (価値観・自己意識・社会関係資本等)

(市町村平均=10)



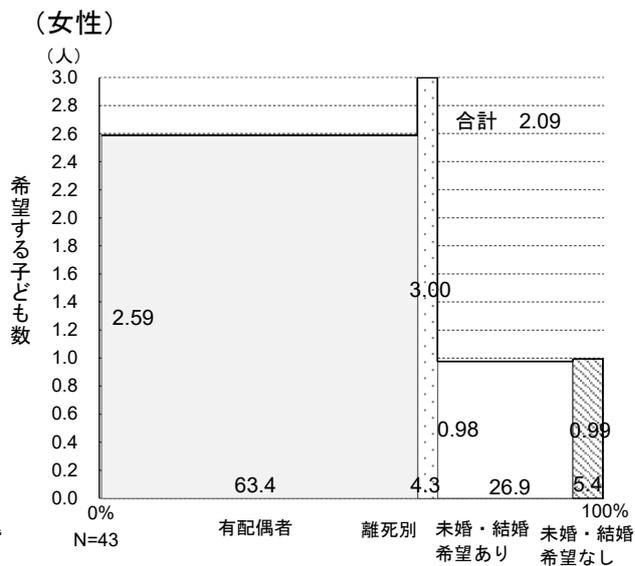
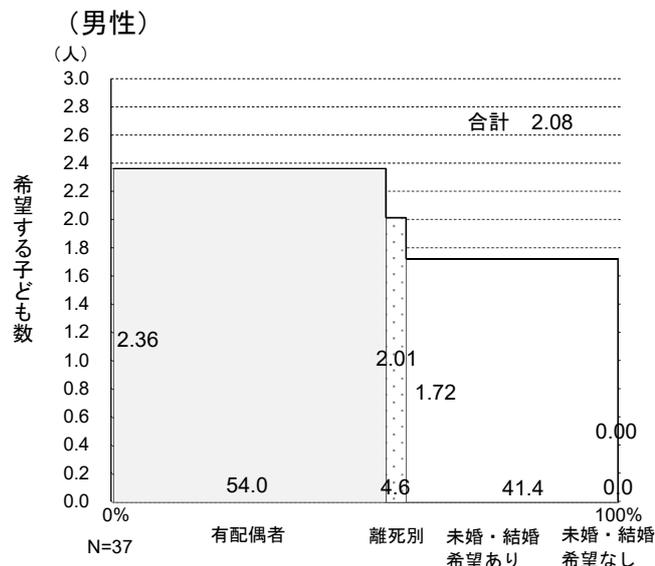
新庄村

〈希望子ども数・予想子ども数と合計特殊出生率〉

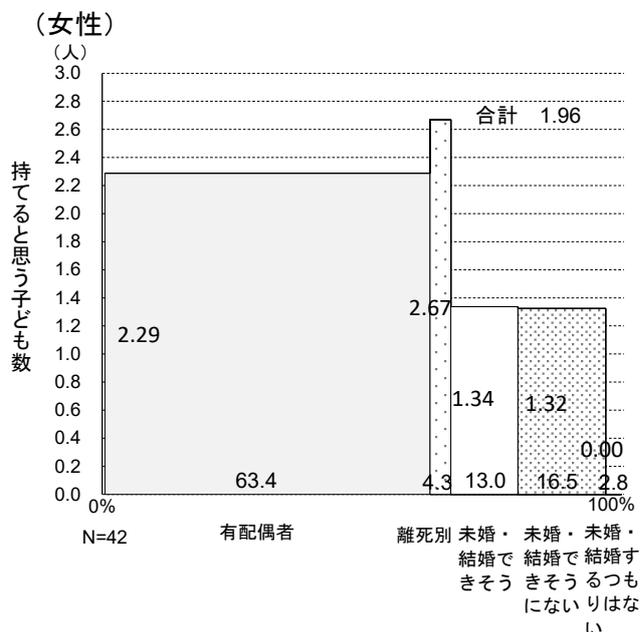
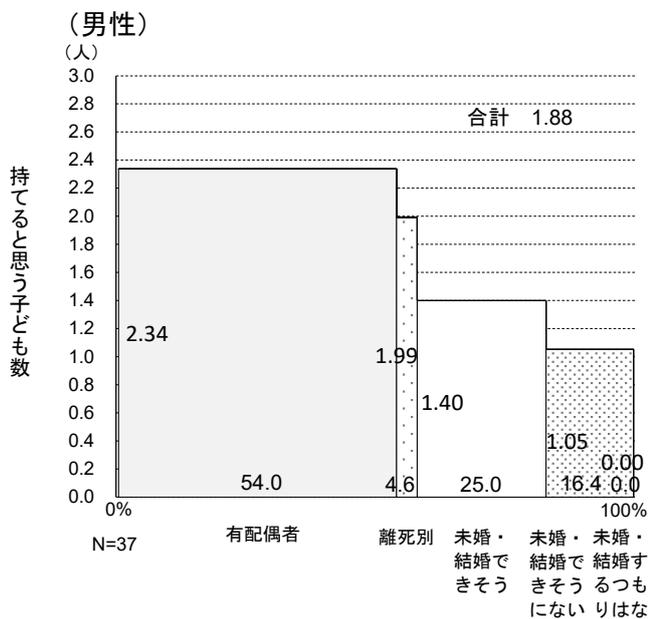


- ・ 新庄村の希望子ども数は2.09であり、県全体(2.06)を上回るとともに、人口置換水準(2.07)に達する。
- ・ 予想子ども数は1.92(県全体1.74)と多く、希望子ども数との差は0.17と小さい。
- ・ 女性の希望子ども数についてみると、有配偶率が県全体に比べ高く、有配偶者の希望する子ども数が多い。その結果、「結婚希望あり」とする未婚者の割合が小さくなっており、その希望する子ども数は少ない。
- ・ 女性の予想子ども数も、有配偶者の割合が大きく、その持てると思う子ども数が多い。「結婚できそうにない」とする未婚者の割合が大きく、持てると思う子ども数が少ない。

〈希望子ども数〉

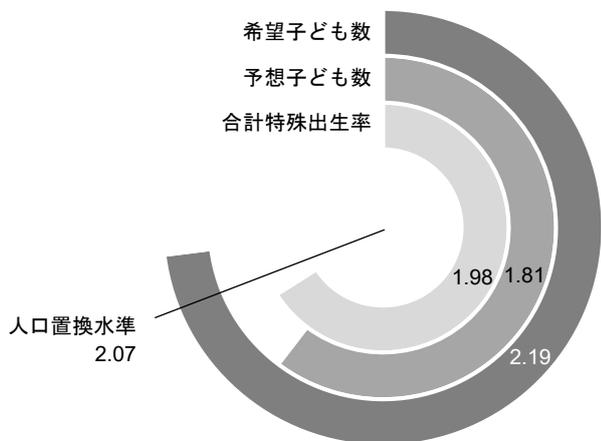


〈予想子ども数〉



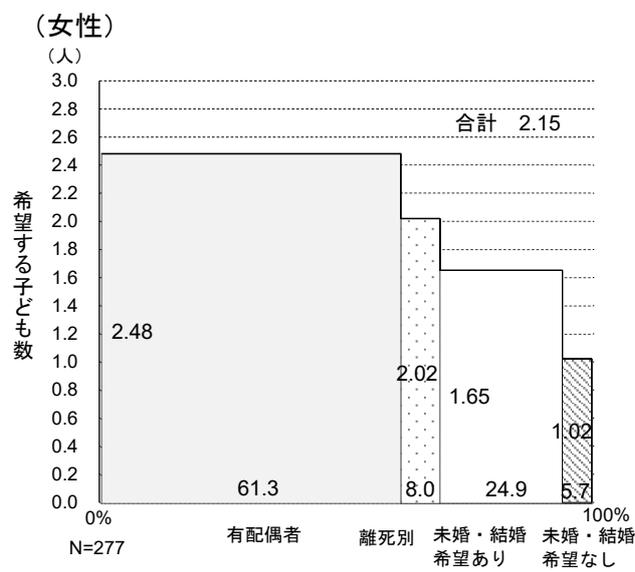
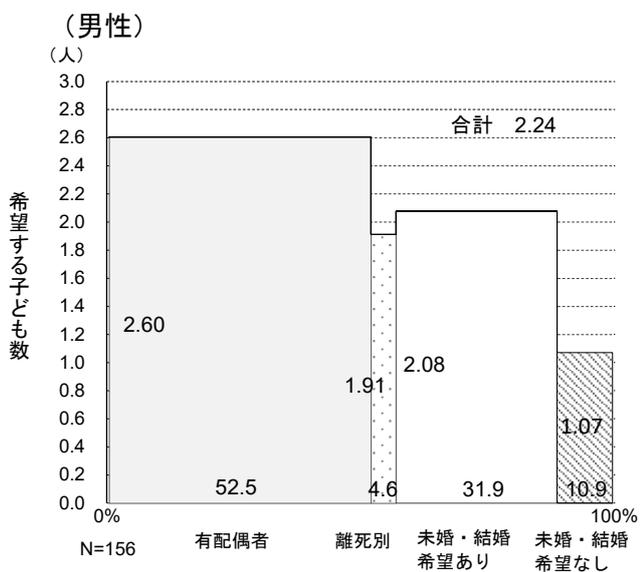
鏡野町

〈希望子ども数・予想子ども数と合計特殊出生率〉

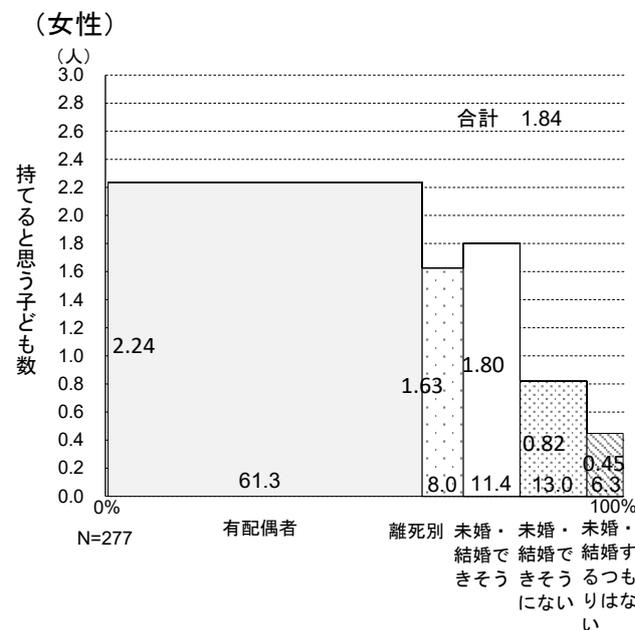
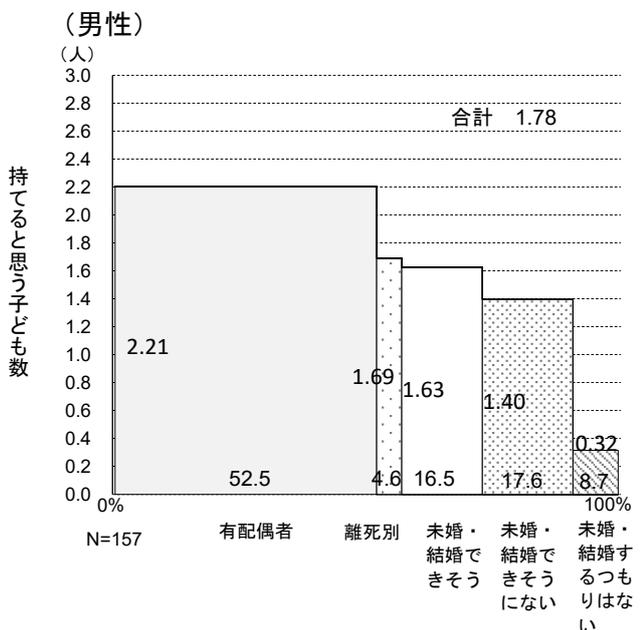


- ・ 鏡野町の希望子ども数は2.19であり、県全体(2.06)を上回るとともに、人口置換水準(2.07)を大きく上回る(+0.12)。
- ・ 予想子ども数は1.81(県全体1.74)であり、希望子ども数との差は0.38と大きい。また、合計特殊出生率が予想子ども数を上回っている。
- ・ 女性の希望子ども数についてみると、有配偶者の割合が県全体に比べ大きく、その希望する子ども数も多い。一方、「結婚希望あり」とする未婚者の希望する子ども数は県全体に比べ少ない。
- ・ 女性の予想子ども数は、有配偶者の持つと思う子ども数が多い。一方で、「結婚できそうにない」とする未婚者の割合が県全体に比べ大きい。

〈希望子ども数〉

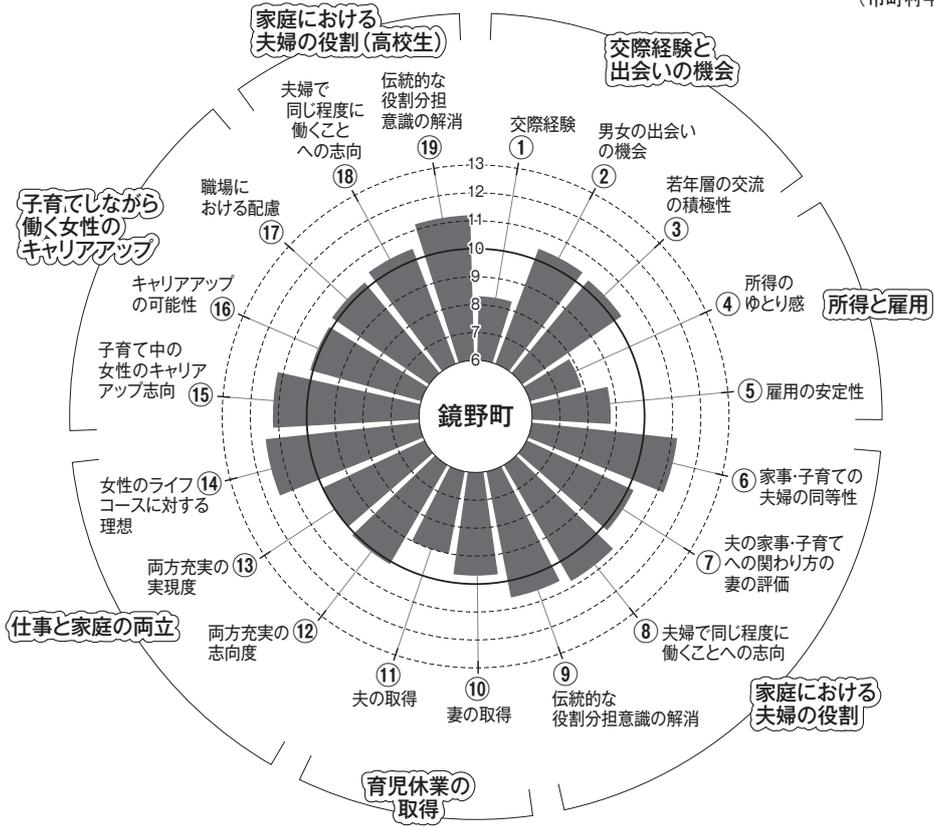


〈予想子ども数〉



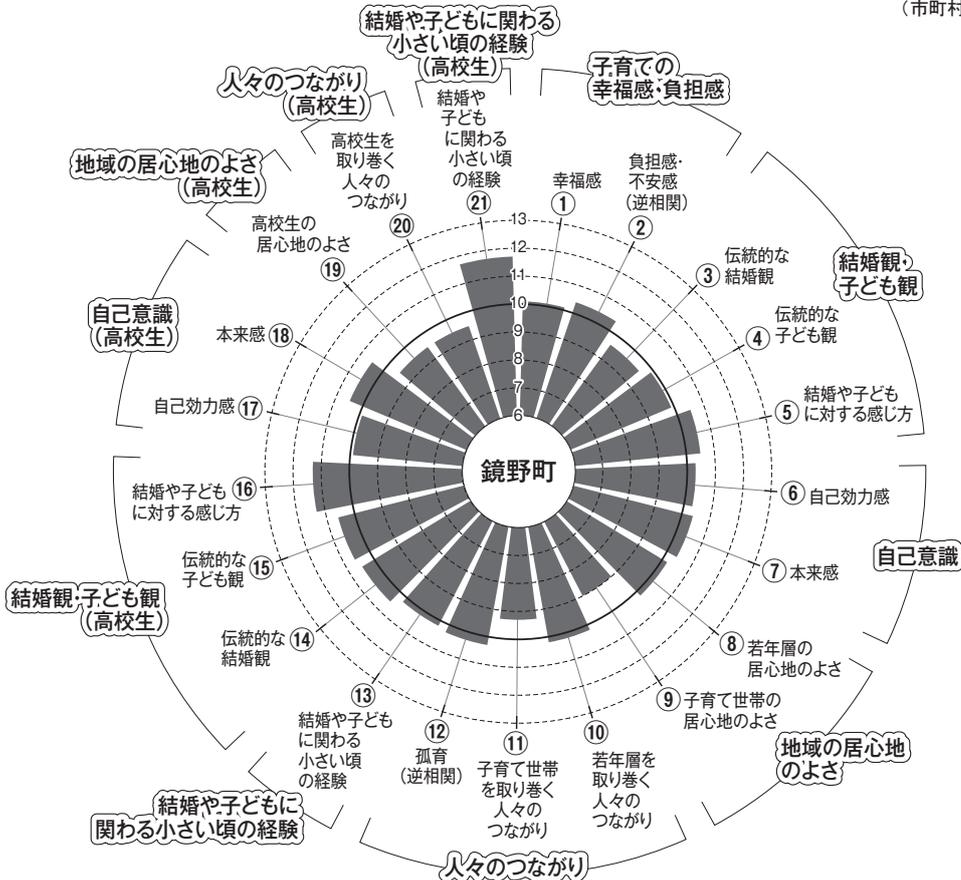
バーチャート1 (行動・環境等)

(市町村平均=10)



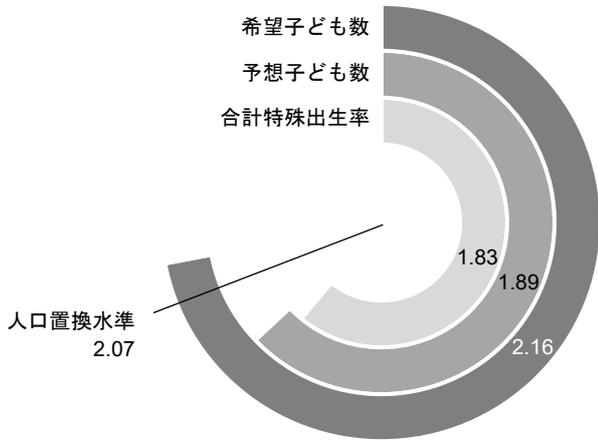
バーチャート2 (価値観・自己意識・社会関係資本等)

(市町村平均=10)



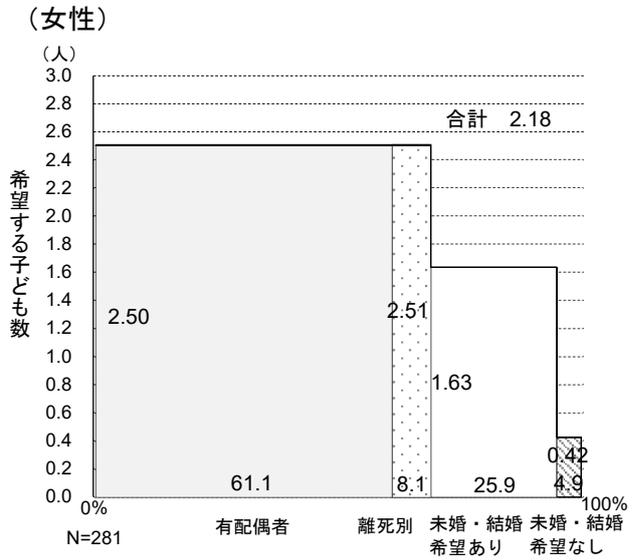
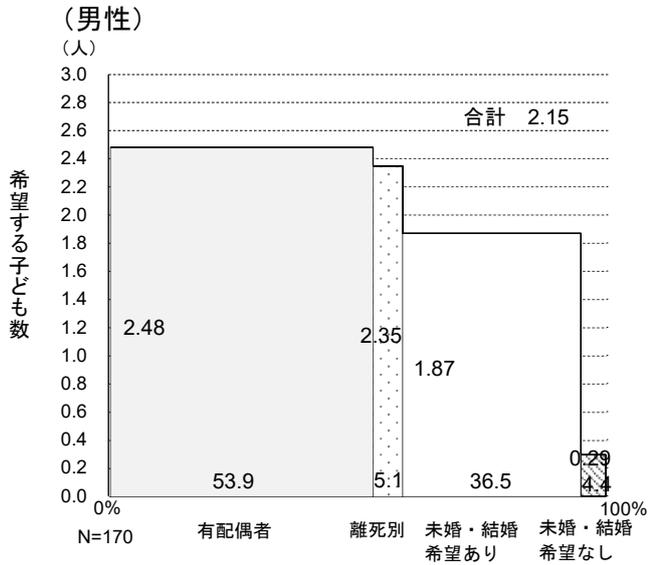
勝央町

〈希望子ども数・予想子ども数と合計特殊出生率〉

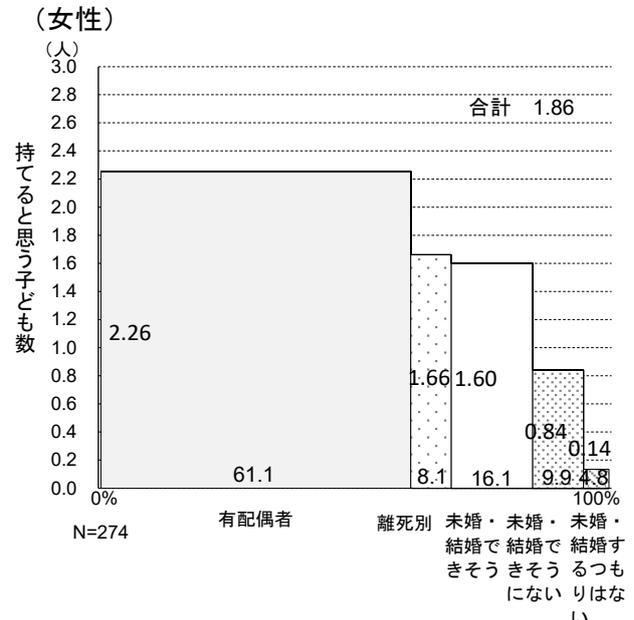
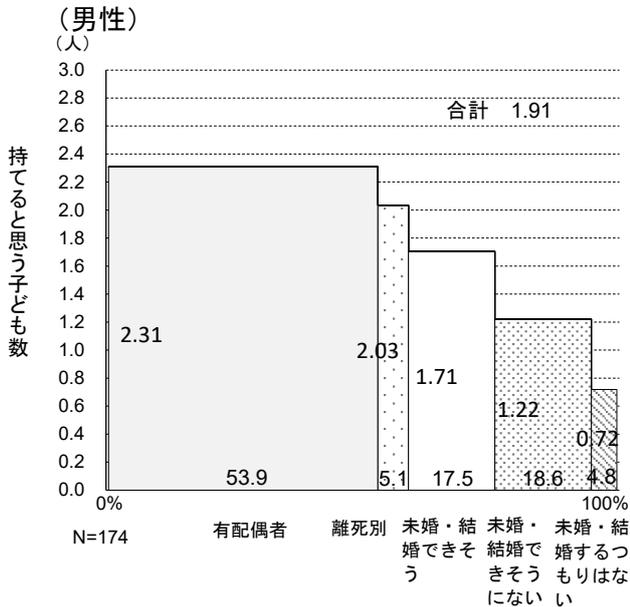


- ・ 勝央町の希望子ども数は2.16であり、県全体(2.06)を上回るとともに、人口置換水準(2.07)を大きく上回る(+0.09)。
- ・ 予想子ども数は1.89(県全体1.74)であり、希望子ども数との差は0.27と小さい。
- ・ 女性の希望子ども数についてみると、有配偶者の割合が県全体に比べ大きく、その希望する子ども数が多い。一方、有配偶率が高いため、「結婚希望あり」とする未婚者の割合は小さいが、その希望する子ども数が少なくなっている。
- ・ 女性の予想子ども数では、有配偶者の持てると思う子ども数が多い。加えて、「結婚できそうにない」とする未婚者の割合が小さく、持てると思う子ども数は県全体と同程度である。

〈希望子ども数〉

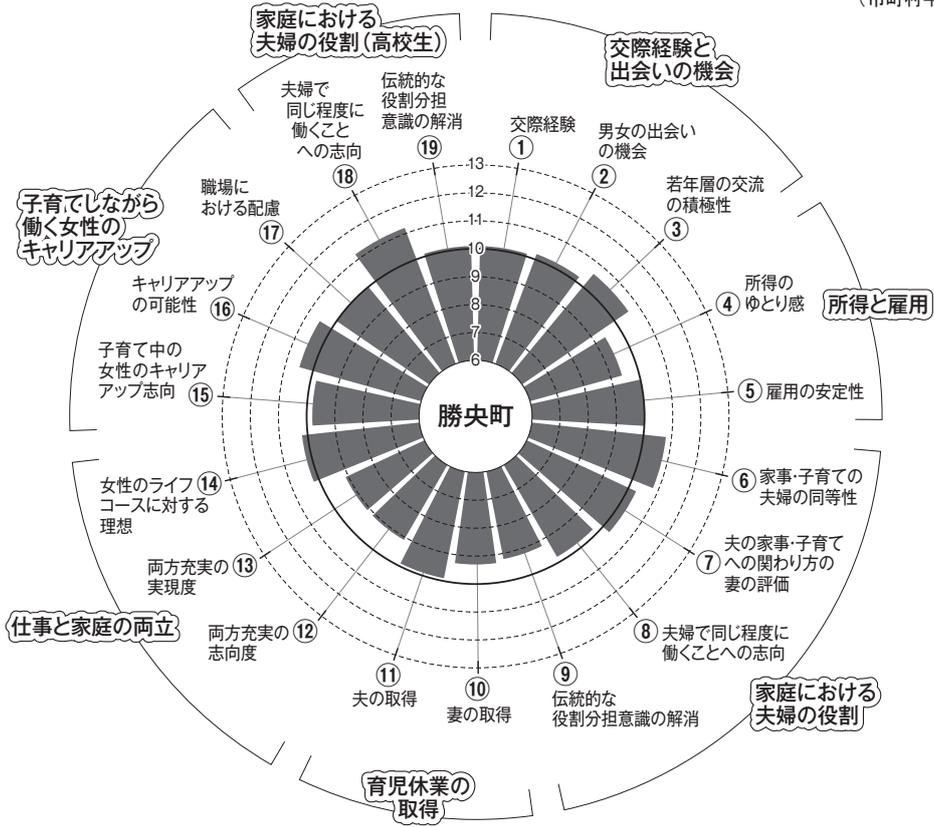


〈予想子ども数〉



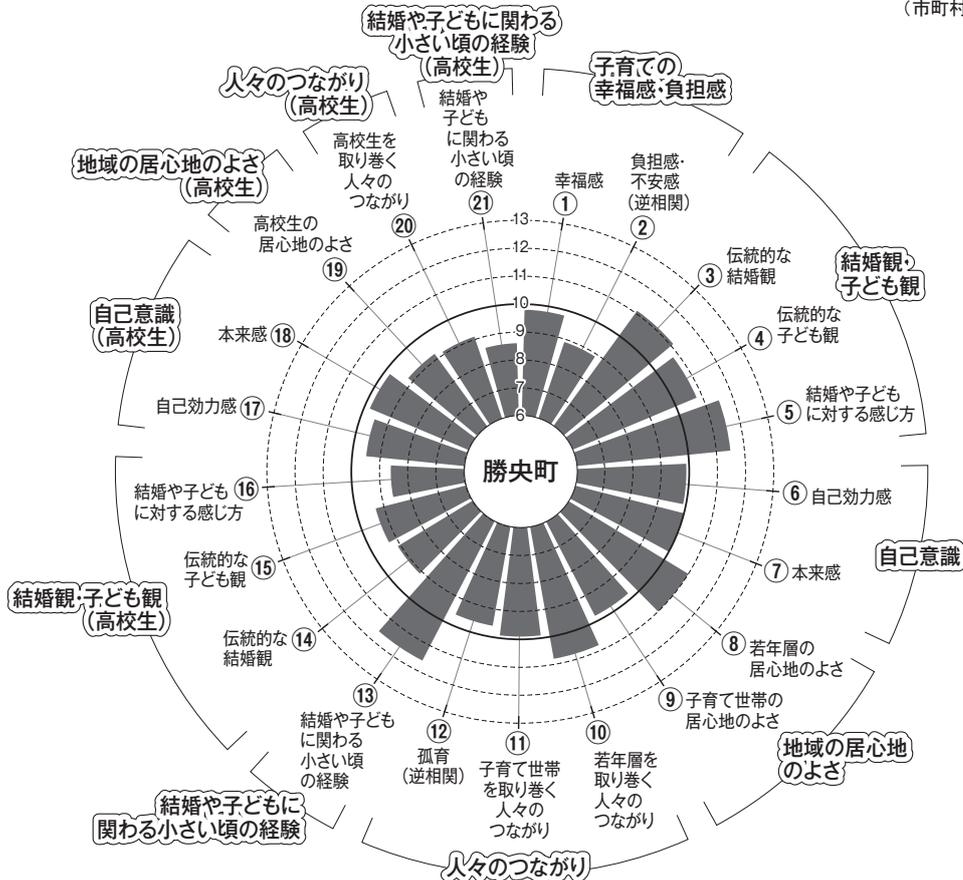
バーチャート1 (行動・環境等)

(市町村平均=10)



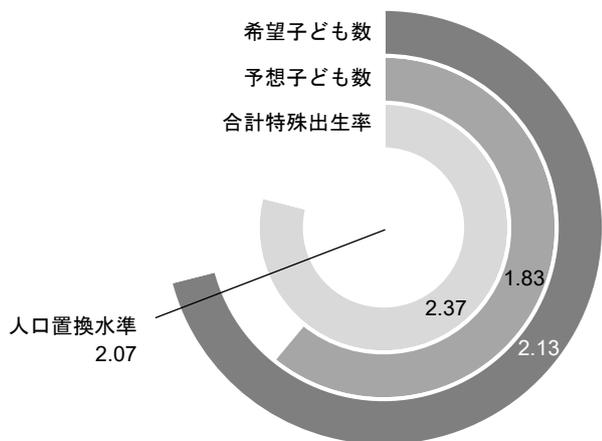
バーチャート2 (価値観・自己意識・社会関係資本等)

(市町村平均=10)



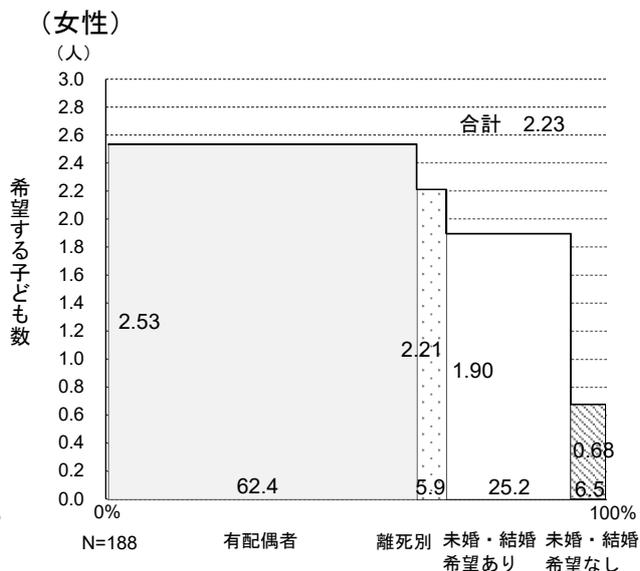
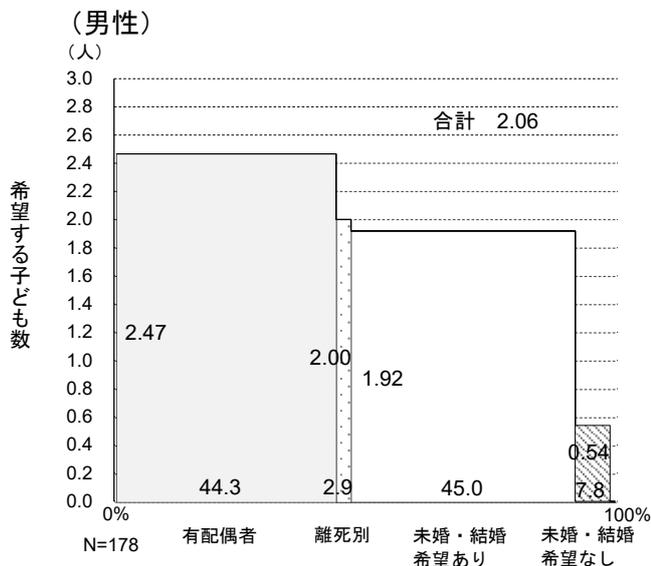
奈義町

〈希望子ども数・予想子ども数と合計特殊出生率〉

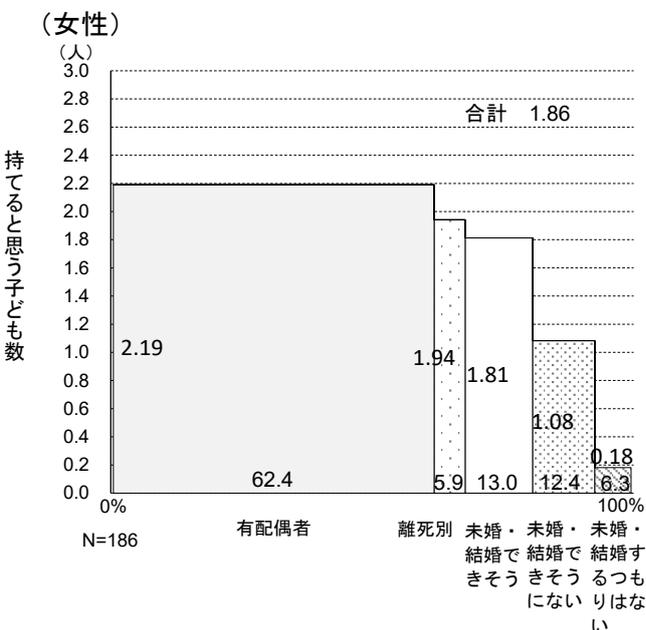
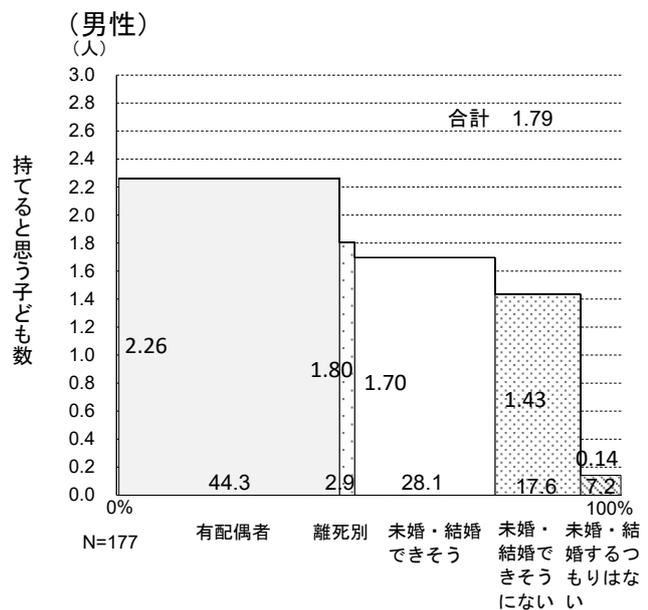


- ・ 奈義町の希望子ども数は2.13であり、県全体(2.06)を上回るとともに、人口置換水準(2.07)に達する。
- ・ 予想子ども数は1.83(県全体1.74)であり、希望子ども数との差は0.30である。
- ・ 合計特殊出生率が、希望子ども数と予想子ども数の両方を大きく上回る。
- ・ 女性の希望子ども数についてみると、有配偶者の割合が県全体に比べ大きく、その希望する子ども数も多い。また、「結婚希望あり」とする未婚者の希望する子ども数も県全体をやや上回る。
- ・ 女性の予想子ども数は、有配偶者の持てると思う子ども数が県全体を上回る。一方で、「結婚できそうにない」とする未婚者の割合が大きい。

〈希望子ども数〉

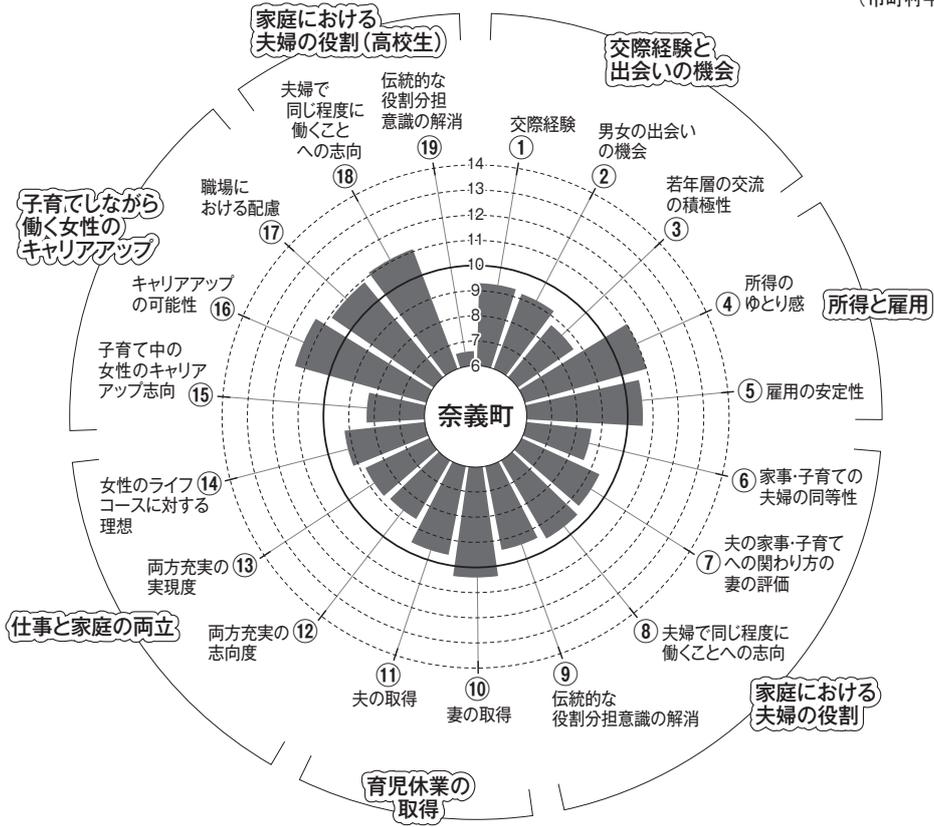


〈予想子ども数〉



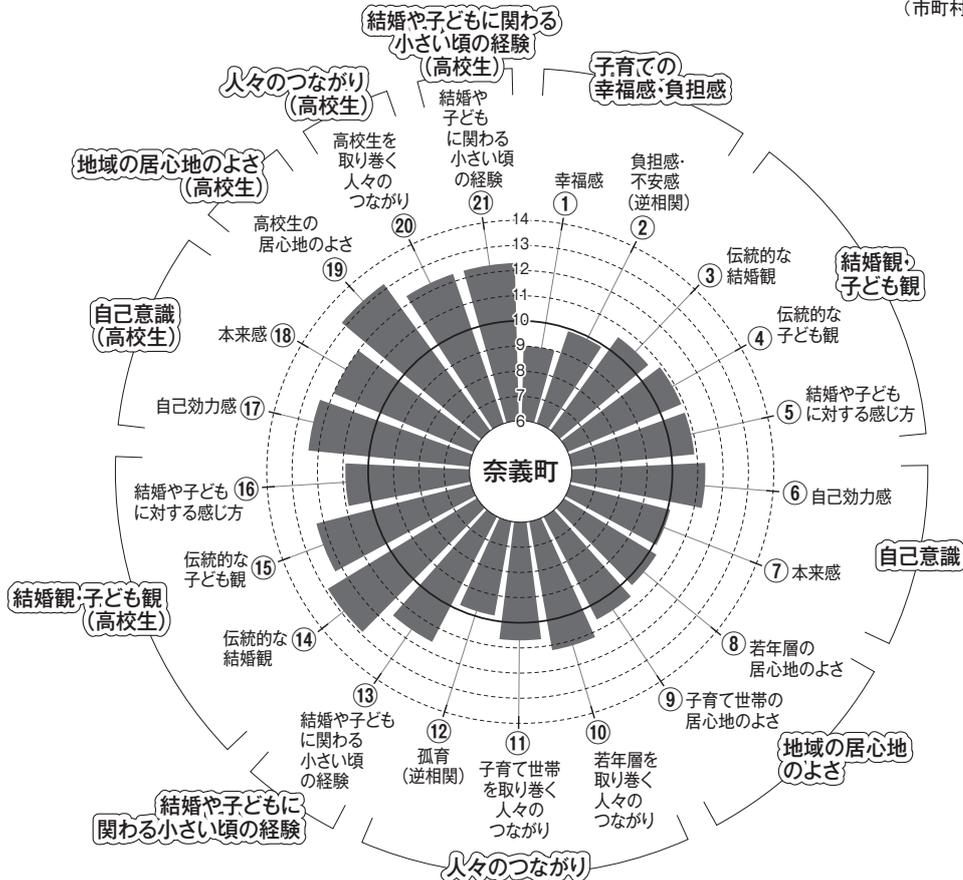
バーチャート1 (行動・環境等)

(市町村平均=10)



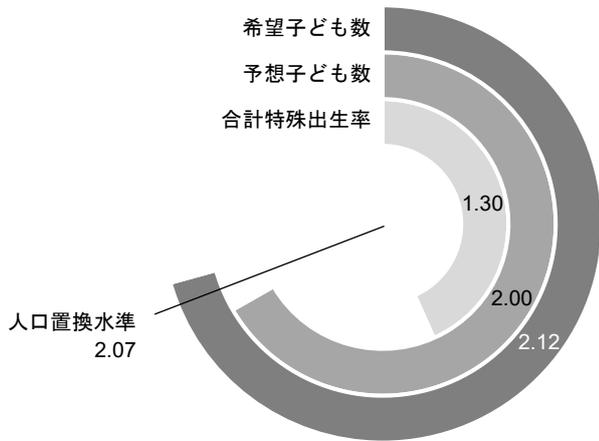
バーチャート2 (価値観・自己意識・社会関係資本等)

(市町村平均=10)



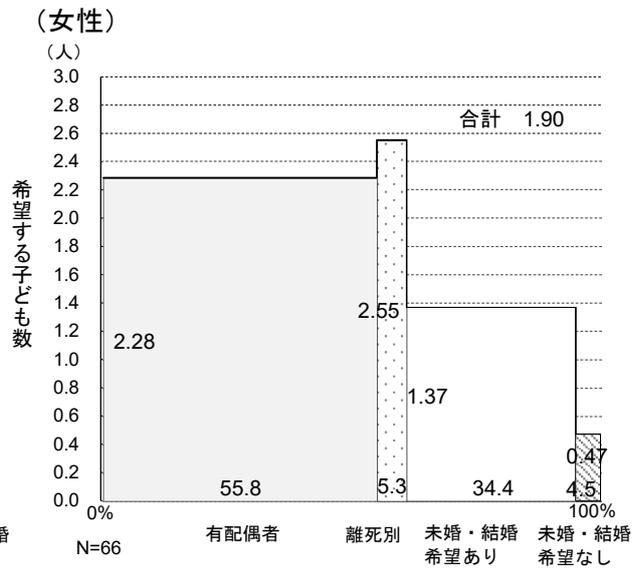
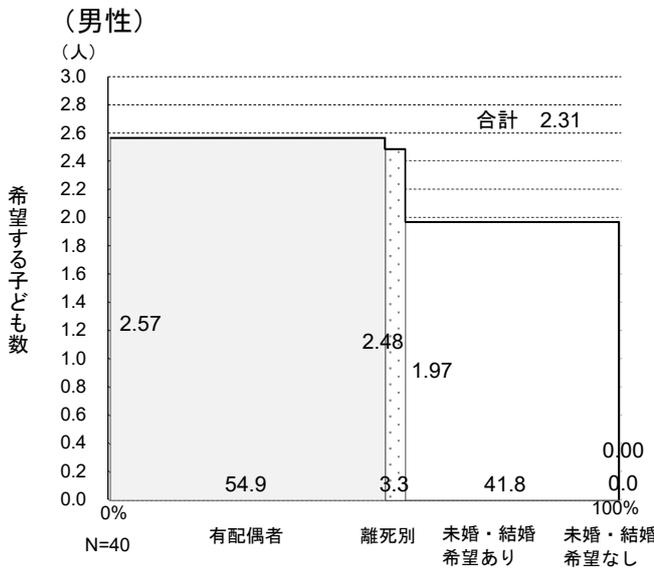
西栗倉村

〈希望子ども数・予想子ども数と合計特殊出生率〉

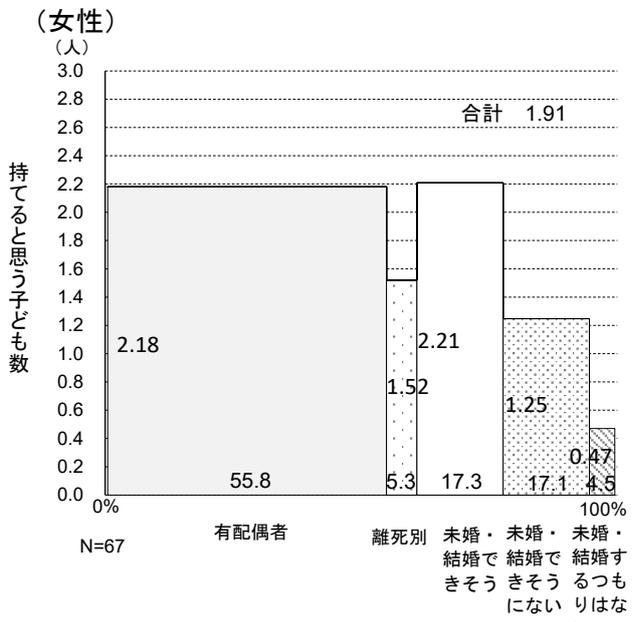
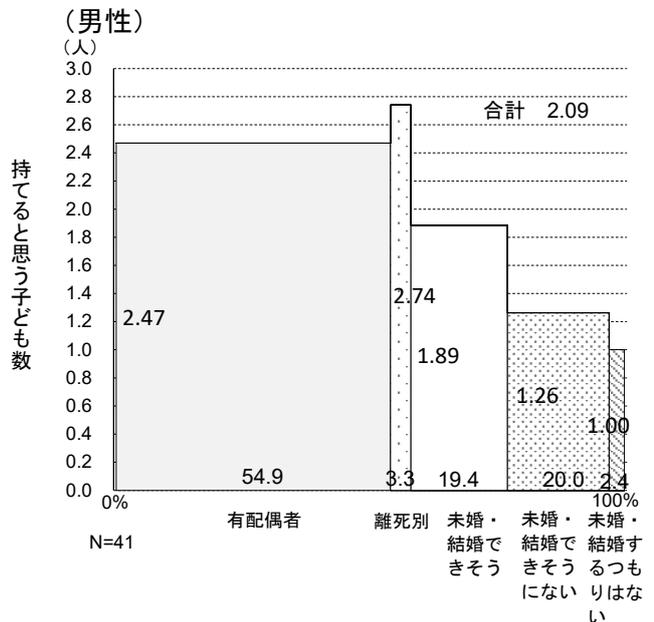


- ・ 西栗倉村の希望子ども数は 2.12 であり、県全体 (2.06) を上回るとともに、人口置換水準 (2.07) に達する。
- ・ 予想子ども数は 2.00 (県全体 1.74) であり、県内市町村の中で最も多い。希望子ども数との差は 0.12 であり、県内で最小である。
- ・ 村全体の希望子ども数は県全体を上回るものの、女性の希望子ども数は 1.90 であり、県全体の女性 (2.10) を大きく下回る。県全体に比べ有配偶率が低く、その希望する子ども数も少ない。「結婚希望あり」とする未婚者の割合は大きい、その希望する子ども数が県全体を大きく下回る。
- ・ 女性の予想子ども数 (1.91) は県全体 (1.75) を上回る。「結婚できそう」とする未婚者は少ないが、持てると思う子ども数が多い。

〈希望子ども数〉

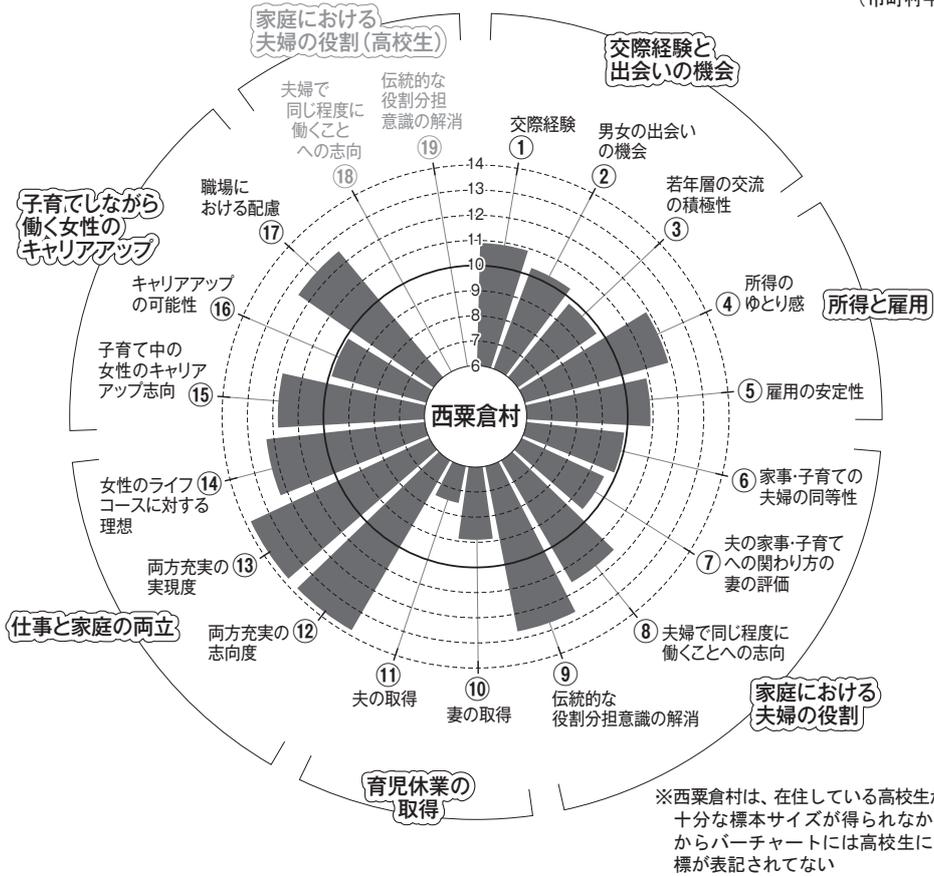


〈予想子ども数〉



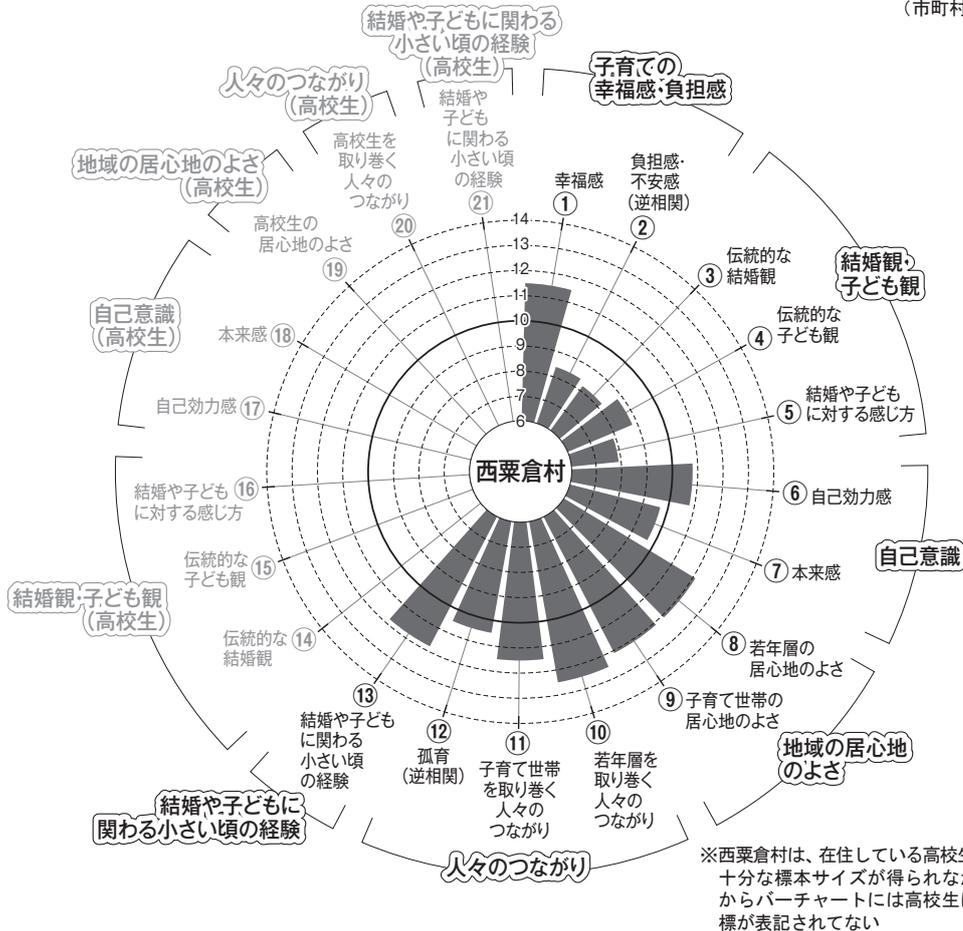
パーチャート1 (行動・環境等)

(市町村平均=10)



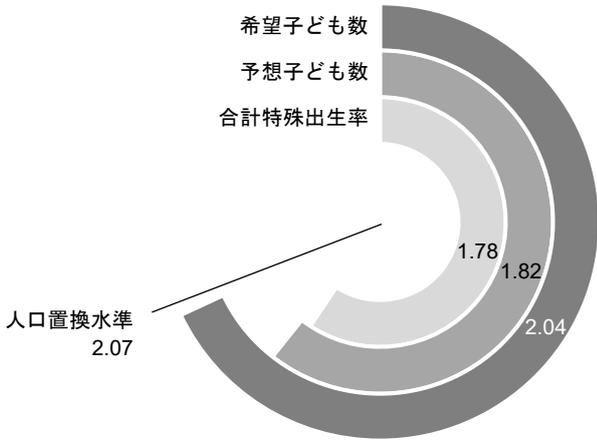
パーチャート2 (価値観・自己意識・社会関係資本等)

(市町村平均=10)



久米南町

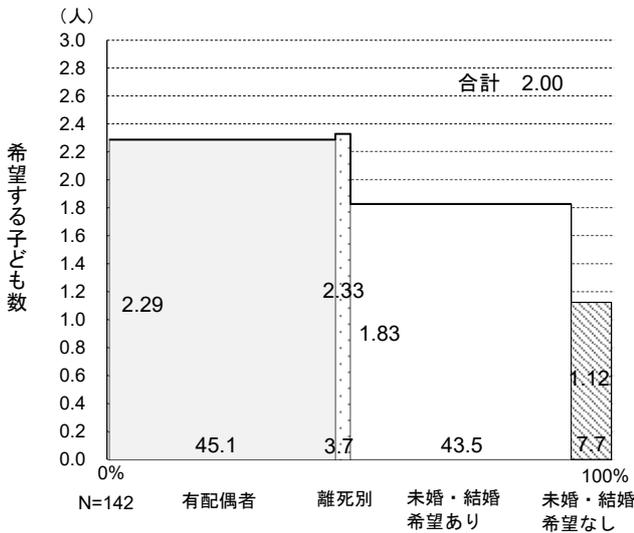
〈希望子ども数・予想子ども数と合計特殊出生率〉



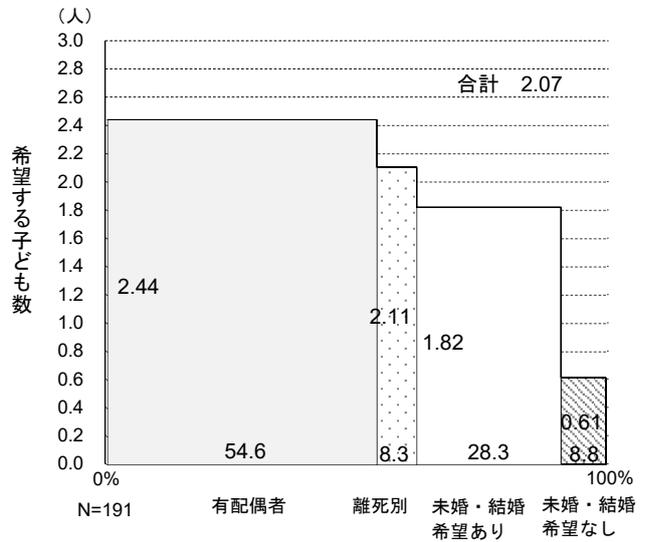
- ・ 久米南町の希望子ども数は 2.04 であり、県全体 (2.06) をやや下回る。
- ・ 予想子ども数は 1.82 (県全体 1.74) であり、希望子ども数との差は 0.22 と小さい。
- ・ 女性の希望子ども数についてみると、県全体に比べ、有配偶率が低く、「結婚希望あり」とする未婚者の割合も小さい。有配偶者の希望する子ども数は県全体を上回るものの、未婚者では県全体と同程度である。
- ・ 女性の予想子ども数では、有配偶率は低いが、県全体に比べて持てると思う子ども数が多い。「結婚できそうにない」とする未婚者の割合は大きい、「結婚できそう」とする未婚者の持てると思う子ども数が多いことがプラスに寄与している。

〈希望子ども数〉

(男性)

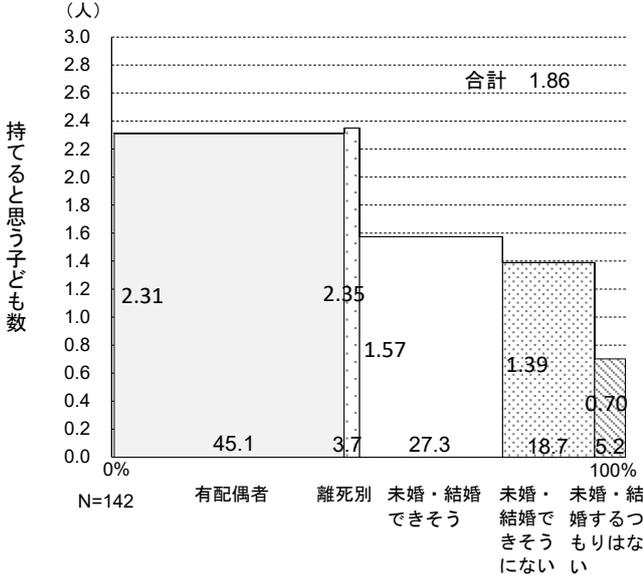


(女性)

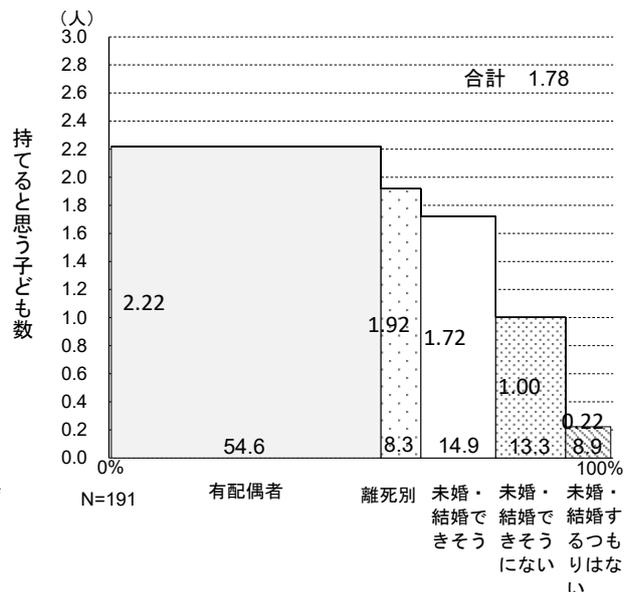


〈予想子ども数〉

(男性)

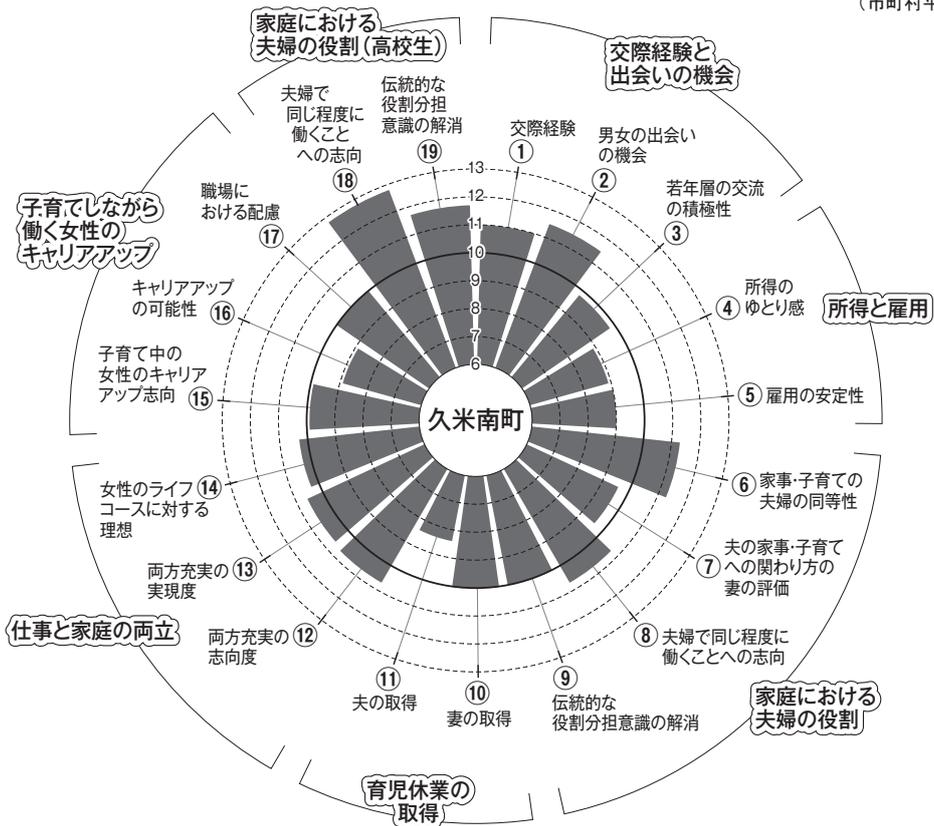


(女性)



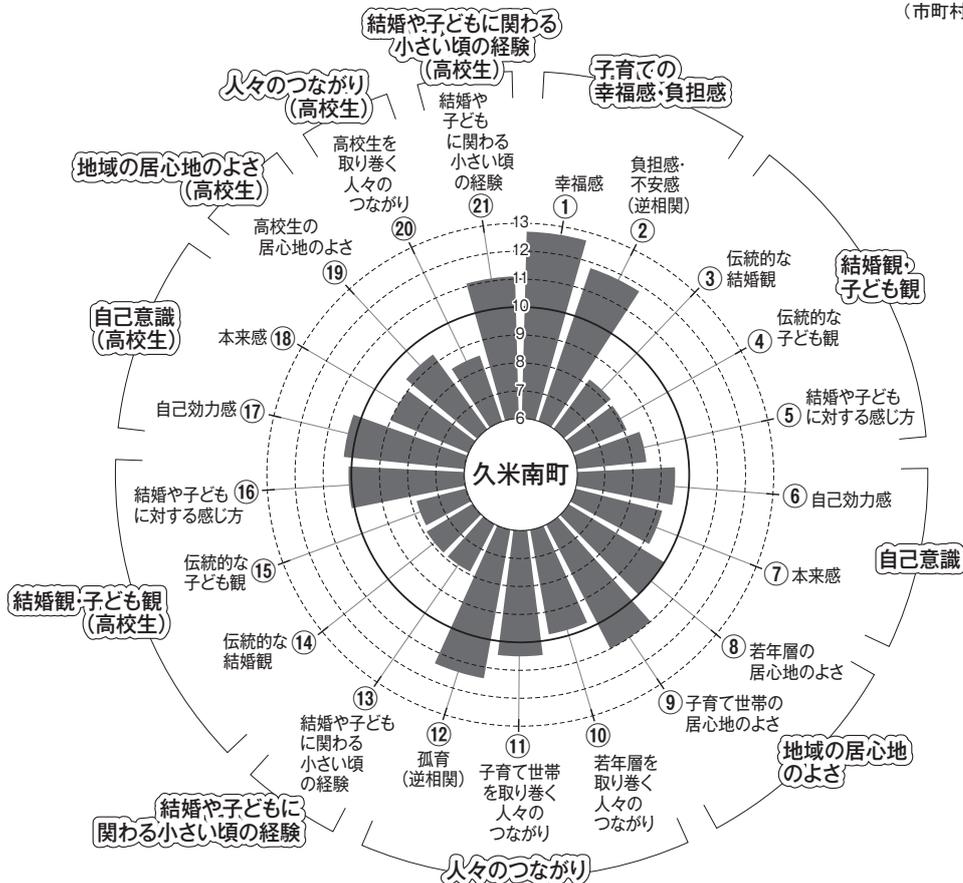
バーチャート1 (行動・環境等)

(市町村平均=10)



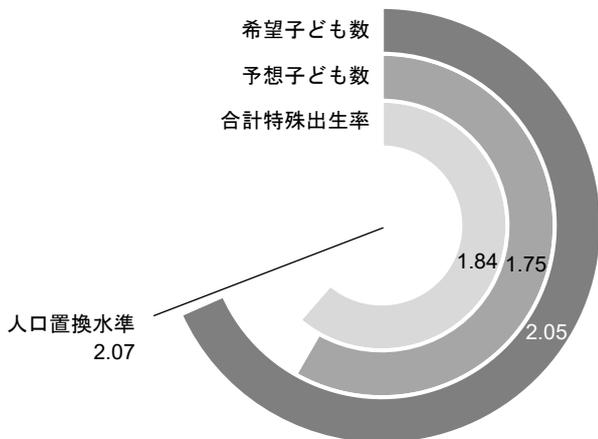
バーチャート2 (価値観・自己意識・社会関係資本等)

(市町村平均=10)



美咲町

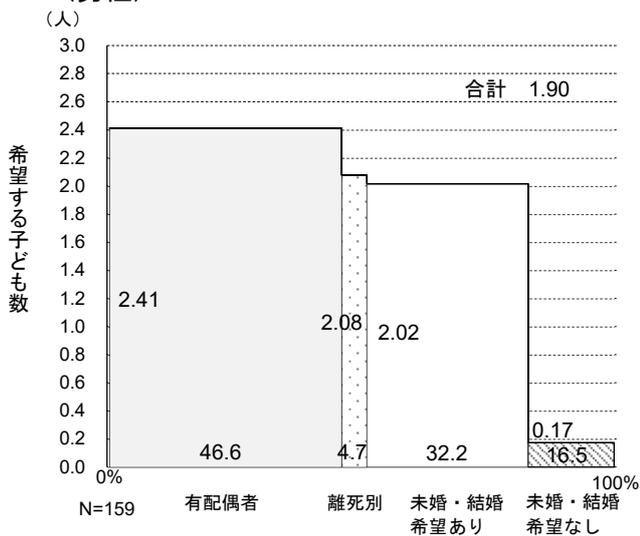
〈希望子ども数・予想子ども数と合計特殊出生率〉



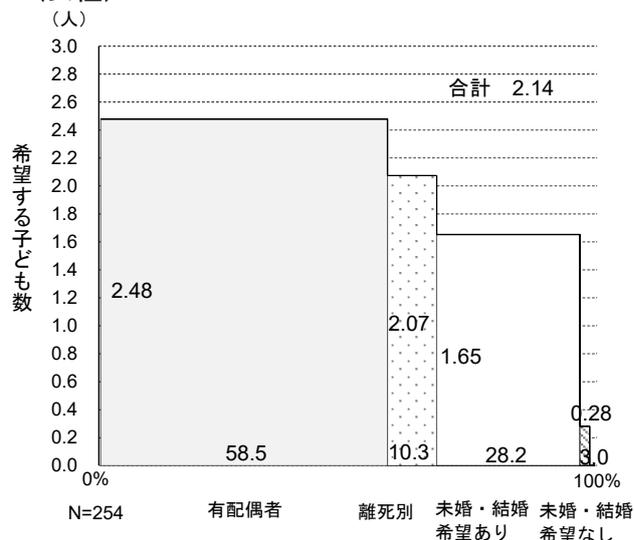
- ・ 美咲町の希望子ども数は 2.05 であり、県全体 (2.06) をわずかに下回る。
- ・ 予想子ども数は 1.75 (県全体 1.74) であり、希望子ども数との差は 0.30 になる。合計特殊出生率が予想子ども数を上回っているが、男性の予想子ども数の低さが一因である。
- ・ 女性の希望子ども数をみると、県全体に比べて、有配偶者の割合が大きく、その希望する子ども数が多い。一方で、「結婚希望あり」とする未婚者の希望する子ども数が少ない。
- ・ 女性の予想子ども数は、有配偶者の持てると思う子ども数が多いものの、「結婚できそうにない」とする未婚者の割合が大きい。

〈希望子ども数〉

(男性)

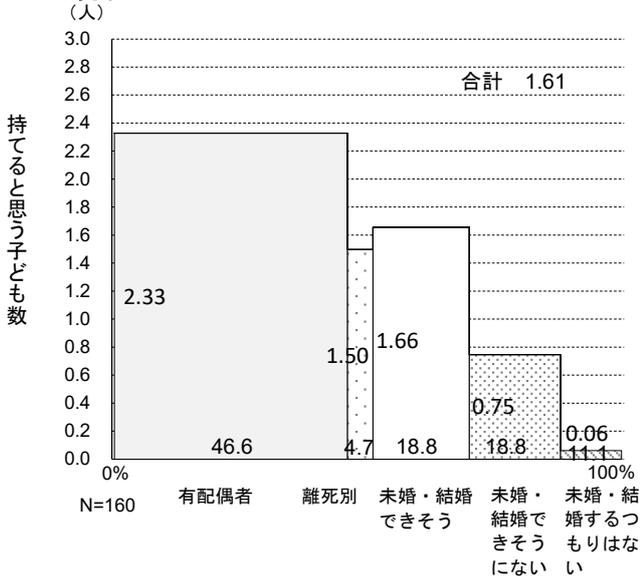


(女性)

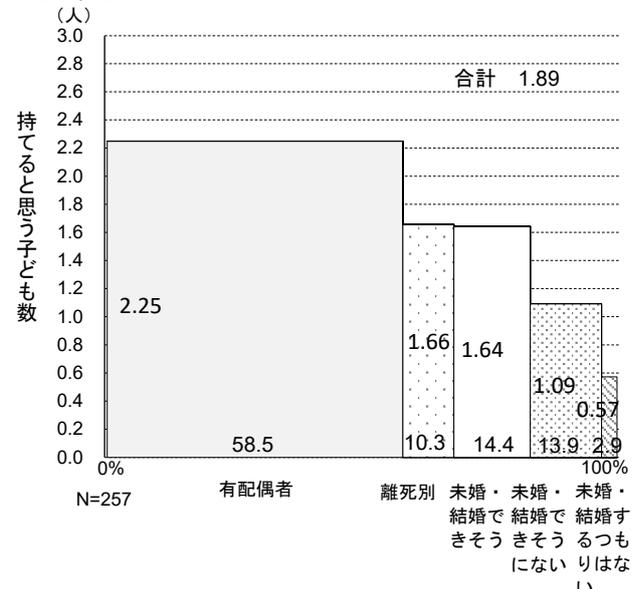


〈予想子ども数〉

(男性)

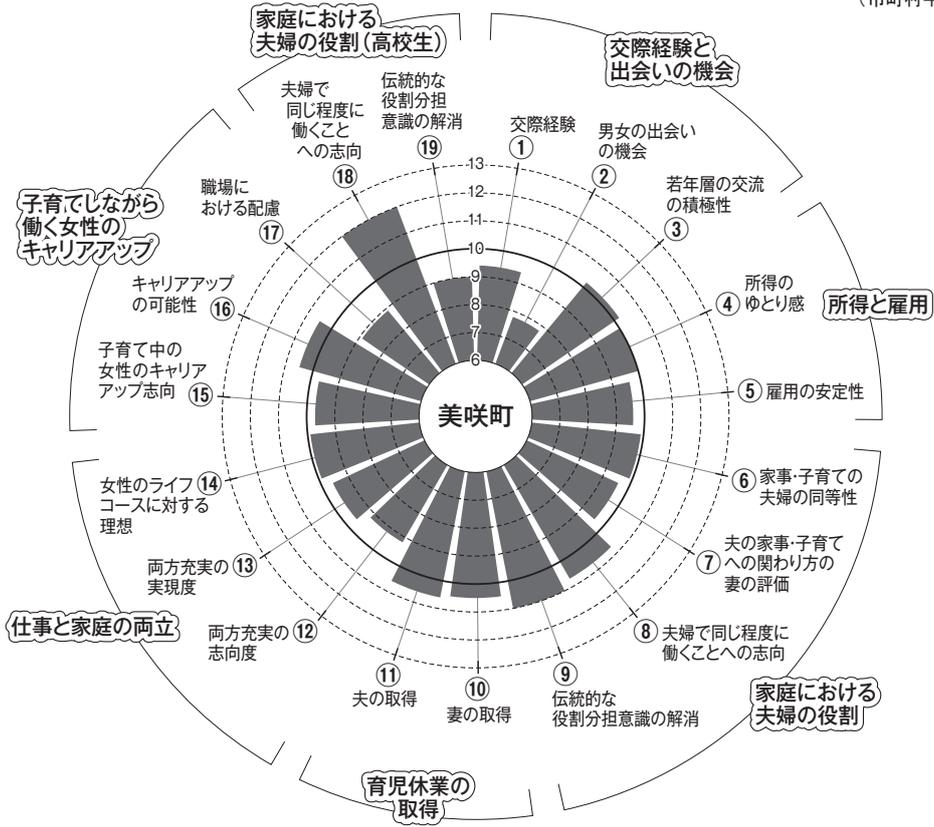


(女性)



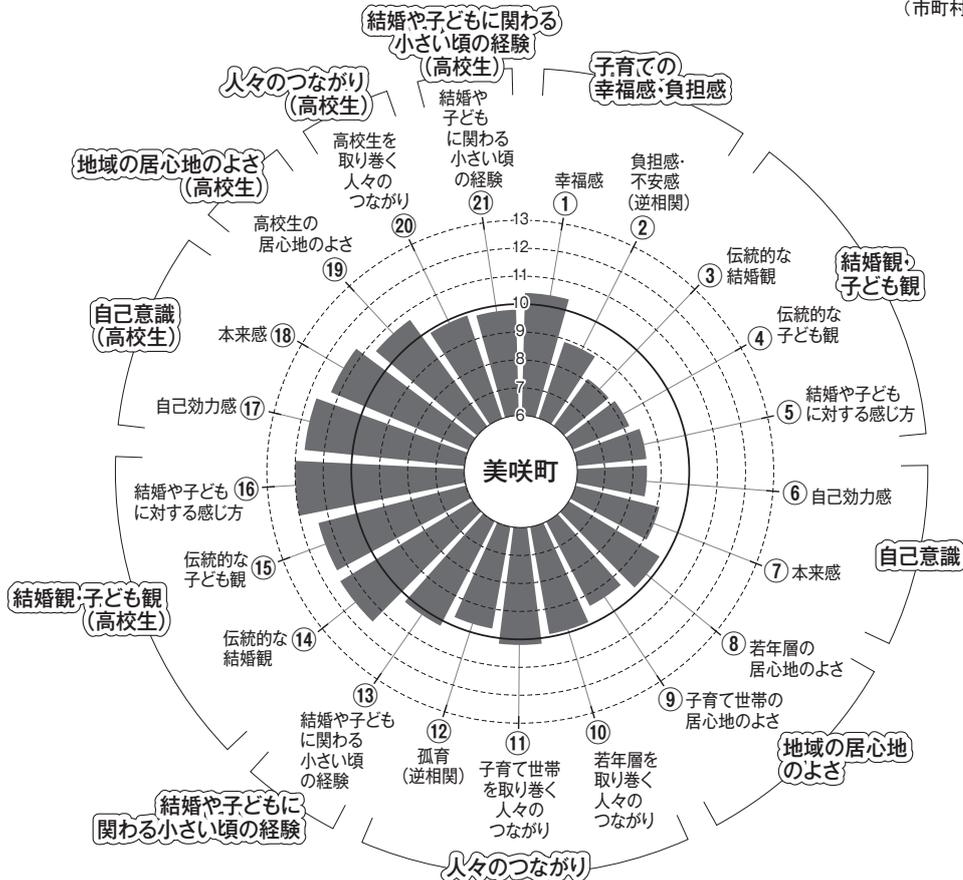
バーチャート1 (行動・環境等)

(市町村平均=10)



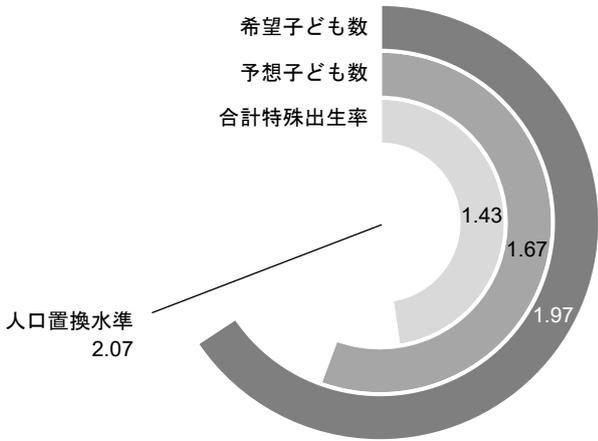
バーチャート2 (価値観・自己意識・社会関係資本等)

(市町村平均=10)



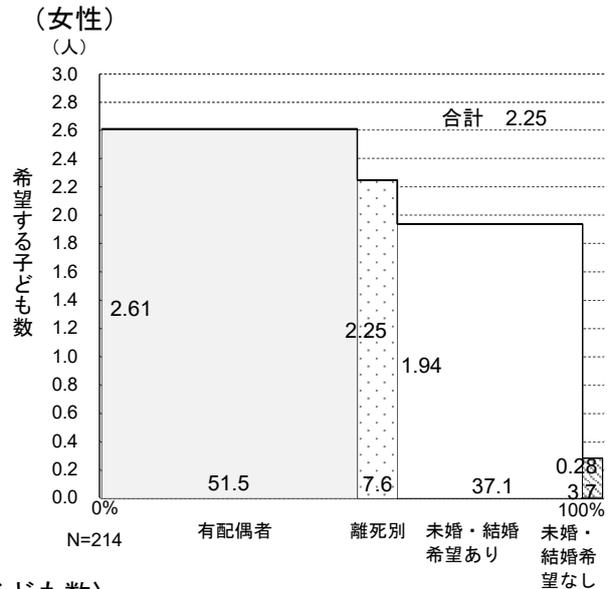
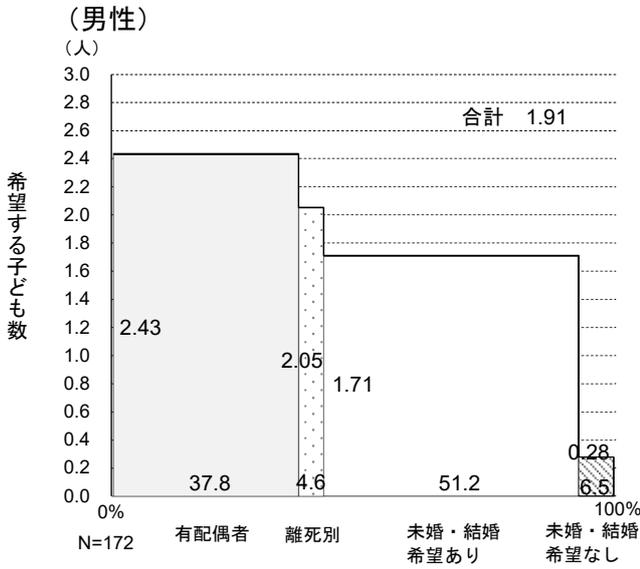
吉備中央町

〈希望子ども数・予想子ども数と合計特殊出生率〉

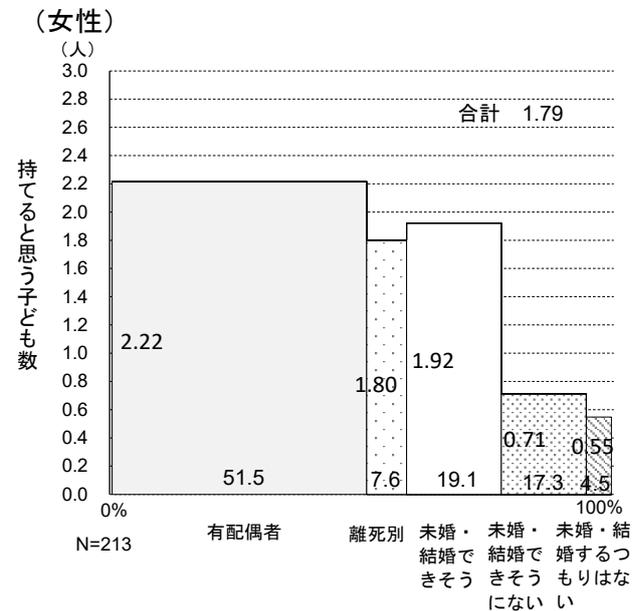
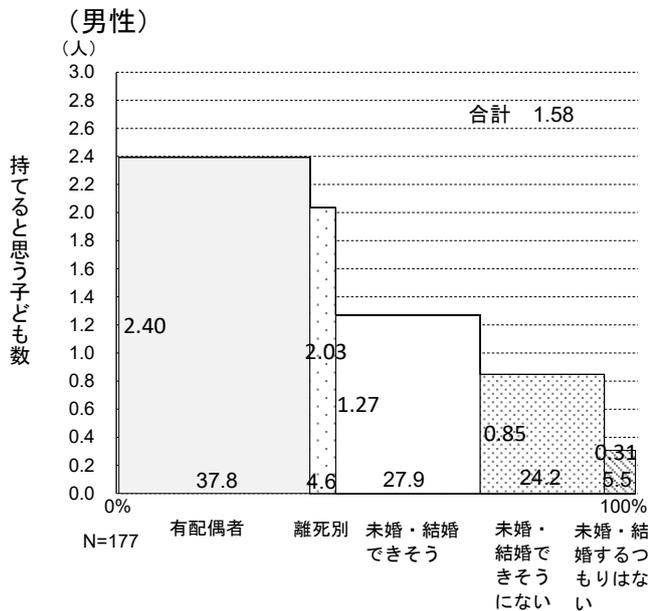


- ・ 吉備中央町の希望子ども数は 1.97 であり、県全体 (2.06) を 0.09 ポイント下回る。人口置換水準との差は 0.10 である。
- ・ 予想子ども数は 1.67 (県全体 1.74) であり、希望子ども数との差は 0.30 である。
- ・ 女性の希望子ども数についてみると、有配偶率が県内市町村の中で最も低い。結果として、「結婚希望あり」とする未婚者の割合が大きくなっている。また、有配偶者の希望する子ども数が県内で最も多いことも特徴である。
- ・ 女性の予想子ども数は、有配偶者の持てると思う子ども数は県全体と比べ多いが、有配偶率の低さが響いている。また、「結婚できそうにない」とする未婚者の割合が県全体を大きく上回る。

〈希望子ども数〉

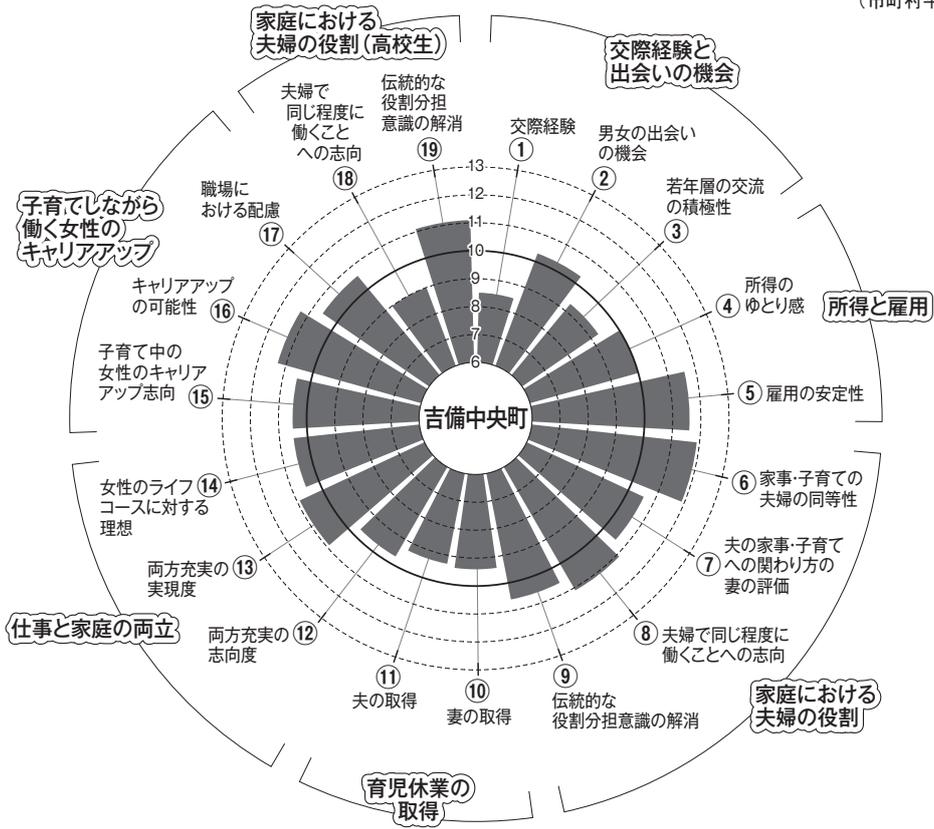


〈予想子ども数〉



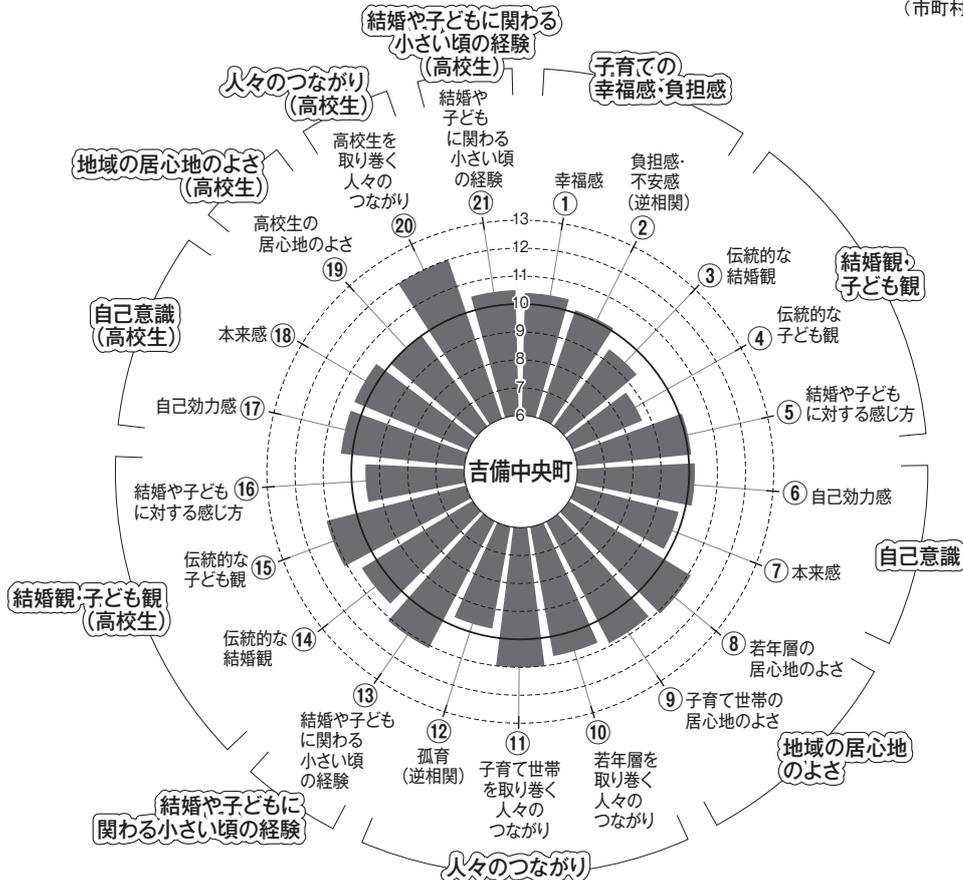
バーチャート1 (行動・環境等)

(市町村平均=10)



バーチャート2 (価値観・自己意識・社会関係資本等)

(市町村平均=10)



表V-1 バーチャート（行動・環境等）の指標項目

分野	番号	指標	調査	内容	対象
交際経験と出会いの機会	①	交際経験	第一群	問「現在、交際している異性の方はいますか」の選択肢「いる」「今はいない（過去はいた）」の割合	未婚者
	②	男女の出会いの機会	第一群	問「（現在交際している異性がない者に対して）あなたの周囲では、交際や結婚につながるような異性との出会いはありますか（あなたの周囲全般）」の選択肢「あると思う」「どちらかと言えば、あると思う」の割合	未婚者
	③	若年層の交流の積極性	第一群	問「あなたの周囲では、交際や結婚につながるような異性との出会いがないと思うのはどのような理由でしょうか」の選択肢「自分がスポーツ、文化、余暇等の活動を通じた交遊に積極的でないから」「自分が地域の交流活動に積極的でないから」「自分は友人が少ないから」「自分が SNS 等を通じた交流に積極的でないから」を主成分分析で合成（逆数を採用）	未婚者
所得と雇用	④	所得のゆとり感	第一群	問「結婚生活（子育てを含む）を送るとしたら、現在のあなたの所得についてどのように考えられますか」の選択肢「十分である」「不足しているかもしれないが支障はない」の割合	未婚者 就業者
	⑤	雇用の安定性	第一群	雇用者（①正規の職員・従業員、②パート・アルバイト、③派遣・嘱託・契約職員）のうち①正規の職員・従業員の割合	未婚者 雇用者
家庭における夫婦の役割	⑥	家事・子育ての夫婦の同等性	第一群	問「家事や子育てについて、あなたはどのように関わっていますか」の選択肢「夫婦でお互いに半分程度やっている」の割合	女性 有配偶者
	⑦	夫の家事・子育てへの関わり方の妻の評価	第二群	問「夫は子育てや家事にどれくらい関わっていますか」の選択肢「十分に関わっている」の割合	妻
	⑧	夫婦で同じ程度に働くことへの志向	第一群	問「結婚生活のための所得について、自分や結婚相手の役割の理想についてどのように考えるか」の選択肢「夫婦で同じくらいの所得を得ることができたらいい」「所得の割合に関係なく夫婦ともに働けたらいい」、問「結婚生活を送る上で、自分や結婚相手の雇用の理想についてどのように考えるか」の選択肢「両方とも正規雇用が望ましい」「正規・非正規に関係なく夫婦ともに働けたらいい」、問「結婚生活を送る上で、自分や結婚相手のキャリアアップの理想についてどのように考えるか」の選択肢「2人ともキャリアアップを目指す」「キャリアアップに関係なく夫婦ともに働けたらいい」を主成分分析で合成	有配偶者
	⑨	伝統的な役割分担意識の解消	第一群	問「結婚したら夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について、どのように思われますか」の選択肢「そう思わない」「まったくそう思わない」の割合	有配偶者
育児休業の取得	⑩	妻の取得	第二群	問「あなたは育児休業を取得されたでしょうか（自営業・役員・無職等の非該当者を除く）」の選択肢「取得した」の割合	妻
	⑪	夫の取得	第二群	問「あなたの配偶者は育児休業を取得されたでしょうか（自営業・役員・無職等の非該当者を除く）」の選択肢「取得した」の割合	夫

分野	番号	指標	調査	内容	対象
仕事と家庭の両立	⑫	両方充実の志向度	第一群	問「仕事と家庭生活（子育てを含む）について、これらの優先度の理想をどのように考えられますか」の選択肢「仕事も家庭も、充実させて両立したい」の割合	全数
	⑬	両方充実の実現度	第一群	問「仕事と家庭生活（子育てを含む）について、これらの優先度の現実をどのように考えられますか」の選択肢「仕事も家庭も、充実させて両立している」の割合	全数
	⑭	女性のライフコースに対する理想	第一群	問「女性の結婚、出産、仕事に関わるライフコースは、あなたからみると、どのようなタイプが理想と考えられますか」の選択肢「結婚し、子どもを持つが、仕事も続ける」の割合	全数
子育てしながら働く女性のキャリアアップ	⑮	子育て中の女性のキャリアアップ志向	第一群	問「働く女性のキャリアアップについて、あなたは、どのようなタイプが理想だと考えますか」の選択肢「子どもの数は2人以上で、仕事でのキャリアアップを目指す」「子どもの数にかかわらず、キャリアアップに一定程度取り組み、自分の時間や家庭、子育てとの両立を目指す」の割合	全数
	⑯	キャリアアップの可能性	第一群	問「（「子どもを持ち、仕事でのキャリアアップを目指す」者に対して）現実には、あなたの職場では、働く女性が子育てをしながら、理想のキャリアアップができると思えますか」の選択肢「とてもそう思う」「そう思う」の割合	就業者
	⑰	職場における配慮	第一群	問「働く女性のキャリアアップに関わらず、あなたの職場では、結婚、妊娠・出産、子育てに対して、以下のような配慮があると考えられますか（男性への配慮を含む）」の項目「育児休業（男性を含む）や子どもの急な病気等による休暇の取りやすさ」「定時退社の声かけ等、職場における仕事と家庭の両立を支援する雰囲気」「若年層の給与水準や家族手当の支給等、結婚や子育て等への経済的支援」「仕事と子育ての両立に関わる相談体制や上司の理解」「職場の男女比や社外との交流等、男女の出会いや交流への配慮」「短時間勤務や在宅勤務、勤務地限定等、仕事と家庭の両立への配慮」を主成分分析で合成	就業者
家庭における夫婦の役割（高校生）	⑱	夫婦で同じ程度に働くことへの志向	第三群	問「結婚生活のための所得について、自分や結婚相手の役割の理想についてどのように考えられますか」の選択肢「夫婦で同じくらいの所得を得ることができたらいい」、問「結婚生活を送る上で、自分や結婚相手の雇用の理想についてどのように考えられますか」の選択肢「両方とも正規雇用が望ましい」、問「結婚生活を送る上で、自分や結婚相手のキャリアアップの理想についてどのように考えられますか」の選択肢「2人ともキャリアアップを目指す」を主成分分析で合成	全数
	⑲	伝統的な役割分担意識の解消	第三群	問「結婚したら夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について、どのように思われますか」の選択肢「そう思わない」「まったくそう思わない」の割合	全数

表V-2 バーチャート（価値観・自己意識・社会関係資本等）の指標項目

分野	番号	指標	調査	内容	対象
子育ての幸福感・負担感	①	幸福感	第二群	問「総合的にみて、子育てをしていて、楽しい、よかったと思うことと、つらい、負担だと思ふことは、どちらの方が多いと思われますか」の選択肢「いつも、楽しい、よかったと思う」「楽しい、よかったと思うときの方が多い」の割合	全数
	②	負担感・不安感（逆相関）	第二群	問「あなたは子育てをしていて、どのように感じていますか」の項目「子育ては、つらく、負担になることが多い」「子育てをしていて、自信や意欲を失うことが多い」を主成分分析で合成	全数
結婚観・子ども観	③	伝統的な結婚観	第一群	問「結婚や子どもを持つこと、生活の満足感やご自身についてのお考えをご回答ください」の項目「結婚することは自然なことである」「結婚することは重要なことである」「結婚して配偶者がいたら生活が楽しく豊かになる」を主成分分析で合成	全数
	④	伝統的な子ども観	第一群	問「結婚や子どもを持つこと、生活の満足感やご自身についてのお考えをご回答ください」の項目「子どもを持つことは自然なことである」「子どもを持つことは重要である」「子どもがいたら生活が楽しく豊かになる」を主成分分析で合成	全数
	⑤	結婚や子どもに対する感じ方	第一群	問「結婚や子どもを持つこと、生活の満足感やご自身についてのお考えをご回答ください」の項目「仲の良い夫婦を見ると幸せそうと思う」「小さい子どもを持つ夫婦を見ると幸せそうと思う」を主成分分析で合成	全数
自己意識	⑥	自己効力感	第一群	問「結婚や子どもを持つこと、生活の満足感やご自身についてのお考えをご回答ください」の項目「自分うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む」「自分は役に立たないと感じる（逆順）」を主成分分析で合成	全数
	⑦	本来感	第一群	問「結婚や子どもを持つこと、生活の満足感やご自身についてのお考えをご回答ください」の項目「自分はありのまま、素直に生きていると思う」「自分には「居場所」があると思う」「今の生活は心身ともに良好だと思う」を主成分分析で合成	全数
地域の居心地のよさ	⑧	若年層の居心地のよさ	第一群	問「あなたが暮らしている地域の暮らしやすさ、居心地のよさについてどのように考えますか」の項目「近所に信頼して相談できる友人・知人がいる」「自分は近所で挨拶や立ち話をよくする」「いま暮らしている地域の生活ペースが自分に合っている」「地域の人間関係にわずらわしさを感じることもある（逆相関）」「地域の人々のつながりは、自分にはあたたかく、心地よい」を主成分分析で合成	全数
	⑨	子育て世帯の居心地のよさ	第二群	問「お住まいの地域の子育て環境や、子育てを通じた家族と地域との関わりについてどのように考えられますか」の項目「周囲に気にかけてもらっているという安心感がある」「さりげない子どもの見守りがある地域である」「子育ての楽しさや悩みを分かち合う仲間や場所がある」「人々のつながりは、子育てする自分には温かく、心地よい」を主成分分析で合成	全数

分野	番号	指標	調査	内容	番号
人々のつながり	⑩	若年層を取り巻く人々のつながり	第一群	問「あなたが暮らしている地域（自治会単位などの地域コミュニティの範囲）や、あなたと地域との関わりについて、どのように考えますか」の項目「伝統行事や町内会活動などが活発である」「スポーツ活動や趣味の活動が活発である」「地域活動で同年代の人とふれ合う機会が多い」「自分は地域活動への参加に積極的である」「地域のコミュニティで、日常的に生活面で協力している」を主成分分析で合成	全数
	⑪	子育て世帯を取り巻く人々のつながり	第二群	問「お住まいの地域の子育て環境や、子育てを通じた家族と地域との関わりについてどのように考えられますか」の項目「子どもと一緒に地域の行事や祭りによく参加する」「近所では、子どもと外出すると知人によく声をかけられる」「保育所・幼稚園等、学校の活動に進んで参加する」「地域では、子どもが参加する行事やイベントが多い」「危険なことや悪いことで子どもを注意できる人がいる」を主成分分析で合成	全数
	⑫	孤育（逆相関）	第二群	問「お住まいの地域の子育て環境や、子育てを通じた家族と地域との関わりについてどのように考えられますか」の項目「家事、子育てに助けがなく、1人で頑張っている」「子育てをされていて孤独感を感じる」を主成分分析で合成	全数
結婚や子どもに関わる小さい頃の経験	⑬	結婚や子どもに関わる小さい頃の経験	第一群	問「子どもの頃の経験について、あなたの身近な人の結婚や子どものこと、また遊び方についてどのように考えますか」の項目「両親や親戚に仲の良い夫婦がいた」「友人の両親や知人に仲の良い夫婦がいた」「小さい子どもとふれ合う機会がよくあった」「身近に3人以上子どもを持つ夫婦が多かった」「自然が身近にあり、日常的に自然の中で遊ぶ機会があった」「公園等で子どもだけでよく外遊びをした」を主成分分析で合成	全数
結婚観・子ども観（高校生）	⑭	伝統的な結婚観	第三群	問「結婚や子どもを持つこと、生活の満足感やご自身についてのお考えをご回答ください」の項目「結婚することは自然なことである」「結婚することは重要である」「結婚して配偶者がいたら生活が楽しく豊かになる」を主成分分析で合成	全数
	⑮	伝統的な子ども観	第三群	問「結婚や子どもを持つこと、生活の満足感やご自身についてのお考えをご回答ください」の項目「子どもを持つことは自然なことである」「子どもを持つことは重要である」「子どもがいたら生活が楽しく豊かになる」を主成分分析で合成	全数
	⑯	結婚や子どもに対する感じ方	第三群	問「結婚や子どもを持つこと、生活の満足感やご自身についてのお考えをご回答ください」の項目「仲の良い夫婦を見ると幸せそうと思う」「小さい子どもを持つ夫婦を見ると幸せそうと思う」を主成分分析で合成	全数

分野	番号	指標	調査	内容	対象
自己意識 (高校生)	⑰	自己効力感	第三群	問「結婚や子どもを持つこと、生活の満足感やご自身についてのお考えをご回答ください」の項目「自分はうまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む」「自分は役に立たないと感じる(逆順)」を主成分分析で合成	全数
	⑱	本来感	第三群	問「結婚や子どもを持つこと、生活の満足感やご自身についてのお考えをご回答ください」の項目「自分はありのまま、素直に生きていると思う」「自分には「居場所」があると思う」「今の生活は心身ともに良好だと思う」を主成分分析で合成	全数
地域の居心地のよさ (高校生)	⑲	高校生の居心地のよさ	第三群	問「あなたが暮らしている地域の暮らしやすさ、居心地のよさについてどのように考えますか」の項目「近所に信頼して相談できる友人・知人がいる」「自分は近所で挨拶や立ち話をよくする」「いま暮らしている地域の生活ペースが自分に合っている」「地域の人間関係にわずらわしさを感じることもある(逆順)」「地域の人々のつながりは、自分にはあたたかく、心地よい」を主成分分析で合成	全数
人々のつながり (高校生)	⑳	高校生を取り巻く人々のつながり	第三群	問「あなたが暮らしている地域(自治会単位などの地域コミュニティの範囲)や、あなたと地域との関わりについて、どのように考えますか」の項目「伝統行事や町内会活動などが活発である」「スポーツ活動や趣味の活動が活発である」「地域活動で同年代の人とふれ合う機会が多い」「自分は地域活動への参加に積極的である」「地域のコミュニティで、日常的に生活面で協力している」を主成分分析で合成	全数
結婚や子どもに関わる小さい頃の経験 (高校生)	㉑	結婚や子どもに関わる小さい頃の経験	第三群	問「子どもの頃の経験について、あなたの身近な人の結婚や子どものこと、また遊び方についてどのように考えますか」の項目「両親や親戚に仲の良い夫婦がいた」「友人の両親や知人に仲の良い夫婦がいた」「小さい子どもとふれ合う機会がよくあった」「身近に3人以上子どもを持つ夫婦が多かった」「自然が身近にあり、日常的に自然の中で遊ぶ機会があった」「公園等で子どもだけでよく外遊びをした」を主成分分析で合成	全数

表V-3 バーチャート1（行動・環境等）の元データ（標準化前）

分野	交際経験と 出会いの機会			所得と雇用		家庭における 夫婦の役割				育児休業の 取得	
	① 交際 経験	② 男女の 出会い の機会	③ 若年層 の交流 の積極 性	④ 所得の ゆとり 感	⑤ 雇用の 安定性	⑥ 家事・ 子育て の夫婦 の同等 性	⑦ 夫の家 事・子 育てへ の関わり 方の妻 の評価	⑧ 夫婦で 同じ程 度に働 くこと への志 向	⑨ 伝統的 な役割 分担意 識の解 消	⑩ 妻の 取得	⑪ 夫の 取得
調査	第一群	第一群	第一群	第一群	第一群	第一群	第二群	第一群	第一群	第二群	第二群
単位	%	%	-	%	%	%	%	-	%	%	%
岡山市	71.4	25.9	9.1	26.4	80.0	40.4	35.9	0.02	68.0	78.2	10.6
倉敷市	72.0	34.9	-20.8	28.3	85.7	39.8	32.4	-0.27	60.6	73.8	12.3
津山市	61.3	19.6	-5.9	30.3	78.1	43.9	38.3	-0.13	61.8	76.6	4.3
玉野市	64.1	22.4	9.7	28.7	79.2	37.4	40.6	-0.41	59.9	76.0	9.7
笠岡市	67.9	23.8	-13.3	24.2	80.3	38.5	27.0	-0.14	60.6	78.1	7.9
井原市	60.6	15.8	83.3	21.0	74.1	40.7	40.7	-0.08	64.3	73.2	7.0
総社市	67.5	27.1	-27.8	23.6	80.7	42.6	33.4	-0.23	65.8	81.4	10.1
高梁市	63.4	26.8	-13.5	29.2	84.5	48.7	36.5	0.18	74.5	73.9	14.0
新見市	78.2	23.7	-9.3	30.8	82.1	47.3	46.1	0.23	71.7	80.1	7.2
備前市	63.4	20.8	-8.3	17.7	73.3	42.5	41.1	-0.19	61.9	72.6	9.8
瀬戸内市	64.7	27.6	6.7	19.9	72.6	36.7	35.0	-0.23	59.7	74.4	10.0
赤磐市	66.0	21.0	-18.2	29.4	78.4	39.5	33.6	-0.13	66.4	70.2	9.6
真庭市	63.4	20.4	50.0	30.8	80.0	44.8	31.3	0.13	71.2	85.7	6.0
美作市	60.8	21.7	-3.8	16.0	77.8	44.7	42.8	-0.07	63.6	77.0	6.8
浅口市	61.8	21.6	-26.3	24.5	85.9	38.6	30.8	-0.15	61.7	72.5	8.6
和気町	70.1	29.6	-4.1	19.9	77.2	44.6	37.2	-0.05	65.6	88.7	15.9
早島町	65.9	27.4	-3.6	24.5	72.0	41.1	28.7	0.03	63.0	80.5	11.2
里庄町	58.5	20.7	27.8	27.7	71.9	45.0	32.7	-0.22	62.1	76.7	7.2
矢掛町	64.9	17.1	14.1	28.8	82.7	41.5	33.8	-0.05	65.6	89.1	13.0
新庄村	69.9	25.9	-2.4	20.0	67.9	45.1	25.0	0.25	77.7	100.0	13.3
鏡野町	56.7	25.4	6.8	13.8	72.2	47.0	35.9	0.10	69.4	76.4	5.3
勝央町	65.4	24.4	16.1	21.7	78.3	45.5	36.4	-0.08	61.7	73.9	8.4
奈義町	61.5	20.1	-29.4	29.8	81.3	37.9	32.2	-0.10	62.7	80.9	7.5
西粟倉村	69.8	25.1	-3.7	34.4	82.6	42.5	33.3	0.23	81.2	71.4	0.0
久米南町	70.2	30.4	-2.8	19.0	73.2	47.5	33.3	0.08	66.1	78.5	3.3
美咲町	62.0	13.7	5.6	24.9	76.1	42.4	33.0	0.09	71.8	81.4	10.7
吉備中央町	57.7	24.8	-16.7	24.7	85.9	49.5	37.8	0.15	69.8	74.6	6.4
平均値	65.2	23.6	0.7	24.8	78.3	42.8	35.0	-0.04	66.2	78.4	8.7
標準偏差	4.9	4.6	24.0	5.2	4.9	3.6	4.7	0.17	5.6	6.5	3.5

分野	仕事と家庭の両立			子育てしながら働く 女性のキャリアアップ			家庭における 夫婦の役割 (高校生)	
	⑫ 両方充 実の志 向度	⑬ 両方充 実の実 現度	⑭ 女性の ライフ コース に対する 理想	⑮ 子育て 中の女 性のキ ャリア アップ 志向	⑯ キャリ アアッ プの可 能性	⑰ 職場に おける 配慮	⑱ 夫婦で 同じ程 度に働 くこと への志 向	⑲ 伝統的 な役割 分担意 識の解 消
調査	第一群	第一群	第一群	第一群	第一群	第一群	第三群	第三群
単位	%	%	%	%	%	-	-	%
岡山市	38.9	7.7	56.7	70.9	18.3	-0.04	-0.01	59.7
倉敷市	38.3	7.2	55.0	70.1	13.6	-0.24	-0.01	63.8
津山市	39.0	9.3	54.6	70.5	15.7	-0.14	-0.01	62.5
玉野市	37.0	10.0	47.3	69.0	15.9	0.03	-0.07	59.8
笠岡市	40.9	7.7	52.9	72.8	10.8	-0.33	0.03	62.5
井原市	37.8	9.2	52.5	72.0	16.9	-0.02	-0.02	65.6
総社市	34.8	7.1	49.3	70.4	13.0	-0.24	-0.04	62.3
高梁市	40.7	9.5	57.4	70.8	16.1	0.13	0.08	69.6
新見市	37.6	6.6	61.9	76.9	18.9	-0.03	0.07	71.0
備前市	38.9	10.7	47.4	69.7	14.8	0.15	-0.12	58.9
瀬戸内市	40.0	8.4	52.4	71.0	12.0	0.04	-0.11	60.6
赤磐市	36.9	6.7	52.5	71.5	14.1	-0.03	-0.06	65.2
真庭市	37.8	9.4	55.4	75.2	10.7	-0.07	-0.07	67.4
美作市	40.1	9.1	52.1	70.2	17.1	-0.17	-0.17	61.7
浅口市	37.7	7.6	50.8	70.8	13.1	-0.16	-0.07	58.1
和気町	41.7	10.6	54.2	69.7	15.3	0.03	0.08	51.9
早島町	39.8	7.2	56.7	70.8	13.1	0.08	-0.11	66.2
里庄町	29.8	5.9	54.1	69.2	13.6	-0.29	-0.17	62.8
矢掛町	35.4	7.0	53.8	70.5	13.7	-0.28	-0.01	70.2
新庄村	39.8	10.2	64.1	77.7	21.8	0.48	-	-
鏡野町	38.6	8.7	61.3	74.6	15.4	0.01	0.05	72.4
勝央町	34.5	6.5	55.9	71.1	16.6	-0.02	0.16	63.9
奈義町	32.7	5.8	51.4	67.3	19.0	0.16	0.14	35.6
西粟倉村	54.5	17.3	64.8	76.2	15.0	0.47	-	-
久米南町	41.3	9.9	56.3	71.5	12.3	-0.03	0.37	76.6
美咲町	34.9	7.7	54.7	71.0	16.5	-0.24	0.27	55.1
吉備中央町	37.2	10.6	57.1	72.8	18.7	0.09	-0.13	72.2
平均値	38.4	8.7	54.9	71.6	15.3	-0.02	0.00	63.0
標準偏差	4.2	2.3	4.4	2.5	2.7	0.20	0.13	8.1

表V-4 バーチャート2（価値観・自己意識・社会関係資本等）のデータ（標準化前）

分野	子育ての幸福感・負担感		結婚観・子ども観			自己意識		地域の居心地のよさ		人々のつながり		
	① 幸福感	② 負担感・不安感 (逆相関)	③ 伝統的な結婚観	④ 伝統的な子ども観	⑤ 結婚や子どもに対する感じ方	⑥ 自己効力感	⑦ 本来感	⑧ 若年層の居心地のよさ	⑨ 子育て世帯の居心地のよさ	⑩ 若年層を取り巻く人々のつながり	⑪ 子育て世帯を取り巻く人々のつながり	⑫ 孤育(逆相関)
調査	第二群	第二群	第一群	第一群	第一群	第一群	第一群	第一群	第二群	第一群	第二群	第二群
単位	%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山市	65.1	0.05	0.05	-0.02	0.01	0.08	0.10	-0.33	0.06	-0.51	0.04	-0.03
倉敷市	62.8	-0.10	0.07	-0.01	0.03	0.10	0.13	-0.19	-0.37	-0.65	-0.73	-0.09
津山市	63.5	0.20	0.13	0.08	0.03	0.05	-0.02	-0.17	-0.12	-0.22	0.11	0.04
玉野市	62.9	-0.03	0.06	0.01	-0.01	0.02	0.04	-0.11	-0.32	-0.70	-0.43	0.02
笠岡市	61.0	0.09	-0.04	-0.03	-0.18	-0.09	-0.17	-0.31	-0.07	-0.17	-0.14	0.03
井原市	65.3	0.18	0.08	0.06	-0.01	-0.13	-0.11	-0.01	0.19	0.23	0.28	0.13
総社市	65.3	0.09	0.10	0.01	0.11	0.00	0.12	0.12	0.19	-0.11	0.01	0.06
高梁市	61.3	-0.11	0.06	0.04	-0.04	-0.02	0.02	0.00	0.18	-0.13	0.34	-0.15
新見市	61.6	0.01	0.05	0.06	0.02	-0.11	-0.12	0.17	0.05	0.09	0.31	0.12
備前市	66.7	0.07	-0.05	-0.04	-0.05	-0.01	0.05	-0.20	0.16	-0.26	0.10	0.15
瀬戸内市	60.5	0.00	0.05	0.02	0.01	-0.01	-0.06	-0.11	-0.15	-0.34	-0.52	0.05
赤磐市	63.2	-0.06	0.08	0.05	-0.04	0.06	0.14	-0.02	-0.01	-0.05	0.03	-0.09
真庭市	64.1	0.04	-0.20	-0.20	-0.18	-0.09	-0.17	0.03	0.03	0.18	0.39	0.17
美作市	62.5	-0.16	0.00	0.02	-0.14	-0.03	-0.21	0.01	-0.22	0.02	-0.10	-0.11
浅口市	59.1	-0.19	0.10	0.05	0.01	-0.13	-0.16	-0.15	-0.23	-0.24	-0.46	-0.07
和気町	64.7	0.00	0.18	0.13	-0.09	0.10	0.18	0.19	0.24	0.42	0.35	-0.02
早島町	61.0	-0.16	0.14	0.18	0.03	0.15	0.26	0.11	0.10	0.22	-0.07	-0.25
里庄町	60.1	-0.05	-0.08	-0.04	-0.02	-0.03	-0.01	0.08	0.10	0.24	0.10	-0.06
矢掛町	61.3	-0.03	0.06	0.04	-0.08	-0.05	-0.12	-0.03	0.25	0.28	0.54	-0.13
新庄村	81.8	0.40	0.13	0.10	0.22	0.20	0.21	0.68	1.39	1.34	1.71	0.47
鏡野町	65.4	0.06	-0.02	0.00	0.03	0.04	0.05	0.08	-0.26	0.21	-0.17	0.07
勝央町	63.5	-0.16	0.14	0.08	0.14	0.00	0.00	0.27	0.03	0.51	0.13	-0.04
奈義町	59.5	-0.01	0.09	0.08	0.06	0.12	0.01	0.10	0.33	0.71	0.50	-0.01
西粟倉村	72.7	-0.23	-0.17	-0.10	-0.26	0.08	-0.04	0.51	0.92	1.34	0.90	0.09
久米南町	79.7	0.27	-0.17	-0.16	-0.20	-0.04	-0.10	0.05	0.48	0.00	0.41	0.21
美咲町	67.1	-0.16	-0.18	-0.15	-0.20	-0.13	-0.11	0.01	-0.08	0.06	0.24	-0.02
吉備中央町	66.7	0.01	-0.04	-0.11	-0.03	0.02	-0.04	0.28	0.44	0.48	0.64	-0.03
平均値	64.8	0.00	0.02	0.01	-0.03	0.01	0.00	0.04	0.12	0.11	0.17	0.02
標準偏差	5.4	0.15	0.11	0.09	0.11	0.09	0.13	0.22	0.37	0.49	0.48	0.14

分野	結婚や子どもに関わる小さい頃の経験	結婚観・子ども観 (高校生)				自己意識 (高校生)		地域の居心地のよさ (高校生)	人々のつながり (高校生)	結婚や子どもに関わる小さい頃の経験 (高校生)
		⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱			
指標	結婚や子どもに関わる小さい頃の経験	伝統的な結婚観	伝統的な子ども観	結婚や子どもに対する感じ方	自己効力感	本来感	高校生の居心地のよさ	高校生を取り巻く人々のつながり	結婚や子どもに関わる小さい頃の経験	
調査	第一群	第三群	第三群	第三群	第三群	第三群	第三群	第三群	第三群	
単位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山市	-0.11	0.03	0.03	0.05	0.01	0.02	0.02	-0.01	-0.08	
倉敷市	-0.11	0.02	0.03	0.00	0.04	0.03	-0.03	-0.15	-0.01	
津山市	0.08	0.00	-0.01	-0.09	-0.02	-0.05	-0.21	-0.08	-0.08	
玉野市	-0.05	0.25	0.22	0.07	0.04	0.22	0.18	-0.06	0.24	
笠岡市	-0.06	-0.12	-0.10	-0.24	-0.06	-0.20	-0.24	-0.14	-0.26	
井原市	-0.01	0.23	0.23	0.07	0.12	0.12	0.29	0.29	0.21	
総社市	0.01	0.02	0.02	-0.06	-0.04	-0.09	0.19	0.33	0.07	
高梁市	0.06	-0.21	-0.25	-0.01	-0.04	-0.06	0.07	0.23	0.29	
新見市	0.12	-0.08	-0.11	-0.05	-0.18	0.04	-0.03	0.23	0.16	
備前市	-0.10	0.12	0.14	0.19	-0.10	0.08	0.07	0.09	0.18	
瀬戸内市	-0.16	-0.13	-0.19	-0.26	-0.08	-0.23	-0.17	-0.24	-0.20	
赤磐市	-0.08	-0.02	-0.07	-0.01	0.08	0.15	0.17	0.11	0.20	
真庭市	-0.04	-0.15	-0.09	0.01	0.01	0.01	0.14	0.46	0.19	
美作市	-0.07	-0.26	-0.29	-0.30	-0.29	-0.22	-0.44	-0.22	-0.49	
浅口市	-0.01	0.01	-0.02	0.01	-0.19	-0.11	0.06	0.04	0.25	
和気町	0.08	-0.03	-0.11	-0.08	0.21	-0.25	-0.09	-0.12	-0.15	
早島町	0.09	0.10	0.09	0.11	-0.20	0.29	0.16	0.29	0.14	
里庄町	-0.06	0.01	0.12	-0.05	0.15	0.06	0.19	0.33	0.03	
矢掛町	-0.17	-0.16	-0.17	-0.21	-0.01	-0.21	-0.11	0.64	-0.22	
新庄村	0.19	-	-	-	-	-	-	-	-	
鏡野町	0.03	0.12	0.13	0.16	-0.02	0.09	-0.09	-0.03	0.53	
勝央町	0.21	-0.18	-0.15	-0.23	-0.07	-0.03	-0.15	-0.15	-0.30	
奈義町	0.21	0.64	0.48	0.10	0.35	0.34	0.77	0.82	0.71	
西粟倉村	0.23	-	-	-	-	-	-	-	-	
久米南町	-0.25	-0.46	-0.46	-0.02	0.05	-0.16	-0.12	-0.34	0.38	
美咲町	0.03	0.34	0.30	0.26	0.25	0.22	0.19	0.10	0.04	
吉備中央町	0.14	0.15	0.22	-0.10	0.06	0.08	0.03	0.74	0.22	
平均値	0.01	0.01	0.00	-0.03	0.00	0.01	0.03	0.13	0.08	
標準偏差	0.13	0.22	0.21	0.14	0.14	0.17	0.23	0.31	0.27	

結婚、出産、子育てに関する県民意識調査報告書

令和6年3月

発行 岡山県子ども・福祉部子ども未来課

〒700-8570

岡山県岡山市北区内山下2-4-6

TEL 086-226-7347（直通）

集計・分析 公益財団法人中国地域創造研究センター